

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険 事業計画に係る事業の進捗状況

- ・ 令和5年度実施結果
- ・ 第8期計画総評
- ・ 第9期実施計画

《基本理念》

住み慣れた地域で安心していきいきと
暮らせるまちづくり

（第8期・第9期 共通）

目 次

基本目標1 心と体がいきいきとしている

1	地域貢献活動・地域参加の促進	1ページ
2	シニアクラブへの支援	2ページ
3	高齢者の居場所づくり（新規）	3ページ
4	高齢者の外出手段の確保	4ページ
5	関係機関との連携による就業機会の拡大	5ページ
6	生涯学習の機会の充実	6ページ
7	高齢者等保養事業の推進	7ページ
8	敬老事業の充実	8ページ
9	健康相談	9ページ
10	健康教育	10ページ
11	健康応援事業	11ページ
12	食育推進事業	12ページ
13	歯科医療連携推進事業	13ページ
14	特定健康診査・特定保健指導	14ページ
15	後期高齢者医療健康診査	15ページ
16	介護予防事業のPR	16ページ
17	介護予防推進センターにおける介護予防事業やセンター機能の強化	17ページ
18	地域デイサービス事業（ほっとサロン）	18ページ
19	総合事業における訪問型サービスと通所型サービス	19ページ
20	介護予防・生活支援サービス事業の推進	20ページ
21	介護予防推進事業	21ページ
22	介護予防コーディネート事業	22ページ
23	スポーツ健康増進活動の機会の充実	23ページ
24	自主的な健康づくりへの支援	24ページ
25	介護予防サポーターの人材育成と活用	25ページ
26	地域の自主グループへの支援・育成	26ページ
27	フレイル予防の推進（新規）	27ページ
28	一体的な実施に向けた体制の整備（新規）	28ページ
29	地域リハビリテーション活動の推進（新規）	29ページ

基本目標2 住み慣れた地域で暮らしている

30	高齢者住宅の運営	30ページ
31	公営住宅の高齢者入居枠の確保	31ページ
32	高齢者住替支援事業	32ページ
33	高齢者自立支援住宅改修給付	33ページ
34	高齢者の住まい等のあり方の検討	34ページ

35	自立支援ショートステイ	35ページ
36	おむつ支給・訪問理髪・寝具乾燥・高齢者車いす福祉タクシー	36ページ
37	生活支援ヘルパー派遣・日常生活用具の貸与等	37ページ
38	高齢者救急通報システム事業	37ページ
39	生活支援体制整備事業の推進	38ページ
40	医療・介護・福祉関係機関の連携構築	40ページ
41	在宅療養に関わる専門職の相互理解	41ページ
42	市民への普及啓発	42ページ
43	かかりつけ医等の普及	43ページ
44	在宅療養相談窓口の充実	44ページ
45	在宅療養を24時間支える体制づくり（新規）	45ページ
46	バックベッドの整備	46ページ
47	家族介護者教室	47ページ
48	家族介護者の交流支援	48ページ
49	ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進	48ページ
50	緊急時のショートステイの確保	49ページ

基本目標3 安心して暮らしている

51	地域での多様な相談体制の整備	50ページ
52	担当地区ケア会議の開催	51ページ
53	高齢者虐待対応と養護者支援	52ページ
54	養護老人ホームへの入所措置	53ページ
55	権利擁護事業の充実	54ページ
56	市民後見人の発掘・育成	55ページ
57	老い支度事業	56ページ
58	避難行動要支援者支援体制の整備	57ページ
59	福祉サービス事業者等との災害時の連携	58ページ
60	介護サービス事業者への事業継続計画（BCP）策定の促進	59ページ
61	消費者被害の防止	60ページ
62	高齢者への感染症対策の普及啓発（新規）	60ページ
63	介護サービス事業者の感染症対策の推進（新規）	61ページ
64	認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施	62ページ
65	認知症ケアの普及啓発	63ページ
66	介護予防推進センターにおける認知症予防教室の実施	64ページ
67	認知症予防の意識向上のための普及啓発（新規）	65ページ
68	認知症の早期診断・早期対応の推進	66ページ
69	多職種連携によるネットワークの構築	67ページ
70	認知症カフェ・認知症緊急ショートステイ	68ページ
71	認知症見守り等支援事業	69ページ
72	早期発見・保護に向けた捜索体制の構築（新規）	69ページ

73	地域包括支援センター機能の充実.....	70ページ
74	地域ケア会議の開催.....	71ページ
75	高齢者見守りネットワークの推進.....	72ページ
76	地域による熱中症予防のための見守り活動の推進.....	73ページ
77	地域支え合いのための情報提供・人材育成及び居場所づくりの支援.....	74ページ

基本目標4 必要な介護保険サービスを適切に利用できている

78	介護給付の適正化.....	75ページ
79	地域密着型サービスの基盤整備.....	77ページ
80	施設サービスの基盤整備.....	78ページ
81	居住系サービスの基盤整備.....	79ページ
82	介護保険サービス利用料等の軽減.....	80ページ
83	介護保険料の減免.....	81ページ
84	多様な媒体を使った分かりやすい情報の提供.....	82ページ
85	福祉サービス第三者評価制度の普及・促進.....	83ページ
86	介護保険サービス相談体制の充実.....	84ページ
87	働く環境の改善.....	85ページ
88	多様な人材の確保.....	86ページ
89	介護サービス事業者等との連携とその支援.....	87ページ
90	ケアマネジャーの資質の向上に向けた研修会等の実施.....	88ページ
91	介護サービス事業者の適切な業務運営に資するための研修会の実施.....	89ページ

巻末資料

事業評価一覧（R5）.....	90ページ
-----------------	-------

※ 事業評価は、次の4段階で行う。

◎：計画以上に進行できている

○：計画どおり進行できている

△：計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている

×：計画に遅れが生じている

※ 原則として、計画（Plan）の欄に目標数値が記載されている場合は、その目標数値に達しているかどうかで判断する。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）進行管理票

Check（評価）は、「◎：計画以上に進行できている、○：計画どおり進行できている、△：計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている、×：計画に遅れが生じている」の4段階で行う

1 心と体がいきいきとしている

(1) 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりの推進

① 高齢者の社会参加の促進

事業番号	1	ページ	55	担当部署	協働共創推進課
事業名	地域貢献活動・地域参加の促進				
事業内容	・「団塊の世代」や高齢者が知識や経験をいかして、地域で活躍できるよう、地域デビュー講座やNPO等地域活動体験セミナーを開催し、地域活動やボランティア・NPO活動等に参加する機会の創出や活動の場を提供します。 ・「団塊の世代」や高齢者の地域活動への参加を促進するため、地域団体等に関する情報を提供します。				
令和元年度実績	・市民活動入門講座（実践講座含む） 21回／延べ158人 ・市民活動専門講座 12回／延べ246人 ・講演会 4回／延べ269人 ・団体活動支援及び市民参画促進のためのコーディネーター養成講座 8回／延べ83人（実人数：11人）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 （Plan）	・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する情報や機会、活動の場を提供します。 ・市民活動入門講座（随時） ・市民活動専門講座（随時） ・講演会（随時） ・コーディネーター養成講座（随時）		・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する情報や機会、活動の場を提供します。 ・市民活動入門講座（随時） ・市民活動専門講座（随時） ・講演会（随時） ・コーディネーター養成講座（随時）		・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する情報や機会、活動の場を提供します。 ・市民活動入門講座（随時） ・市民活動専門講座（随時） ・講演会（随時） ・コーディネーター養成講座（随時）
実行 （Do）	・市民活動入門講座 14回、参加者延べ159人 ・市民活動専門講座 12回、参加者延べ208人 ・講演会 1回、参加者延べ46人 ・団体活動支援及び市民参画促進のためのコーディネーター養成講座 10回、参加者延べ74人		・市民活動入門講座 17回、参加者延べ130人 ・市民活動専門講座 12回、参加者延べ122人 ・講演会 3回、参加者延べ80人 ・団体活動支援及び市民参画促進のためのコーディネーター養成講座 14回、参加者延べ150人		・市民活動入門講座 6回、参加者延べ100人 ・市民活動専門講座 9回、参加者延べ121人 ・講演会 1回、参加者延べ170人 ・団体活動支援及び市民参画促進のためのコーディネーター養成講座 12回、参加者延べ91人
評価 （Check）	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など （Act）	継続して事業実施に努める。		継続して事業実施に努める。		継続して事業実施に努める。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

【第○期】

事業番号	1	ページ	69	担当部署	協働共創推進課
事業名	地域貢献活動・地域参加の促進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する情報や機会、活動の場を提供します。 ・市民活動入門講座（随時） ・市民活動専門講座（随時） ・講演会（随時） ・コーディネーター養成講座（随時）				

事業番号	2	ページ	55	担当部署	高齢者支援課
事業名	シニアクラブへの支援				
事業内容	・高齢者が身近な地域で生きがい活動を行う場であるとともに、友愛訪問など地域の支え合い活動の担い手となるシニアクラブの活動を支援します。				
令和元年度実績	・補助金交付：86団体 ・研修用バスの貸出し：22団体 ・シニアクラブ加入率：9.9%				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・補助金交付：86団体 ・研修用バスの貸出（随時） ・シニアクラブ加入率：9.9%		・補助金交付：86団体 ・研修用バスの貸出（随時） ・シニアクラブ加入率：9.9%		・補助金交付：86団体 ・研修用バスの貸出（随時） ・シニアクラブ加入率：9.9%
実行 (Do)	・補助金交付：83団体 ・研修用バスの貸出：なし ・シニアクラブ加入率：8.9%		・補助金交付：82団体 ・研修用バスの貸出：なし ・シニアクラブ加入率：8.5%		・補助金交付：81団体 ・研修用バスの貸出：（2月～3月） ・シニアクラブ加入率：8.2%
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種事業が休止となり令和元年度以前と比較し活動回数が減少している。 高齢者が身近な地域で生きがい活動を行う場として、さらに支え合い活動の担い手としてのシニアクラブに対して、今後とも支援を行う。		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度以前と比較し各種事業の活動回数が減少している。 高齢者が身近な地域で生きがい活動を行う場として、さらに支え合い活動の担い手としてのシニアクラブに対して、今後とも支援を行う。		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度以前と比較し各種事業の活動回数が減少していたが、回数が増加してきている。 高齢者が身近な地域で生きがい活動を行う場として、さらに支え合い活動の担い手としてのシニアクラブに対して、今後とも支援を行う。
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のためバスの貸出実績なし。		新型コロナウイルス感染拡大防止のためバスの貸出実績なし。		バスの貸出を2～3月に実施した。
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	2	ページ	70	担当部署	高齢者支援課
事業名	シニアクラブへの支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・補助金交付：83団体		・補助金交付：83団体		・補助金交付：83団体 ・シニアクラブ会員数：4,975人

事業番号	3	ページ	56	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者の居場所づくり（新規）				
事業内容	・在宅の一人暮らし高齢者など、市内に居住する高齢者等のうち、地域での見守り等の援助が必要な者又はその介護者等に対し、地域社会との関係構築の機会（サロン）を提供します。				
令和元年度実績	・サロン交流会：2回／延べ61人 ・サロンマップ連絡会：1回／12人 ※福祉まつりへの出店は悪天候のため見送り ・サロンマップの会：10回／延べ61人 ・サロンマップの作成、配布等：11,000部 ・ふちゅう福祉施設マップの作成、配布：3,000部 ・地域福祉活動助成金の支給：10団体／353,000円 ・高齢者が参加できるサロン数：70か所				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・サロン交流会（随時） ・サロンマップ連絡会（随時） ・サロンマップの会（随時） ・サロンマップの作成、配布等（随時） ・ふちゅう福祉施設マップの作成、配布（随時） ・地域福祉活動助成金の支給（随時） ・高齢者が参加できるサロン数の増：85か所 ※令和4年度における目標設置数		・サロン交流会（随時） ・サロンマップ連絡会（随時） ・サロンマップの会（随時） ・サロンマップの作成、配布等（随時） ・ふちゅう福祉施設マップの作成、配布（随時） ・地域福祉活動助成金の支給（随時） ・高齢者が参加できるサロン数の増：85か所 ※令和4年度における目標設置数		・サロン交流会（随時） ・サロンマップ連絡会（随時） ・サロンマップの会（随時） ・サロンマップの作成、配布等（随時） ・ふちゅう福祉施設マップの作成、配布（随時） ・地域福祉活動助成金の支給（随時） ・高齢者が参加できるサロン数の増：85か所 ※令和4年度における目標設置数
実行 (Do)	・サロン交流会：1回／17人 ・サロンマップ連絡会：実施せず ・サロンマップの会：2回／延べ8人 ・サロンマップの作成、配布等：3,000部 ・ふちゅう福祉施設マップの作成、配布：1,500部 ・地域福祉活動助成金の支給：10団体／378,883円 ・高齢者が参加できるサロン数：67か所		・サロン交流会：1回／14人 ・サロンマップ連絡会：1回／17人 ・サロンマップの会：11回／延べ51人 ・サロンマップの作成、配布等：800部（小冊子） ・地域福祉活動助成金の支給：13団体／529,350円 ・高齢者が参加できるサロン数：70か所		・サロン交流会：1回／39人 ・サロンマップ連絡会：実施せず ・サロンマップの会：2回／延べ3人 ・サロンマップの作成、配布等：4,000部 ・地域福祉活動助成金の支給：12団体／444,850円 ・高齢者が参加できるサロン数：69か所
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍で休止中のサロンもあり、設置増には至っていないが、地域で交流する場の必要性は高まっており、今後もサロン開催の支援を行っていく必要がある。		コロナ禍で休止中のサロンもあり、設置増には至っていないが、地域で交流する場の必要性は高まっており、今後もサロン開催の支援を行っていく必要がある。		コロナ禍以降休止中のサロンもあり、設置増には至っていないが、地域で交流する場の必要性は高まっており、今後もサロン開催の支援を行っていく必要がある。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				



【第9期】

事業番号	3	ページ	70	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者の居場所づくり				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・サロン交流会（随時） ・サロンマップ連絡会（随時） ・サロンマップの会（随時） ・サロンマップの作成・配布（随時） ・ふちゅう福祉施設マップの作成、配布（随時） ・地域福祉活動助成金の支給（随時） ・高齢者が参加できるサロン数の増：76か所				

事業番号	4	ページ	56	担当部署	計画課
事業名	高齢者の外出手段の確保				
事業内容	・コミュニティバスの運行による、高齢者の外出手段の確保を支援します。				
令和元年度実績	・運行事業者に補助金を交付し、コミュニティバスの運行を継続しました。利用者数：2,105,258人 ・車両の入替え時にノンステップバスを導入し、全ての車両がノンステップあるいはステップリフト導入済みとなりました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・コミュニティバス運行のため、運行事業者に補助金を交付します。 ・コミュニティバスも含めた公共交通ネットワークの在り方を検討するため、事業者や利用者の意見を伺いながら、地域公共交通計画の策定を進めます。（随時）		・コミュニティバス運行のため、運行事業者に補助金を交付します。 ・コミュニティバスも含めた公共交通ネットワークの在り方を検討するため、事業者や利用者の意見を伺いながら、地域公共交通計画の策定を進めます。（随時）		・コミュニティバス運行のため、運行事業者に補助金を交付します。 ・コミュニティバスも含めた公共交通ネットワークの在り方を検討するため、事業者や利用者の意見を伺いながら、地域公共交通計画の策定を進めます。（随時）
実行 (Do)	・コミュニティバス運行のため、運行事業者に補助金を交付した。 ・地域公共交通計画の策定に向けて、基本的な方針や目標の案などの方向性を取りまとめた		・コミュニティバス運行のため、運行事業者に補助金を交付した。 ・地域公共交通計画の策定に向けて、オープンハウス等における市民意見を踏まえて、計画案を検討した。		・コミュニティバス運行のため、運行事業者に補助金を交付した。 ・令和5年7月に地域公共交通計画を策定した。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・地域公共交通計画推進事業の進捗に合わせてコミュニティバスの在り方を検討するとともに、引き続き要綱に基づき適正な補助金交付を行い、運行を継続する。		・地域公共交通計画推進事業の進捗に合わせてコミュニティバスの在り方を検討するとともに、引き続き要綱に基づき適正な補助金交付を行い、運行を継続する。		・地域公共交通計画推進事業の進捗に合わせてコミュニティバスの在り方を検討するとともに、引き続き要綱に基づき適正な補助金交付を行い、運行を継続する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	4	ページ	70	担当部署	計画課
事業名	高齢者の外出手段の確保				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・府中市地域公共交通計画に基づき、令和7年度に地域公共交通ネットワーク再編計画を策定するなど、各種施策に取り組みます。 ・令和7年度までは現在の路線網でコミュニティバス運行事業を継続し、令和8年度は、地域公共交通ネットワーク再編計画に基づき、コミュニティバス路線を再編して運行します。				

事業番号	5	ページ	56	担当部署	高齢者支援課・産業振興課
事業名	関係機関との連携による就業機会の拡大				
事業内容	・「団塊の世代」の高齢期への移行や改正高年齢者雇用安定法の施行を踏まえ、高齢者が豊富な知識と経験をいかして積極的に地域で活躍できるように職域の開拓や、それに伴う短時間勤務や在宅勤務、就業形態の工夫など、シルバー人材センターが行う取組を支援します。 ・高齢者の社会参加等を促進するため、高齢者の特性や希望に沿った就労活動をコーディネートしている、いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援します。				
令和元年度実績	【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターに補助金を交付したほか、事業の広報掲載等の支援をしました。 【産業振興課（旧：住宅勤務課）】 ・いきいきワーク府中利用状況 新規求職者数： 957人 再来求職者数：1,159人 うち就職者数： 227人 ・ハローワーク合同就職面接会（7/11）を開催				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保します。（随時） 【産業振興課】 ・いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援します。 就職者数：240人		【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保します。（随時） 【産業振興課】 ・いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援します。 就職者数：240人		【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保します。（随時） 【産業振興課】 ・いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援します。 就職者数：240人
実行（Do）	【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保した。 ・シルバー人材センター事業の広報掲載等の支援をした。 【産業振興課】 いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援。職場体験事業を実施。 新規求職者数： 706人 再来求職者数： 866人 うち就職者数： 185人 職場体験事業実施件数： 63件		【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保した。 ・シルバー人材センター事業の広報掲載等の支援をした。 【産業振興課】 いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援。職場体験事業を実施。 新規求職者数： 729人 再来求職者数： 885人 うち就職者数： 191人 職場体験事業実施件数： 66件		【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保した。 ・シルバー人材センター事業の広報掲載等の支援をした。 【産業振興課】 いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援。職場体験事業を実施。 新規求職者数： 779人 再来求職者数：1,073人 うち就職者数： 190人 職場体験事業実施件数： 90件
評価（Check）	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性など（Act）	【高齢者支援課】 就労を希望する高齢者の増加が見込まれるため、シルバー人材センターが安定的な運営を図り、高齢者の就業機会を確保するための支援を継続する。 【産業振興課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、全体の件数は減っているものの、令和2年度からの新規事業である職場体験事業は、着々と実施件数を増やしており、引き続き支援を続けていきたい。		【高齢者支援課】 就労を希望する高齢者の増加が見込まれるため、シルバー人材センターが安定的な運営を図り、高齢者の就業機会を確保するための支援を継続する。 【産業振興課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、全体の件数は減っているものの、職場体験事業は、実施件数を横ばいで維持しており、引き続き支援を続けていきたい。		【高齢者支援課】 就労を希望する高齢者の増加が見込まれるため、シルバー人材センターが安定的な運営を図り、高齢者の就業機会を確保するための支援を継続する。 【産業振興課】 職場体験事業の実施件数が増加している。引き続き支援を行い、就職者の増加に繋げていきたい。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	6	ページ	71	担当部署	高齢者支援課・産業振興課
事業名	関係機関との連携による就業機会の拡大				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、高齢者の就業機会を確保します。 会員数：2, 150人（令和8年度） 【産業振興課】 ・いきいきワーク府中やハローワーク等と連携し、高齢者の就業を支援します。 就職者数：250人				

② 高齢者の生きがいづくりへの支援

事業番号	6	ページ	57	担当部署	文化生涯学習課
事業名	生涯学習の機会の充実				
事業内容	・充実した生活を送るための生涯学習の機会を充実させ、高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進します。				
令和元年度実績	・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース／1回／49人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全3回コースのうち1回のみ実施				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース3回／延べ300人		・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース3回／延べ300人		・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース3回／延べ300人
実行 (Do)	・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース／3回／延べ185人 （第1回10月・42人、第2回12月・36人、第3回2月・107人）		・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース／3回／延べ376人 （第1回1月・63人、第2回2月・243人、第3回2月・70人）		・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース3回／延べ136人 （第1回11月・48人、第2回1月・36人、第3回1月・52人）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	単なる座学ではなく、体操や実演を取り入れ、内容を工夫することで受講者数の増加を図った。今後も、高齢者の興味や関心にマッチし、高齢者の生きがいづくりに役に立つ内容となるよう、生涯学習センターの指定管理者と協議し、受講者増加に努める。		コロナ禍で制限がある中で、舞台の魅力について工夫を凝らし語った講座が大変好評で、計画の人数を達成することができた。今後も高齢者の生きがいづくりに役に立つ内容となるよう、生涯学習センターの指定管理者と協議し、受講者増加に努める。		「生きる力の育成」をテーマに、プロの音楽家による演奏や元大使による国際理解教育、生涯学習センターを拠点に活動する高齢者のサークルの演奏など、様々な視点からテーマに結び付く企画を行った。今後も高齢者の生きがいづくりに役に立つ内容となるよう、指定管理者と協議し、受講者増加に努める。
備考	高齢者に認知度の高いテーマ、かつミュージカル形式で行われた講座が好評であった。		高齢者からのリクエストが多かった「いずみたくの世界」の講座が好評であった。		受講者増加に向けて、テーマ選択の検討が必要
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	8	ページ	72	担当部署	文化生涯学習課
事業名	生涯学習の機会の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・生涯学習講座（けやき寿学園） 1コース3回／延べ300人				

事業番号	7	ページ	57	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者等保養事業の推進				
事業内容	・高齢者の余暇活動や交流を促進するため、保養施設利用助成を実施します。また、対象となる高齢者の増加への対応や他事業との統合等も検討しながら、効果的な事業展開を図ります。 ・高齢者の健康の保持・増進を図るため、地域事業者の協力を得て、多世代のふれあい入浴、高齢者の集いの場としてのことぶき入浴事業を提供します。				
令和元年度実績	・高齢者等保養施設利用助成 70歳以上の市民及び在宅寝たきり高齢者介護者慰労金の受給者を対象に、保養施設の利用助成をしました。 保養施設数：20か所／延べ泊数：257泊 ・ことぶき入浴事業 65歳以上の市民及び小学生以下の子どもを対象に、無料で利用できる入浴券を配布しました。 年5回実施／延べ利用者数：1,878人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・高齢者等保養施設利用助成 保養施設数：20か所 延べ泊数：300泊 ・ことぶき入浴事業（随時） 延べ利用者数：2,000人		・高齢者等保養施設利用助成 保養施設数：20か所 延べ泊数：300泊 ・ことぶき入浴事業（随時） 延べ利用者数：2,000人		・高齢者等保養施設利用助成 保養施設数：20か所 延べ泊数：300泊 ・ことぶき入浴事業（随時） 延べ利用者数：2,000人
実行 (Do)	・高齢者等保養施設利用助成 保養施設数：16か所 延べ泊数：81泊 ・ことぶき入浴事業：中止		・高齢者等保養施設利用助成 保養施設数：16か所 延べ泊数：172泊 ・ことぶき入浴事業：中止		・高齢者等保養施設利用助成 保養施設数：15か所 延べ泊数：171泊 ・ことぶき入浴事業 延べ利用者数：618人
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を休止・中止したため、感染症対策を講じたうえでの実施方法等の検討を行う。		新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止したため、感染症対策を講じたうえでの実施方法等の検討を行う。		新型コロナウイルス感染拡大前の実績と比べ、利用者が減少しているため、今後の事業方法の見直し等の検討を行う。
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため高齢者等保養施設利用助成事業を休止する期間があった。また、ことぶき入浴事業は中止した。		新型コロナウイルス感染拡大防止のため高齢者等保養施設利用助成事業の利用が減少したと考えられる。また、ことぶき入浴事業は中止した。		
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	9	ページ	72	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者等保養事業の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者等保養施設利用助成：延べ300泊 ・ことぶき入浴事業（随時） 利用者数：延べ2,000人				

事業番号	8	ページ	57	担当部署	高齢者支援課
事業名	敬老事業の充実				
事業内容	・敬老の日記念事業及び長寿祝い金贈呈の機会を高齢者の生きがいづくりにつなげるとともに、地域の高齢者見守り活動及びふれあい訪問活動の場としても活用します。				
令和元年度実績	・敬老の日記念大会 日程：令和元年9月16日（祝） 場所：府中の森芸術劇場（3回） 来場者数：3,993人 ・長寿祝い訪問事業 祝い金贈呈（100歳以上、88歳、77歳） 計3,485人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 （Plan）	・敬老の日記念大会 70歳以上の市民を対象に式典及びアトラクションを実施します。 来場者数：4,000人 ・長寿祝い訪問事業 民生委員の協力を得ながら、対象者の訪問、祝い金の贈呈、実情把握を行います。（随時）		・敬老の日記念大会 70歳以上の市民を対象に式典及びアトラクションを実施します。 来場者数：4,000人 ・長寿祝い訪問事業 民生委員の協力を得ながら、対象者の訪問、祝い金の贈呈、実情把握を行います。（随時）		・敬老の日記念大会 70歳以上の市民を対象に式典及びアトラクションを実施します。 来場者数：4,000人 ・長寿祝い訪問事業 民生委員の協力を得ながら、対象者の訪問、祝い金の贈呈、実情把握を行います。（随時）
実行 （Do）	・敬老の日記念大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場開催を中止し、代替事業として敬老の日記念番組を放送した。 ・長寿祝い訪問事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、民生委員等の訪問による贈呈から郵送での口座振込による贈呈方法に変更した。		・敬老の日記念大会 会場開催を予定していたが、台風接近により中止となった。 ・長寿祝い訪問事業 口座振込により贈呈した。		・敬老の日記念大会 70歳以上の市民を対象に式典及びアトラクションを実施した。 来場者数：3,397人 ・長寿祝い訪問事業 口座振込により贈呈した。
評価 （Check）	△		○		○
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など （Act）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の実施方法を変更する必要が生じた。 団塊の世代が75歳以上となり対象者が大きく増大する2025年を見据え、事業のあり方、実施方法を検討する必要がある。		団塊の世代が75歳以上となり対象者が大きく増大する2025年を見据え、事業のあり方、実施方法を検討する必要がある。		団塊の世代が75歳以上となり対象者が大きく増大する2025年を見据え、事業のあり方、実施方法を検討する必要がある。
備考	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の実施方法を変更した。				
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	10	ページ	72	担当部署	高齢者支援課
事業名	敬老事業の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・敬老の日記念大会 会場開催以外の事業運営を検討し、より広く高齢者の長寿を祝うとともに、市民の高齢者福祉への関心と理解を深めます。 ・長寿祝い訪問事業 民生委員の協力を得ながら、対象者の訪問、祝い金の贈呈、実情把握を行います。				

(2) 健康づくりと介護予防の一体的な推進

③ 健康づくりの推進

事業番号	9	ページ	58	担当部署	健康推進課
事業名	健康相談				
事業内容	・生活習慣病の予防やからだやこころの健康づくり等のために保健・福祉・医療が連携し、必要な指導と助言を行うとともに、健康に関する個別相談を実施します。				
令和元年度実績	・健康相談実施回数：延べ259回 歯と口：10回／55人 歯と口健康週間：2回／146人 薬の何でも：2回／67人 ※薬と健康：中止 保健相談：245回 来所：268人／電話：2,410人／訪問：26人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・生活習慣病の予防や、からだやこころの健康づくりのために保健相談室ほか、各種相談事業を実施します。（随時）		・生活習慣病の予防や、からだやこころの健康づくりのために保健相談室ほか、各種相談事業を実施します。（随時）		・生活習慣病の予防や、からだやこころの健康づくりのために保健相談室ほか、各種相談事業を実施します。（随時）
実行 (Do)	・実施回数 延254回 歯と口の健康相談：12回 55人 保健相談室：242回 来所：79人 電話：3,482人 訪問：21人		・実施回数 延254回 歯と口健康相談：12回 59人 保健相談室：243回 来所：64人 電話：2271人 訪問：53人		・実施回数 延255回 歯と口健康相談：12回 67人 保健相談室：243回 来所：123人 電話：2252人 訪問：74人
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	新型コロナウイルスの影響を受け、今後もからだやこころに関する相談の増加が見込まれる。引き続き相談窓口の周知を進めるとともに、相談機関との連携を更に深め、相談を希望する市民が安心して相談できる体制を整える。		引き続き相談窓口の周知を進めるとともに、相談機関との連携を更に深め、相談を希望する市民が安心して相談できる体制を整える。		引き続き相談窓口の周知を進めるとともに、相談機関との連携を更に深める。相談を希望する市民が安心して相談できる体制を整える。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	11	ページ	73	担当部署	健康推進課
事業名	健康相談				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・生活習慣病の予防や、からだやこころの健康づくりのため、保健相談室のほか、各種相談事業を実施します。（随時）				

事業番号	10	ページ	58	担当部署	健康推進課
事業名	健康教育				
事業内容	・医師・歯科医師・保健師・栄養士・歯科衛生士等による講話や、実践を含めた各種指導を行い、生活習慣病の予防やからだやこころの健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発を行います。				
令和元年度実績	・開催回数15回／延べ673人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・実践を含めた各種指導を実施します。（随時）		・実践を含めた各種指導を実施します。（随時）		・実践を含めた各種指導を実施します。（随時）
実行 (Do)	・開催回数 1回 66人（歯科オンライン） ※コロナ禍のため実践を含めた教育は中止		・開催回数 7回 315人（うち3回オンライン）		・開催回数 5回 450人（うち3回ハイブリッド）
評価 (Check)	△		○		○
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍でも効果的な教育・啓発事業の方法を引き続き検討する。		オンライン配信と同時に会場参加型も実施するなどコロナ禍を経た新しい生活様式に合った効果的な啓発方法を引き続き検討し、実施する。		より効果的な健康教育の開催方法及び内容等について引き続き検討し、実施する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

【第○期】					
事業番号	12	ページ	73	担当部署	健康推進課
事業名	健康教育				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・各種健康教育を実施します。				

事業番号	11	ページ	58	担当部署	健康推進課
事業名	健康応援事業				
事業内容	・市民一人一人の健康に対する意識が向上し、自発的に健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。 ・元気いっぱいサポーター（※）養成講座を修了した市民を元気いっぱいサポーターリーダーとして位置付け、市の健康づくりの取組を協働して取り組む仕組みづくりを進めます。				
令和元年度実績	・元気いっぱいサポーター：1,388人 ・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座：1クール ・元気いっぱいサポーターリーダーの自主グループ活動支援、当該グループとの協働でウォーキングイベント開催：3回／83人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・ノルディックウォーキングのイベント等を実施します。（随時） ・元気いっぱいサポーターリーダーを養成し、協働して事業を継続的に実施します。（随時）		・ノルディックウォーキングのイベント等を実施します。（随時） ・元気いっぱいサポーターリーダーを養成し、協働して事業を継続的に実施します。（随時）		・ノルディックウォーキングのイベント等を実施します。（随時） ・元気いっぱいサポーターリーダーを養成し、協働して事業を継続的に実施します。（随時）
実行 (Do)	・元気いっぱいサポーター登録 団体26団体、個人1,303人 ・3月にサポーター通信を送付（1,303通） ・養成講座修了者による、ノルディックウォーキンググループ及び読み聞かせグループの活動支援		・元気いっぱいサポーター登録 団体26団体、個人1,305人 ・1月にサポーター通信を送付（1,305通） ・サポーターリーダー会 1回 ・養成講座修了者による、ノルディックウォーキンググループ及び読み聞かせグループの活動支援		・元気いっぱいサポーター登録 団体26団体、個人1,229人（令和5年度末時点） ・12月にサポーター通信を送付（1,221通） ・サポーターリーダー会 1回 ・養成講座修了者による、ノルディックウォーキンググループ及び読み聞かせグループの活動支援
評価 (Check)	△		○		○
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	元気いっぱいサポーターリーダーで構成するグループが自主的に活動できるように引き続き支援し、協働で実施する事業の内容を多様化しソーシャルキャピタルの醸成を図る。		元気いっぱいサポーターリーダーで構成するグループが自主的に活動できるように引き続き支援し、協働で実施する事業の内容を多様化しソーシャルキャピタルの醸成を図る。		元気いっぱいサポーターリーダーで構成するグループが自主的に活動できるように引き続き支援し、協働で実施する事業の内容を多様化しソーシャルキャピタルの醸成を図る。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	24	ページ	78	担当部署	健康推進課
事業名	自主的な健康づくりへの支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・元気いっぱいサポーターリーダーで構成するグループが自主的に活動できるように引き続き支援し、協働で実施する事業の内容を多様化することでソーシャルキャピタルの醸成を図る。 ・健康づくりに向けた啓発を図る。				

事業番号	12	ページ	59	担当部署	健康推進課
事業名	食育推進事業				
事業内容	・生活習慣病の予防や健康増進を目的に、バランスの良い食生活や食に関する正しい知識の普及を図る講話や調理実習を実施します。また、隔年で食育推進リーダーを養成し、市の事業を協働して実施できる体制を整えます。				
令和元年度実績	・実習を伴う講座：3回／66人 ・食育講演会：1回／41人 ※食育推進リーダー養成講座は隔年開催のため実施なし				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・バランスの良い食生活が実践できるように、調理実習を伴う講座や講演会等を実施します。（随時）		・バランスの良い食生活が実践できるように、調理実習を伴う講座や講演会等を実施します。（随時）		・バランスの良い食生活が実践できるように、調理実習を伴う講座や講演会等を実施します。（随時）
実行 (Do)	・実習を伴う講座及び講演会は、隔年開催のため実施なし。 ・食育推進リーダー養成講座は、コロナ禍により中止。 ・大学生を対象とした事業は、1回321人（オンラインと対面の併用開催）。 ・物産館等でのレシピ配布を実施。 ・（株）東芝 府中事業所との協働で、社員向けの健康情報（ヘルスレーター）において、食育記事を掲載。		・実習を伴う講座1回、講話1回実施。 ・大学生を対象とした事業は、3回674人（食育講座はオンラインと対面の併用で1回開催、食生活相談会2回開催）。 ・物産館等でのレシピ配布を実施。 ・（株）東芝 府中事業所との協働で、社員向けの健康情報（ヘルスレーター）において、食育記事を掲載。 ・農業まつり及び消費生活展において、普及啓発を実施。 ※食育推進リーダー養成講座はR5年度実施予定。		・実習を伴う講座1回 ・食育推進リーダー養成講座1回（5回の連続講座にて実施、養成実人数12人） ・大学生を対象とした講座は、2回794人（食生活相談会2回開催） ・（株）東芝 府中事業所との協働で、社員向けの健康情報（ヘルスレーター）において、食育記事を掲載。 ・農業まつり及び消費生活展において、普及啓発を実施。
評価 (Check)	△		○		○
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍における講座の実施方法（オンライン形式の導入）や食育推進リーダーの育成・活動支援の手法等の検討を行う。		徐々にコロナ以前の活動が再開されてきている。従前の調理実習等、講座の実施方法について改めて見直しを図り、更なる普及啓発に努める。		コロナ禍により中止していた食育推進リーダー養成講座を5年ぶりに開催することができた。今後も食育推進の担い手となる食育推進リーダーの育成や関係機関と連携した更なる普及啓発に努める。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	15	ページ	74	担当部署	健康推進課
事業名	食育推進事業				
年度	令和6年度			令和7年度	令和8年度
計画 (Plan)	・食に関する正しい知識の普及啓発を実施します。(随時) ・食育推進リーダーを育成し、活動を支援します。(随時)				

事業番号	13	ページ	59	担当部署	健康推進課
事業名	歯科医療連携推進事業				
事業内容	・かかりつけ歯科医（※）のいない障害者、要介護者、摂食・嚥下（えんげ）機能に支障がある方等に、歯科医師会に委託し、かかりつけ歯科医を紹介します。 ・摂食・嚥下機能に不安を抱える方が必要な支援が受けられるよう相談窓口を開設しています。 ・市民向け、関係機関向け（隔年）に摂食・嚥下機能に関する講演会を実施します。				
令和元年度実績	・かかりつけ歯科医紹介：新規15人 ・摂食嚥下支援相談：6件 ・摂食嚥下機能支援に関する講演会：20人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・かかりつけ歯科医紹介、摂食嚥下機能支援相談窓口は、事業所等、関係機関への周知に努め、障害等があってもかかりつけ歯科医を持ち、必要な医療が受けられる環境を整えます。 ・摂食・嚥下機能支援に関する講演会は、関係者だけでなく市民一人一人が自身の症状に早期に気づき、予防につなげられる（オーラルフレイル）内容で実施します。（随時）		・かかりつけ歯科医紹介、摂食嚥下機能支援相談窓口は、事業所等、関係機関への周知に努め、障害等があってもかかりつけ歯科医を持ち、必要な医療が受けられる環境を整えます。 ・摂食・嚥下機能支援に関する講演会は、関係者だけでなく市民一人一人が自身の症状に早期に気づき、予防につなげられる（オーラルフレイル）内容で実施します。（随時）		・かかりつけ歯科医紹介、摂食嚥下機能支援相談窓口は、事業所等、関係機関への周知に努め、障害等があってもかかりつけ歯科医を持ち、必要な医療が受けられる環境を整えます。 ・摂食・嚥下機能支援に関する講演会は、関係者だけでなく市民一人一人が自身の症状に早期に気づき、予防につなげられる（オーラルフレイル）内容で実施します。（随時）
実行 (Do)	・かかりつけ歯科医紹介：新規20人 ・摂食嚥下支援相談：13件 ・摂食嚥下機能支援に関する講演会：66人（関係機関向け・オンライン）		・かかりつけ歯科医紹介：新規31人 ・摂食嚥下支援相談：11件 ・摂食嚥下機能支援に関する講演会：中止		・かかりつけ歯科医紹介：23人 ・摂食嚥下支援相談：18人 ・摂食嚥下機能支援に関する講演会：115人
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続実施する。 かかりつけ歯科医の定着、重要性の普及・啓発に努めるとともに、摂食嚥下機能支援相談窓口等の関係機関への周知を引き続き進める。摂食嚥下機能支援に関する講演会は、コロナ禍で有効的な実施方法等を検討する。		継続実施する。 かかりつけ歯科医の定着、重要性の普及・啓発に努めるとともに、摂食嚥下機能支援相談窓口等の関係機関への周知を引き続き進める。摂食嚥下機能支援に関する講演会は、引き続き有効的な実施方法等を検討する。		継続実施する。 かかりつけ歯科医の定着、重要性の普及・啓発に努めるとともに、摂食嚥下機能支援相談窓口等の関係機関への周知を引き続き進める。摂食嚥下機能支援に関する講演会は、引き続き有効的な実施方法等を検討する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	16	ページ	75	担当部署	健康推進課
事業名	歯科医療連携推進事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・障害者、要介護者、摂食・嚥下機能に障害がある方等にかかりつけ歯科医を紹介します。 ・摂食・嚥下機能に関する講演会を実施します。				

事業番号	14	ページ	59	担当部署	保険年金課
事業名	特定健康診査・特定保健指導				
事業内容	・40～74歳の国民健康保険被保険者に対し、高血圧や糖尿病等の生活習慣病有病者及び予備群を抽出するための健康診査を実施します。 ・健康診査の結果、生活習慣病のリスクが一定程度高いと判定された方に対し、面談や電話等によって保健指導を行います。				
令和元年度実績	・特定健康診査受診者：20,411人 ・特定健康診査受診率：53.0% ・特定保健指導対象者：2,130人 ・初回面談実施者：215人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・被保険者の健康保持・増進、医療費の抑制のため、受診率・参加率の向上を図ります。 (随時)		・被保険者の健康保持・増進、医療費の抑制のため、受診率・参加率の向上を図ります。 (随時)		・被保険者の健康保持・増進、医療費の抑制のため、受診率・参加率の向上を図ります。 (随時)
実行 (Do)	・特定健康診査受診者：18,026人 ・特定健康診査受診率：47.7% ・特定保健指導対象者：1,869人 ・特定保健指導の初回面接実施者：129人		・特定健康診査受診者：17,713人 ・特定健康診査受診率：47.9% ・特定保健指導対象者：1,682人 ・特定保健指導の初回面接実施者：175人		・特定健康診査受診者：17,173人 ・特定健康診査受診率：48.4% ・特定保健指導対象者：1,635人 ・特定保健指導の初回面接実施者：181人
評価 (Check)	△		△		△
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍の影響からか、若干受診率が下がってしまった。令和3年度に引き続き、F C東京との協働事業による受診啓発を行い、受診率向上を目指す。		前年度と比較し、健診受診率は微増。特定保健指導初回面接実施者数は増加した、民間企業との協働事業を活用し、引き続き受診率向上に取り組む。		健診受診率と特定保健指導初回面接実施者数は微増。若年層の未受診者や軽度リスク者への勧奨を行い、受診率向上に取り組む。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	17	ページ	75	担当部署	保険年金課
事業名	特定健康診査・特定保健指導				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・被保険者の健康保持・増進、生活習慣病等の早期発見、医療費の抑制のため、受診率・参加率の向上を図ります。（随時）				

事業番号	15	ページ	60	担当部署	保険年金課
事業名	後期高齢者医療健康診査				
事業内容	・75歳以上（65歳以上で一定の障害のある人を含む）で後期高齢者医療被保険者の健康の保持・増進、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療につなげるため、健康診査を実施します。				
令和元年度実績	・健康診査受診者：18,313人 うち訪問診査：1人 ・後期高齢者健康診査受診率：66.86%				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・生活習慣病等の早期発見と後期高齢者の健康を保持・増進し、医療費の適正化につなげます。（随時）		・生活習慣病等の早期発見と後期高齢者の健康を保持・増進し、医療費の適正化につなげます。（随時）		・生活習慣病等の早期発見と後期高齢者の健康を保持・増進し、医療費の適正化につなげます。（随時）
実行 (Do)	・健康診査受診者：17,180人 うち訪問診査：0人 ・後期高齢者健康診査受診率：60.74%		・健康診査受診者：17,974人 うち訪問診査：15人 ・後期高齢者健康診査受診率：61.27%		・健康診査受診者：18,754人 うち訪問診査：30人 ・後期高齢者健康診査受診率：61.66%
評価 (Check)	△		△		△
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍の影響からか、若干受診率が下がってしまった。令和3年度に引き続き、F C東京との協働事業による受診啓発を行い、受診率向上を目指す。		昨年度より受診率はやや改善したものの、コロナ禍の前の受診率には戻っていない。令和3年度に引き続き、F C東京との協働事業による受診啓発を行い、受診率向上を目指す。		昨年度より受診率はやや改善したものの、コロナ禍の前の受診率には戻っていない。令和3年度から継続しているF C東京との協働事業による受診啓発を行い、受診率向上を目指す。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				



【第9期】

事業番号	18	ページ	75	担当部署	保険年金課
事業名	後期高齢者医療健康診査				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・生活習慣病等の早期発見と後期高齢者の健康を保持・増進し、医療費の適正化につなげます。（随時）				

④ 介護予防の推進

事業番号	16	ページ	60	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防事業のPR				
事業内容	・パンフレットや映像等により、介護予防の必要性や大切さをPRします。 ・総合事業においても、一般介護予防事業として介護予防に対する意識啓発の取組に努めるとともに、「元気一番！！ふちゅう体操」を普及し、介護予防に取り組むきっかけづくりとします。				
令和元年度実績	・介護予防の啓発普及のために「令和元年度 元気一番！！介護予防」、「元気一番！！ふちゅう体操」のパンフレットを作成し、配布しました。 介護予防：8,000部 ふちゅう体操：1,000部 ・福祉まつり、フォーリスでのイベント、シニアクラブのイベント等でふちゅう体操の啓発普及を行いました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・高齢者の健康寿命を伸ばすため、介護予防の普及啓発を行います。 パンフレット配布 介護予防：8,000部 ふちゅう体操：1,000部		・高齢者の健康寿命を伸ばすため、介護予防の普及啓発を行います。 パンフレット配布 介護予防：8,000部 ふちゅう体操：1,000部		・高齢者の健康寿命を伸ばすため、介護予防の普及啓発を行います。 パンフレット配布 介護予防：8,000部 ふちゅう体操：1,000部
実行 (Do)	高齢者の健康寿命を延ばすために、介護予防普及啓発に関するパンフレットの配布を行った。 介護予防：8,000部 ふちゅう体操：1,000部		高齢者の健康寿命を延ばすために、介護予防普及啓発に関するパンフレットの配布を行った。 介護予防：8,000部 ※ふちゅう体操は隔年で制作のため中止		高齢者の健康寿命を延ばすために、介護予防普及啓発に関するパンフレットの配布を行った。 介護予防：8,000部 ふちゅう体操：2,000部（圏域変更のため包括ページ省きA3二つ折りサイズ）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍において介護予防の重要性は増しており、介護予防の普及啓発を継続していく必要がある。		介護予防の重要性は増しており、介護予防の普及啓発を継続していく必要がある。		介護予防のきっかけとなる啓発なので、パンシレットだけではなく、ホームページ等の周知も力を入れていく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	22	ページ	77	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護予防事業の体系を見直し、一人一人のリスクに応じた事業を案内できるような仕組みを構築します。				

事業番号	17	ページ	60	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防推進センターにおける介護予防事業やセンター機能の強化				
事業内容	・介護予防推進センターは、介護予防に取り組んでいない高齢者がその重要性を理解し、積極的に取り組めるように教室・講座を充実させるとともに、その方を地域包括支援センターにおける教室参加につなぐなど、介護予防の拠点として機能を強化します。 ・介護予防に関する相談を実施します。 ・介護予防に関する人材（介護予防サポーター（※））を育成し、人材や地域資源等の情報を集約し地域の介護予防活動を支援します。 ・介護予防推進センターで行われている世代間交流事業を拡充し、地域づくりを支援します。				
令和元年度実績	・介護予防講座：延べ14,826人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ20,342人 ・介護予防相談：延べ331人 ・人材育成（研修）：延べ65回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・介護予防講座：延べ14,800人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ20,350人 ・介護予防相談：延べ350人 ・人材育成（研修）：延べ65回		・介護予防講座：延べ14,800人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ20,350人 ・介護予防相談：延べ350人 ・人材育成（研修）：延べ65回		・介護予防講座：延べ14,800人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ20,350人 ・介護予防相談：延べ350人 ・人材育成（研修）：延べ65回
実行 (Do)	・介護予防講座：延べ4,514人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ14,027人 ・介護予防相談：延べ413人 ・人材育成（研修）：延べ72回		・介護予防講座：延べ5,958人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ17,206人 ・介護予防相談：延べ436人 ・人材育成（研修）：延べ65回		・介護予防講座：延べ6,005人 ・介護予防教室（3か月教室）：延べ19,795人 ・介護予防相談：延べ496人 ・人材育成（研修）：延べ83回
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	介護予防の拠点施設として、施設における講座や教室利用者の増加に取り組むとともに、ボランティアの育成や介護予防事業従事者のスキルアップに取り組む。		介護予防の拠点施設として、施設における講座や教室利用者の増加に取り組むとともに、ボランティアの育成や介護予防事業従事者のスキルアップに取り組む。		介護予防の拠点施設として、施設における講座や教室利用者の増加に取り組むとともに、ボランティアの育成や介護予防事業従事者のスキルアップに取り組む。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	19	ページ	76	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防推進センターにおける介護予防事業やセンター機能の強化				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護予防の拠点施設として、施設における講座や教室利用者の増加に取り組むとともに、ボランティアの育成や介護予防事業従事者のスキルアップに取り組みます。				

事業番号	18	ページ	61	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域デイサービス事業（ほっとサロン）				
事業内容	・外出が少なくなっている方が、地域の中で安心して自立した生活が継続できるよう「ほっとサロン」を開催し、介護予防・生きがいづくりを支援します。				
令和元年度実績	・実施回数：延べ1,865回 ・参加者数：延べ13,028人 ・実施場所 介護予防推進センター、地域包括支援センター、自治会館、文化センターなど				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・通いの場を設けることにより、閉じこもり予防や要介護状態への移行防止を図ります。 実施回数：延べ1,865回 参加者数：延べ13,030人		・通いの場を設けることにより、閉じこもり予防や要介護状態への移行防止を図ります。 実施回数：延べ1,865回 参加者数：延べ13,030人		・通いの場を設けることにより、閉じこもり予防や要介護状態への移行防止を図ります。 実施回数：延べ1,865回 参加者数：延べ13,030人
実行 (Do)	実施回数：延べ2,333回 参加者数：延べ12,136人		実施回数：延べ2,449回 参加者数：延べ14,228人		実施回数：延べ2,165回 参加者数：延べ12,155人
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍で定員を減らし2部制で実施している。参加者が目的や目標を持って参加することができるような支援を行っていくことが必要である。		コロナ禍での対策を継続し、定員を減らし実施。参加者が目的や目標を持って参加することができるような支援を行っていくことが必要である。		令和5年度で終了とし、今後は、活動量をあげ、セルフマネジメントを身に付ける場を充実していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	22	ページ	77	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)					

事業番号	19	ページ	61	担当部署	高齢者支援課
事業名	総合事業における訪問型サービスと通所型サービス				
事業内容	・市独自基準の訪問型サービスの担い手である高齢者生活支援員について、市の研修修了者の増加を図るとともに、就労先となる事業所とのマッチングに努めます。 ・国基準のサービスについては、利用実績や他市の状況等を踏まえて、事業の在り方を検討します。				
令和元年度実績	・国基準と市独自基準サービス ①訪問型サービス 事業者数：56か所／費用額：104,983千円 延べ利用者数：6,290人 ②通所型サービス 事業者数：64か所／費用額：236,463千円 延べ利用者数：9,285人 ・高齢者生活支援員養成研修 開催回数：2回／修了者数：34人 就労者数：4人（研修後のアンケート時）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)					・国基準と市独自基準サービス ①訪問型サービス 事業者数：65か所／費用額：133,140千円 延べ利用者数：7,560人 ②通所型サービス 事業者数：75か所／費用額：295,149千円 延べ利用者数：11,160人 ・高齢者生活支援員養成研修 開催回数：2回／修了者数：35人 就労者数：5人（研修後のアンケート時）
実行 (Do)	・国基準と市独自基準サービス ①訪問型サービス 事業者数：55か所／費用額：127,339千円 延べ利用者数：7,302人 ②通所型サービス 事業者数：66か所／費用額：257,555千円 延べ利用者数：9,906人 ・高齢者生活支援員養成研修 開催回数：2回／修了者数：10人 就労者数1人（研修後のアンケート時）		・国基準と市独自基準サービス ①訪問型サービス 事業者数：51か所／費用額：122,096千円 延べ利用者数：6,927人 ②通所型サービス 事業者数：68か所／費用額：263,655千円 延べ利用者数：10,069人 ・高齢者生活支援員養成研修 開催回数：1回／修了者数：5人 就労者数0人（研修後のアンケート時）		・国基準と市独自基準サービス ①訪問型サービス 事業者数：52か所／費用額：124,626千円 延べ利用者数：6,983人 ②通所型サービス 事業者数：68か所／費用額：276,637千円 延べ利用者数：10,476人 ・高齢者生活支援員養成研修 開催回数：1回／修了者数：6人 就労者数0人（研修後のアンケート時）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	高齢者生活支援員の養成研修を引き続き実施するとともに、就労者数の増加に向けてマッチングも行っていく。		高齢者生活支援員の仕組みについて再構築する必要がある。		高齢者生活支援員の養成及びマッチングに注力する必要がある。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	20	ページ	76	担当部署	高齢者支援課
事業名	総合事業における訪問型サービスと通所型サービス				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・訪問型サービス及び通所型サービスを継続します。 ・高齢者生活支援員養成研修の体制を再構築します。				

事業番号	20	ページ	61	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防・生活支援サービス事業の推進				
事業内容	・介護予防・生活支援サービス事業（※）のうち、実施していないサービスについて、市民ニーズやサービス提供者の有無等、本市の現状に適したサービスの実施を検討します。				
令和元年度実績	・サービスC（短期集中予防サービス）開始 リハビリテーション職による2次アセスメント（※）：22件 通所：15回／訪問：57回 通所型サービス（介護予防推進センター） 3クール22人 総合事業卒業加算：1件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 （Plan）	・サービスC（短期集中予防サービス）の取組を通じて、高齢者は必要なサービスや地域の資源とつながり、支援者においても関係機関との連携により適切な支援ができます。また、要支援者及び事業対象者に適したサービスの実施を検討します。 総合事業卒業加算：3件		・サービスC（短期集中予防サービス）の取組を通じて、高齢者は必要なサービスや地域の資源とつながり、支援者においても関係機関との連携により適切な支援ができます。また、要支援者及び事業対象者に適したサービスの実施を検討します。 総合事業卒業加算：3件		・サービスC（短期集中予防サービス）の取組を通じて、高齢者は必要なサービスや地域の資源とつながり、支援者においても関係機関との連携により適切な支援ができます。また、要支援者及び事業対象者に適したサービスの実施を検討します。 総合事業卒業加算：3件
実行 （Do）	・サービスC（短期集中予防サービス） リハビリテーション職による2次アセスメント：21件 訪問：87回 通所型サービス（介護予防推進センター） 3クール20名 総合事業卒業加算 1件		東京都のモデル事業「短期集中予防サービス強化支援事業」を受け実施。 利用者数 53名 訪問型サービス 56件 通所型サービス547回		・サービスC（短期集中予防サービス） 通所型サービス 531回 利用者 53名 卒業81％（終了後総合事業未使用率）
評価 （Check）	○		◎		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画以上に進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など （Act）	サービスCを実施して数年経過するため、評価と今後の方向性を検討する。		モデル事業で得られたものを活かした事業の再構築を行う。		令和6年7月より本格実施。包括で利用率の偏りがあり、広く周知を進めるとともに利用しやすい体制づくりが急務。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	21	ページ	77	担当部署	高齢者支援課
事業名	短期集中予防サービス事業の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・要支援者等に対し、一定期間の予防サービスの介入により、元の生活に戻す（又は可能な限り元の生活に近づける）ことを行い、その後は、利用者ごとの状態に応じた通いの場等につなぎ、状態の維持に努めます。				

事業番号	21	ページ	62	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防推進事業				
事業内容	・65歳以上の全ての高齢者が参加できる教室「元気アップ体操教室」や、その参加者同士が学んだ体操などを通じて交流する「地域交流体操」を開催することで、身近な場所で市民が主体的に介護予防に取り組むきっかけを創出します。				
令和元年度実績	・介護認定を受けていない高齢者の生活機能の低下の度合いを把握し、介護予防事業を普及啓発するため、65、70、75、80、85歳の高齢者を対象に調査を実施しました。 対象者数：10,086人 回答者数：4,816人 ・介護予防教室 地域交流体操：延べ19,830人 住民主体の通いの場等への参加者（おおむね65歳以上）：9,451人 介護予防推進センター・地域包括支援センター把握分：2,445人 文化センター・生涯学習センター把握分：6,886人 社会福祉協議会把握分（サロン）：200人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・生活機能調査（71、73、75、77、79歳） 対象者数：10,000人 回答者数：5,000人 ・介護予防教室の実施 地域交流体操：延べ20,000人 ・住民主体の通いの場等への参加者：10,000人		・生活機能調査（71、73、75、77、79歳） 対象者数：10,000人 回答者数：5,000人 ・介護予防教室の実施 地域交流体操：延べ20,000人 ・住民主体の通いの場等への参加者：10,000人		・生活機能調査（71、73、75、77、79歳） 対象者数：10,000人 回答者数：5,000人 ・介護予防教室の実施 地域交流体操：延べ20,000人 ・住民主体の通いの場等への参加者：10,000人
実行 (Do)	・介護認定を受けていない高齢者の生活機能の低下の度合いを把握し、介護予防事業を普及啓発するため、71歳・73歳・75歳・77歳・79歳の市民を対象に調査を実施した。 対象者数 11,886人 回答者数 5,781人 ・介護予防教室 ふちゅう元気アップ体操 延5,937人 地域交流体操 延17,043人		・介護認定を受けていない高齢者の生活機能の低下の度合いを把握し、介護予防事業を普及啓発するため、71歳・73歳・75歳・77歳・79歳の市民を対象に調査を実施した。 対象者数 12,144人 回答者数 4,142人 ・介護予防教室 地域交流ひろば 延27,275人		・介護認定を受けていない高齢者の生活機能の低下の度合いを把握し、介護予防事業を普及啓発するため、71歳・73歳・75歳・77歳・79歳の市民を対象に調査を実施した。 対象者数 11,910人 回答者数 3,419人 ・介護予防教室 地域交流ひろば 延29,349人
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	高齢者人口が増加する中で、介護予防の重要性は増しており、介護予防の普及啓発を継続していく必要がある。		高齢者人口が増加する中で、介護予防の重要性は増しており、介護予防の普及啓発を継続していく必要がある。		コロナ感染も落ち着き、生活機能調査の返信の無い方（未把握）への訪問等のアプローチも実施し始めた。生活機能調査の回答でリスクのある方へのアプローチも今後力を入れていく。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				



【第9期】

事業番号	22	ページ	77	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護予防事業の体系を見直し、一人一人のリスクに応じた事業を案内できるような仕組みを構築します。				

事業番号	22	ページ	62	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防コーディネート事業				
事業内容	・各地域包括支援センターに配置した介護予防コーディネーターにより、介護予防の普及・啓発を目的に、文化センターや地域包括支援センターにおいて、介護予防講座の開催、市内の各種イベントへの参加、相談への対応を行います。 ・社会資源の発掘や自主グループ活動の支援など、地域における介護予防の取組支援を行います。				
令和元年度実績	・介護予防講座：757回／延べ11,246人 ・訪問・電話等：延べ282人 ・支援グループ：延べ166回 ・ふちゅう体操普及：148回／延べ26,486人 ・介護予防イベント参加者数：延べ11,957人 ・自主グループ立上げ支援：17回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・介護予防講座：760回／延べ11,250人 ・市内の各種イベントへの参加（随時） ・相談対応（訪問：電話等）（随時） ・自主グループ立上げ支援：17回		・介護予防講座：760回／延べ11,250人 ・市内の各種イベントへの参加（随時） ・相談対応（訪問：電話等）（随時） ・自主グループ立上げ支援：17回		・介護予防講座：760回／延べ11,250人 ・市内の各種イベントへの参加（随時） ・相談対応（訪問：電話等）（随時） ・自主グループ立上げ支援：17回
実行 (Do)	・介護予防講座：710回／延べ6,367人 ・市内の各種イベントへの参加：44回 ・相談対応（訪問：電話等）：延べ196人 ・自主グループ立上げ支援：59回		・介護予防講座：709回／延べ6,241人 ・市内の各種イベントへの参加：34回 ・相談対応（訪問：電話等）：延べ209人 ・自主グループ立上げ支援：34回		・介護予防講座：608回／延べ5,446人 ・市内の各種イベントへの参加：51回 ・相談対応（訪問：電話等）：延べ172人 ・自主グループ立上げ支援：63回
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	介護予防の更なる普及啓発を行うために、既存の取組だけではなく、新たな層・手法によるアプローチを行っていく必要があり、継続してスマートフォンやICTを活用していく。		介護予防の更なる普及啓発を行うために、既存の取組だけではなく、新たな層・手法によるアプローチを行っていく必要があり、継続してスマートフォンやICTを活用していく。		介護予防の更なる普及啓発を行うために、既存の取組だけではなく、新たな層・手法によるアプローチを行っていく必要があり、継続してスマートフォンやICTを活用していく。
備考			感染予防のため、人数制限をしている。		
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	26	ページ	79	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域の自主グループへの支援・育成				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者と関わる自主グループの活動を支援し、高齢者が集い、触れ合うことのできる場所づくりや社会参加を促進します。				

⑤ 健康づくりと介護予防に取り組む地域への支援と担い手の育成

事業番号	23	ページ	62	担当部署	スポーツタウン推進課
事業名	スポーツ健康増進活動の機会の充実				
事業内容	・生涯にわたってスポーツに親しめるよう、高齢者向け教室や事業を開催し、高齢者の健康づくりを支援します。				
令和元年度実績	・地域体育館教室：36,586人　うち高齢者健康体操教室：16,321人 ・総合体育館教室：7,118人　うち高齢者健康づくり教室：1,406人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・地域体育館高齢者健康体操教室 ：20,000人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 ：3,400人		・地域体育館高齢者健康体操教室 ：20,000人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 ：3,400人		・地域体育館高齢者健康体操教室 ：20,000人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 ：3,400人
実行 (Do)	【スポーツタウン推進課】 ・地域体育館高齢者健康体操教室 ：7,943人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 ：1,150人		【スポーツタウン推進課】 ・地域体育館高齢者健康体操教室 ：12,908人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 ：2,058人		【スポーツタウン推進課】 ・地域体育館高齢者健康体操教室 ：12,348人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 ：1,900人
評価 (Check)	△		△		△
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【スポーツタウン推進課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、総合体育館及び地域体育館の人数を制限して実施したため、人数が減少しているが、それ以外は概ね計画どおりのため、見直しは必要ない。		【スポーツタウン推進課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、総合体育館及び地域体育館の教室の参加人数を制限して実施したため、令和3年度に比べて参加人数は増加したものの、令和元年度に比べて人数が減少した。また、参加者の嗜好が多様化しており、高齢者健康体操教室以外のスポーツ教室を選択する参加者も増えている。		【スポーツタウン推進課】 新型コロナウイルス感染症の影響による参加人数の制限はなくなったが、地域体育館においては、四谷体育館と押立体育館で空調設置工事を実施し、教室を実施できない時期があったこともあり、令和4年度と同程度の参加人数となっている。また、参加者のニーズが多様化しており、高齢者健康体操教室以外のスポーツ教室に参加者が分散しているが、今後も事業を継続していく。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				



【第9期】

事業番号	23	ページ	78	担当部署	スポーツタウン推進課
事業名	スポーツ健康増進活動の機会の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・地域体育館高齢者健康体操教室 14,000人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 2,100人 ・高齢者健康づくり教室（朝日フットボールパーク） 550人		・地域体育館高齢者健康体操教室 15,000人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 2,200人 ・高齢者健康づくり教室（朝日フットボールパーク） 575人		・地域体育館高齢者健康体操教室 16,000人 ・総合体育館高齢者健康づくり教室 2,300人 ・高齢者健康づくり教室（朝日フットボールパーク） 600人

事業番号	24	ページ	63	担当部署	健康推進課
事業名	自主的な健康づくりへの支援				
事業内容	・自身の健康づくりだけでなく、身近な人の健康にも目を向け、地域のつながりの中で、健康づくりに取り組めるよう支援します。健康づくりの推進に取り組む団体や個人を、「元気いっぱいサポーター」として位置付けて、その活動の支援及び協働して事業を実施します。				
令和元年度実績	・からだ★スキャン：4回／146人 ・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座：5日間／各回29人 ・元気いっぱいサポーター絵本の読み聞かせボランティア養成講座（17日間 各回17人出席） ・元気いっぱいサポーターで構成された自主グループと協働実施したウォーキングイベント 3回／83人参加 ・健康応援ガイド全戸配布（123,749戸）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座（随時） ・ゲートキーパー養成講座（随時） ・健康応援ガイド全戸配布（随時）		・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座（随時） ・ゲートキーパー養成講座（随時） ・健康応援ガイド全戸配布（随時）		・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座（随時） ・ゲートキーパー養成講座（随時） ・健康応援ガイド全戸配布（随時）
実行 (Do)	・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座やサポーターリーダーとの協働でのイベント実施：コロナにより未実施 ・ゲートキーパー養成講座：コロナにより未実施 ・健康応援ガイド全戸配布（128,679戸）		・元気いっぱいサポーターリーダー会 1回 ・健康応援ガイド全戸配布（128,691戸）		・元気いっぱいサポーターリーダー会 1回 ・元気いっぱいサポーターリーダー養成講座（4日間／各回25人） ・健康応援ガイド全戸配布（123769戸）
評価 (Check)	△		△		○
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナ禍により講座の実施は中止としたが、健康応援ガイド配布は実施できた。 R4の講座実施予定はないが、R5より実施できるよう、実施方法などの検討を行う。		コロナ禍でもリーダー会を実施できた。中止していた事業を次年度に再開し、さらに健康づくり活動を推進する。		計画どおり養成講座やリーダー会の実施ができている。引き続き、市民の健康づくり活動を推進していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	24	ページ	78	担当部署	健康推進課
事業名	自主的な健康づくりへの支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・元気いっぱいサポーターリーダーで構成するグループが自主的に活動できるように引き続き支援し、協働で実施する事業の内容を多様化することでソーシャルキャピタルの醸成を図る。 ・健康づくりに向けた啓発を図る。				

事業番号	25	ページ	63	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防サポーターの人材育成と活用				
事業内容	・介護予防推進センターが、介護予防の人材育成研修を修了した高齢者などを、介護予防サポーターとして認定し、介護予防サポーターが活動できる場を提供します。 ・介護予防推進センターが中心となり、地域包括支援センターと連携しながら介護予防サポーターの活動の支援をします。				
令和元年度実績	・介護予防サポーター新規登録数：21人 ・育成研修：65回 ・活動（派遣） 地域：延べ2,535人 介護予防推進センター：延べ2,360人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ180人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・介護予防サポーター新規登録数：22人 ・育成研修：65回 ・活動（派遣） 地域：延べ2,540人 介護予防推進センター：延べ2,400人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ180人		・介護予防サポーター新規登録数：22人 ・育成研修：65回 ・活動（派遣） 地域：延べ2,540人 介護予防推進センター：延べ2,400人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ180人		・介護予防サポーター新規登録数：22人 ・育成研修：65回 ・活動（派遣） 地域：延べ2,540人 介護予防推進センター：延べ2,400人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ180人
実行 (Do)	・介護予防サポーター新規登録数：12人 ・育成研修：72回 ・活動（派遣） 地域：延べ2,388人 介護予防推進センター：延べ2,681人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ587人		・介護予防サポーター新規登録数：12人 ・育成研修：65回 ・活動（派遣） 地域：延べ3,057人 介護予防推進センター：延べ3,236人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ792人		・介護予防サポーター新規登録数：31人 ・育成研修：83回 ・活動（派遣） 地域：延べ2,862人 介護予防推進センター：延べ3,058人 ふちゅう体操普及（地域交流体操）：延べ777人
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	介護予防サポーターの養成は、介護予防推進センターだけではなく、地域においても出張研修を実施している。		介護予防サポーターの養成は、介護予防推進センターだけではなく、地域においても出張研修を実施している。		介護予防サポーターの養成は、介護予防推進センターだけではなく、地域においても出張研修を実施している。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	25	ページ	79	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防サポーターの人材育成と活用				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護予防サポーターの育成研修：81回 ・地域包括支援センターと連携しながら、サポーターの活動を支援します。		・介護予防サポーターの育成研修：84回 ・地域包括支援センターと連携しながら、サポーターの活動を支援します。		・介護予防サポーターの育成研修：87回 ・地域包括支援センターと連携しながら、サポーターの活動を支援します。

事業番号	26	ページ	63	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域の自主グループへの支援・育成				
事業内容	・高齢者と関わる自主グループの活動を支援し、高齢者が集い、ふれあうことのできる場所づくりや社会参加を促進します。 ・介護予防に取り組む自主グループの立上げや継続的な活動を、介護予防推進センターや地域包括支援センターが支援するとともに、自主グループ同士が交流できる場や活動発表の場を確保します。				
令和元年度実績	・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：4グループ 継続支援：延べ275グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：1グループ 自主グループ立上げ支援：17回 継続支援：延べ156グループ ・自主グループの活動発表会の開催 舞台発表：6グループ／展示発表：12グループ／ワークショップ：3グループ				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：4グループ 継続支援：延べ275グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：1グループ 自主グループ立上げ支援：17回 継続支援：延べ160グループ ・自主グループの活動発表会の開催（随時）		・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：4グループ 継続支援：延べ275グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：1グループ 自主グループ立上げ支援：17回 継続支援：延べ160グループ ・自主グループの活動発表会の開催（随時）		・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：4グループ 継続支援：延べ275グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：1グループ 自主グループ立上げ支援：17回 継続支援：延べ160グループ ・自主グループの活動発表会の開催（随時）
実行 (Do)	・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：2グループ 継続支援：延べ119グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：11グループ 自主グループ立上げ支援：59回 継続支援：延べ159グループ ・自主グループの活動発表会の開催1回（WEB）		・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：6グループ 継続支援：延べ314グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：11グループ 自主グループ立上げ支援：34回 継続支援：延べ210グループ ・自主グループの活動発表会の開催1回		・介護予防推進センター 自主グループ立上げ支援：4グループ 継続支援：延べ374グループ ・地域包括支援センター 新規自主グループ：10グループ 自主グループ立上げ支援：63回 継続支援：延べ194グループ ・自主グループの活動発表会の開催1回
評価 (Check)	△		○		○
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	今後も介護予防推進センターや地域包括支援センターが中心となり、自主グループの立上げ等への支援を行っていく。		今後も介護予防推進センターや地域包括支援センターが中心となり、自主グループの立上げ等への支援を行っていく。		今後も介護予防推進センターや地域包括支援センターが中心となり、自主グループの立上げ等への支援を行っていく。
備考	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防の基本的な考え方は住民主体であり、今後住民主体の通いの場が積極的に立ち上がっていくよう継続的な支援が必要である。		介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防の基本的な考え方は住民主体であり、今後住民主体の通いの場が積極的に立ち上がっていくよう継続的な支援が必要である。		介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防の基本的な考え方は住民主体であり、今後住民主体の通いの場が積極的に立ち上がっていくよう継続的な支援が必要である。
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	26	ページ	79	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域の自主グループへの支援・育成				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者と関わる自主グループの活動を支援し、高齢者が集い、触れ合うことのできる場所づくりや社会参加を促進します。				

⑥ 高齢者の保健事業と一般介護予防事業等との一体的な実施

事業番号	27	ページ	64	担当部署	高齢者支援課・健康推進課・保険年金課
事業名	フレイル予防の推進（新規）				
事業内容	・心と体の健康チェックを実施し市民のフレイル状態を把握します。 ・65歳以上の特定健康診査等の結果から把握した低栄養及び口腔機能の低下によりケアが必要な方に、介護予防推進センターや地域包括支援センターにおいてフレイル予防講習会やフレイル予防講座、教室を実施し普及啓発を行います。				
令和元年度実績					
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	・対象者へ心と体の健康チェック（随時） ・フレイル予防講習会：4回×82クール フォロー講座：112回 ・チェック表の返信がない方に訪問し、介護予防教室の案内等によりフレイル予防をします。		・対象者へ心と体の健康チェック（随時） ・フレイル予防講習会：4回×82クール フォロー講座：112回 ・チェック表の返信がない方に訪問し、介護予防教室の案内等によりフレイル予防をします。		・対象者へ心と体の健康チェック（随時） ・フレイル予防講習会：4回×82クール フォロー講座：112回 ・チェック表の返信がない方に訪問し、介護予防教室の案内等によりフレイル予防をします。
実行（Do）	【高齢者支援課】 ・フレイル予防講習会（フォロー講座を含める） 6回×75クール 参加者 2,444名 【健康推進課】 ※備考参照 【保険年金課】 後期高齢者健康診査の結果提供時に協力医療機関を通じてチラシを渡した。		【高齢者支援課】 ・フレイル予防講習会（フォロー講座を含める） 6回×72クール 参加者 2,328名 【健康推進課】 ※備考参照 【保険年金課】 後期高齢者医療健康診査の結果提供時に協力医療機関を通じてチラシを渡した。		【高齢者支援課】 ・フレイル予防講習会（フォロー講座を含める） 6回×67クール 参加者 1,730名 【健康推進課】 ※備考参照 【保険年金課】 後期高齢者医療健康診査の受診券送付時に、健診の受診勧奨だけでなく、フレイルの概要や簡易チェックシート、市内の介護予防拠点等を掲載したパンフレットを同封し、フレイルの普及啓発を行った。
評価（Check）	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性など（Act）	【高齢者支援課】 早期にフレイル予防に関心を持ってもらえるよう、更なる啓発を行っていく必要がある。フレイル予防講習会に繋がった後、社会活動への参加につなげられるような仕組みを充実させていく。 【健康推進課】 ※備考参照 【保険年金課】 より多くの被保険者に周知するため、チラシを渡すタイミングを結果提供時ではなく、受診券送付時への変更を検討している。		【高齢者支援課】 早期にフレイル予防に関心を持ってもらえるよう、更なる啓発を行っていく必要がある。フレイル予防講習会に繋がった後、社会活動への参加につなげられるような仕組みを充実させていく。 【健康推進課】 ※備考参照 【保険年金課】 より多くの被保険者に周知するため、令和5年度よりチラシを渡すタイミングを結果提供時ではなく、受診券送付時へ変更する。		【高齢者支援課】 6回連続講座のため、終盤の参加者が減ってしまう傾向。主体的にフレイル予防に取り組める内容になっているので、継続して地域と繋がりが取り組める仕組みが必要。 【健康推進課】 ※備考参照 【保険年金課】 後期高齢者医療健康診査の受診券送付時に、健診の受診勧奨だけでなく、フレイルの概要や簡易チェックシート、市内の介護予防拠点等を掲載したパンフレットを同封し、フレイルの普及啓発を行った。
備考	※「計画」に記載の内容について、健康推進課では該当なし		※「計画」に記載の内容について、健康推進課では該当なし		※「計画」に記載の内容について、健康推進課では該当なし
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	27	ページ	80	担当部署	高齢者支援課・健康推進課・保険年金課
事業名	フレイル予防の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・従来は基本チェックリスト対象者のうち、希望者へフレイル予防講習会の参加を募っていましたが、フレイルリスクのある方へ事業を案内できるような仕組みを構築します。 【保険年金課】 ・後期高齢者医療健康診査の受診券送付時に、健診の受診勧奨だけでなく、フレイルの概要や簡易チェックシート、市内の介護予防拠点等を掲載したパンフレットを同封し、フレイルの普及啓発を行います。				

事業番号	28	ページ	64	担当部署	高齢者支援課・健康推進課・保険年金課
事業名	一体的な実施に向けた体制の整備（新規）				
事業内容	・高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を行うため、地域健康課題（特定健康診査の結果や未受診対応等）や地域の多様な社会資源の活用を踏まえた検討を行います。 ・地域の医療関係団体等と連携し、個人情報を適切に管理した上で介護・医療・健診情報等の活用を含め、保険年金課、健康推進課と連携して取組を進めます。				
令和元年度実績					
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・65歳以上のフレイル予備群の方へ講座や教室の案内や個別アプローチ等普及啓発します。（随時） ・KDBシステム等を活用し健診結果を分析し、高齢者保健事業と介護予防を一体的に実施します。（随時）		・65歳以上のフレイル予備群の方へ講座や教室の案内や個別アプローチ等普及啓発します。（随時） ・KDBシステム等を活用し健診結果を分析し、高齢者保健事業と介護予防を一体的に実施します。（随時）		・65歳以上のフレイル予備群の方へ講座や教室の案内や個別アプローチ等普及啓発します。（随時） ・KDBシステム等を活用し健診結果を分析し、高齢者保健事業と介護予防を一体的に実施します。（随時）
実行 (Do)	【高齢者支援課】 ・後期高齢者健診受診結果を医療機関で渡す際にフレイル予防のチラシを配布した。 ・KDBシステム等を活用し健診結果を分析し、高齢者保健事業と介護予防を一体的に実施するための検討を両課で実施した。 【健康推進課】 特定健康診査、成人健康診査を受診した65歳以上の受診者のうち、予診票にて情報提供することを同意した方について、高齢者支援課と情報共有を行い介護予防事業の推進を図った。 【保険年金課】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施開始に向けて庁内で検討会を定期的に開催した。		【高齢者支援課】 ・後期高齢者健診受診結果を医療機関で渡す際にフレイル予防のチラシを配布した。 ・KDBシステム等を活用し健診結果を分析し、高齢者保健事業と介護予防を一体的に実施するための検討を両課で実施した。 【健康推進課】 特定健康診査、成人健康診査を受診した65歳以上の受診者のうち、予診票にて情報提供することを同意した方について、高齢者支援課と情報共有を行い介護予防事業の推進を図った。 【保険年金課】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施開始に向けて庁内で検討会を定期的に開催した。 KDBシステムを活用して医療費や健診結果等を分析し、実施事業計画の作成や予算を計上した。		【高齢者支援課】 ・後期高齢者健診受診結果を医療機関で渡す際にフレイル予防のチラシを配布した。 ・一体的実施計画をたて、各包括で1回以上通いの場に地域リハビリテーション事業でリハ職を派遣し、フレイル予防について講演、包括職員への指導を行った。チェックリスト、アンケート実施。 【健康推進課】 特定健康診査、成人健康診査を受診した65歳以上の受診者のうち、予診票にて情報提供することを同意した方について、高齢者支援課と情報共有を行い介護予防事業の推進を図った。 【保険年金課】 ・府中市後期高齢者医療制度被保険者で、糖尿病等の重症化リスクが高い方に対し、受診勧奨や保健指導を実施した。 ・受診勧奨 ① 対象者の通知率 100% ② 対象者の医療機関受診率 48.5% ・保健指導 ① 対象者の実施率 8.3% ② 対象者の継続率(完了者数) 92%
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【高齢者支援課】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施計画の内容について更に検討を重ね、令和5年度からの実施に向けた準備をする必要がある。 【健康推進課】 体制整備について、関係課及び関係機関との連携強化 【保険年金課】 令和5年度実施に向けて、引き続きKDBシステム等により分析及び庁内での検討会を実施する。		【高齢者支援課】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施計画の内容について更に検討を重ね、令和5年度からの実施に向けた準備をする必要がある。 【健康推進課】 体制整備について、関係課及び関係機関との連携強化 【保険年金課】 令和5年度実施に向けて、引き続きKDBシステム等により分析及び庁内での検討会を実施する。		【高齢者支援課】 各包括で1回以上実施できた。通いの場合はフレイルのリスクが個人差が大きく、半分以上はリスクのない方達だったので、今後はフレイルリスクのあるかたにフォーカスして実施していきたい。 【健康推進課】 体制整備について、関係課及び関係機関との連携強化 【保険年金課】 ・対面であれば指導可能だが、電話だと指導がしづらい方や、対面での指導を希望する方が多かった。そのため、状況に応じて指導方法を切り替える等、柔軟な対応ができるよう検討する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

【第2期】

事業番号	28	ページ	81	担当部署	高齢者支援課・健康推進課・保険年金課
事業名	一体的事業の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・KDBシステム等を活用した分析を行い、健康課題を明確にした上で、関係機関と調整し、適切な事業運営を行います。 【保険年金課】 ・府中市後期高齢者医療制度被保険者で、糖尿病等の重症化リスクが高い方に対し、受診勧奨や保健指導を実施します。				

事業番号	29	ページ	64	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域リハビリテーション活動の推進（新規）				
事業内容	・リハビリテーション職が地域における専門的知見をいかして、住民への介護予防に関する技術的助言、介護職員等への介護予防に関する技術的助言、地域ケア会議等におけるケアマネジメント支援を行い、介護予防の効果を高め、ケアマネジメントの質の向上に努めます。				
令和元年度実績	・地域包括支援センターへの派遣回数：106回 予防プランの支援：11回（各地域包括支援センター1回） 通いの場（自主グループ・ほっとサロン・地域交流体操等）：31回 介護予防講座等：64回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・各地域包括支援センターへの派遣：143回（各地域包括支援センター：13回／年） 介護予防講座等への派遣だけでなく、計画的に通いの場へ出向き、地域でのフレイル予防に取り組みます。また、予防プランに関するケアマネジメント能力の質的向上を図ります。		・各地域包括支援センターへの派遣：143回（各地域包括支援センター：13回／年） 介護予防講座等への派遣だけでなく、計画的に通いの場へ出向き、地域でのフレイル予防に取り組みます。また、予防プランに関するケアマネジメント能力の質的向上を図ります。		・各地域包括支援センターへの派遣：143回（各地域包括支援センター：13回／年） 介護予防講座等への派遣だけでなく、計画的に通いの場へ出向き、地域でのフレイル予防に取り組みます。また、予防プランに関するケアマネジメント能力の質的向上を図ります。
実行 (Do)	各地域包括支援センターへの派遣：112回 予防プラン関係の会議への派遣：4回		各地域包括支援センターへの派遣：129回 予防プラン関係の会議への派遣：6回		各地域包括支援センターへの派遣：132回 予防プラン関係の会議への派遣：5回 同行訪問：65回
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・住民主体の通いの場への派遣を増やし、健康なうちから専門的な予防の視点で関われるよう支援していく。 ・ケアプランにもリハビリの予後予測の視点を取り入れて自立支援を促すプラン立てに本事業を役立てたい。		・住民主体の通いの場への派遣を増やし、健康なうちから専門的な予防の視点で関われるよう支援していく。 ・ケアプランにもリハビリの予後予測の視点を取り入れて自立支援を促すプラン立てに本事業を役立てたい。		・一体的実施のため、住民主体の活動場への派遣は増えている。 ・ケアプラン作成時のアセスメント補助として、リハビリ職の同行訪問を開始した。今後はサービスC事前訪問だけでなく、生活の困りごとのアセスメント補助として本事業を活用していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	29	ページ	81	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域リハビリテーション活動の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護予防講座等への派遣だけでなく、計画的に通いの場へ出向き、地域でのフレイル予防に取り組みます。また、予防プランに関するケアマネジメント能力の質的向上を図ります。				

- 2 住み慣れた地域で暮らしている
 (3) 住まいと生活支援の一体的な推進
 ⑦ 高齢者の住まいの安定的な確保

事業番号	30	ページ	65	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者住宅の運営				
事業内容	・高齢者住宅の供給方法等の検討を行うとともに、国や東京都の居住支援制度を活用することなどにより、高齢者のための住宅確保に努めます。				
令和元年度実績	・高齢者住宅を運営するとともに、入居者の安否確認、退去に伴う居室の修繕、入居募集事務等の管理を行いました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・高齢者住宅の運営、入退去者の管理を行います。（随時）		・高齢者住宅の運営、入退去者の管理を行います。（随時）		・高齢者住宅の運営、入退去者の管理を行います。（随時）
実行 (Do)	・高齢者住宅の運営、入退去者の管理を行った。		・高齢者住宅の運営、入退去者の管理を行った。		・高齢者住宅の運営、入退去者の管理を行った。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	退去時の手続きや費用等について保証人や連絡人の対応が困難となる事例が増加しているため、対応を検討する必要がある。		退去時の手続きや費用等について保証人や連絡人の対応が困難となる事例が増加しているため、対応を検討する必要がある。		退去時の手続きや費用等について保証人や連絡人の対応が困難となる事例が増加しているため、対応を検討し、要領を作成した。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	30	ページ	82	担当部署	高齢者支援課・住宅課
事業名	公営住宅の管理運営・高齢者入居枠の確保				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・住宅に困窮、又は、居宅での生活が困難な高齢者に対して生活の場を提供するため、継続して事業を実施します。 ・高齢者住宅管理戸数：129戸 ・東京都からの都営シルバーピアの地元割当て調査に市の意向を示し、割当てを受けた戸数に対する入居募集を実施します。 【住宅課】 ・市営住宅の募集に際しては、優遇抽選等の方法により高齢者が入居しやすくなるよう配慮します。				

事業番号	31	ページ	65	担当部署	高齢者支援課・住宅課
事業名	公営住宅の高齢者入居枠の確保				
事業内容	・公営住宅の入居希望者の増加に対応し、引き続き都営住宅における高齢者入居枠の確保を東京都へ要請します。 ・市営住宅の募集に際しては、優遇抽選等の方法により高齢者が入居しやすくなるよう配慮します。				
令和元年度実績	【高齢者支援課】 ・東京都から地元割当てのあった1戸について、高齢者を対象として募集しました。 【住宅課（旧：住宅勤務課）】 ・高齢者の優遇倍率を一般世帯の3倍としました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 （Plan）	【高齢者支援課】 ・東京都からの都営シルバーピアの地元割当（府中市民限定の都営住宅の募集）の意向確認の際には、割当を受け、募集を実施します。（随時） ・公営住宅の入居希望者の増加に対応し、引き続き都営住宅における高齢者入居枠の確保を東京都へ要請します。（随時） 【住宅課】 ・市営住宅の募集に際しては、優遇抽選等の方法により高齢者が入居しやすくなるよう配慮します。（随時）		【高齢者支援課】 ・東京都からの都営シルバーピアの地元割当（府中市民限定の都営住宅の募集）の意向確認の際には、割当を受け、募集を実施します。（随時） ・公営住宅の入居希望者の増加に対応し、引き続き都営住宅における高齢者入居枠の確保を東京都へ要請します。（随時） 【住宅課】 ・市営住宅の募集に際しては、優遇抽選等の方法により高齢者が入居しやすくなるよう配慮します。（随時）		【高齢者支援課】 ・東京都からの都営シルバーピアの地元割当（府中市民限定の都営住宅の募集）の意向確認の際には、割当を受け、募集を実施します。（随時） ・公営住宅の入居希望者の増加に対応し、引き続き都営住宅における高齢者入居枠の確保を東京都へ要請します。（随時） 【住宅課】 ・市営住宅の募集に際しては、優遇抽選等の方法により高齢者が入居しやすくなるよう配慮します。（随時）
実行 （Do）	【高齢者支援課】 ・東京都から地元割当てはなかった。 【住宅課】 ・高齢者世帯の優遇倍率を一般世帯の3倍とした。		【高齢者支援課】 ・東京都から地元割当てのあった1戸について、高齢者を対象として募集した。 【住宅課】 ・高齢者世帯の優遇倍率を一般世帯の3倍とした。		【高齢者支援課】 ・東京都から地元割当てのあった1戸について、高齢者を対象として募集した。 【住宅課】 ・高齢者世帯の優遇倍率を一般世帯の3倍とした。
評価 （Check）	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など （Act）	【高齢者支援課】 ・都営シルバーピアの入居枠については、今後も東京都に対して確保の希望を出していく。 【住宅課】 ・高齢者世帯の優遇倍率については、引き続き実施していく。		【高齢者支援課】 ・都営シルバーピアの入居枠については、今後も東京都に対して確保の希望を出していく。 【住宅課】 ・高齢者世帯の優遇倍率については、引き続き実施していく。		【高齢者支援課】 ・都営シルバーピアの入居枠については、今後も東京都に対して確保の希望を出していく。 【住宅課】 ・高齢者世帯の優遇倍率については、引き続き実施していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	30	ページ	82	担当部署	高齢者支援課・住宅課
事業名	公営住宅の管理運営・高齢者入居枠の確保				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・住宅に困窮、又は、居宅での生活が困難な高齢者に対して生活の場を提供するため、継続して事業を実施します。 ・高齢者住宅管理戸数：129戸 ・東京都からの都営シルバーピアの地元割当て調査に市の意向を示し、割当てを受けた戸数に対する入居募集を実施します。 【住宅課】 ・市営住宅の募集に際しては、優遇抽選等の方法により高齢者が入居しやすくなるよう配慮します。				

事業番号	32	ページ	66	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者住替支援事業				
事業内容	・立ち退き等により住宅に困窮している単身高齢者の多様なニーズに対応できるよう民間賃貸住宅への住み替えに関する相談窓口の紹介をします。また、要件に該当する方は、保証委託料の助成をします。				
令和元年度実績	・相談件数：37件 うち住替終了：21件、継続中：6件、キャンセル：10件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・高齢者住替支援を実施します。（随時） 保証委託料の助成など		・高齢者住替支援を実施します。（随時） 保証委託料の助成など		・高齢者住替支援を実施します。（随時） 保証委託料の助成など
実行 (Do)	・相談件数：36件 うち住替終了：6件、継続中：9件、キャンセル：21件		・利用助成：0件 ※高齢者住替支援は令和4年度より住宅セーフティーネット住まい相談窓口へ移行。		・利用助成：0件 ※高齢者住替支援は令和4年度より住宅セーフティーネット住まい相談窓口へ移行。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	他部署で住宅相談を受けている居住支援協議会との連携。		関係課に依頼のもと、高齢者住替支援事業助成金についての周知を図る。		関係課に依頼のもと、高齢者住替支援事業助成金についての周知を図る。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	31	ページ	83	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者住替支援事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者住替支援助成金について、高齢者の住まい確保への支援につながるよう、周知方法や事業の在り方等を検討します。				

事業番号	33	ページ	66	担当部署	介護保険課
事業名	高齢者自立支援住宅改修給付				
事業内容	・地域包括支援センターと連携しながら、住宅改修給付制度を実施していくことで、住まいのバリアフリー化による住環境の改善を図り、高齢者の在宅生活を支援します。				
令和元年度実績	・高齢者自立支援住宅改修給付 給付対象者数：35人 助成対象工事件数：35件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・65歳以上で住宅の改修が必要と認められる方に対し住宅改修費を助成し、安心して在宅生活を継続できるよう支援を行います。 (随時)		・65歳以上で住宅の改修が必要と認められる方に対し住宅改修費を助成し、安心して在宅生活を継続できるよう支援を行います。 (随時)		・65歳以上で住宅の改修が必要と認められる方に対し住宅改修費を助成し、安心して在宅生活を継続できるよう支援を行います。 (随時)
実行 (Do)	・高齢者自立支援住宅改修給付 給付対象者数：13人 助成対象工事件数：13件		・高齢者自立支援住宅改修給付 給付対象者数：12人 助成対象工事件数：12件		・高齢者自立支援住宅改修給付 給付対象者数：5人 助成対象工事件数：5件
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続実施		継続実施		継続実施
備考	介護保険住宅改修と同様に作業療法士による専門的審査を実施した。		介護保険住宅改修と同様に作業療法士による専門的審査を実施した。		介護保険住宅改修と同様に作業療法士による専門的審査を実施した。
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	32	ページ	83	担当部署	介護保険課
事業名	高齢者自立支援住宅改修給付				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・65歳以上で住宅の改修が必要と認められる方に対し住宅改修費を助成し、安心して在宅生活を継続できるよう支援を行います。(随時)				

事業番号	34	ページ	66	担当部署	高齢者支援課・介護保険課・住宅課
事業名	高齢者の住まい等のあり方の検討				
事業内容	・地域の实情に合った高齢者の住まいのあり方について、住宅部門（居住支援協議会）と連携して検討し、一体的で連続性のある実施体制を構築していきます。また、生活支援施策との連携にも留意します。 ・東京都と情報連携し、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を把握します。				
令和元年度実績	【介護保険課（旧：高齢者支援課）】 ・市内の有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居状況を把握しました。 【住宅課（旧：住宅勤務課）】 ・高齢者等の住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住まいを確保できるよう、国の新たな住宅セーフティネット制度の活用等について関係機関と情報交換を図りました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課・介護保険課】 ・市民ニーズや社会情勢、国や東京都の動向を把握し本市における高齢者の今後の住まいの在り方や連携の方策（高齢者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進など）について、住宅部門（居住支援協議会）と共に検討を進めます。（随時） 【介護保険課】 ・有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数や入居状況を把握します。（随時） 【住宅課】 ・高齢者等の住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住まいを確保できるように、関係機関と情報交換を図り、国の新たな住宅セーフティネット制度の活用等を推進していきます。 居住支援協議会の開催：3回 （本会1回／部会2回）		【高齢者支援課・介護保険課】 ・市民ニーズや社会情勢、国や東京都の動向を把握し本市における高齢者の今後の住まいの在り方や連携の方策（高齢者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進など）について、住宅部門（居住支援協議会）と共に検討を進めます。（随時） 【介護保険課】 ・有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数や入居状況を把握します。（随時） 【住宅課】 ・高齢者等の住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住まいを確保できるように、関係機関と情報交換を図り、国の新たな住宅セーフティネット制度の活用等を推進していきます。 居住支援協議会の開催：3回 （本会1回／部会2回）		【高齢者支援課・介護保険課】 ・市民ニーズや社会情勢、国や東京都の動向を把握し本市における高齢者の今後の住まいの在り方や連携の方策（高齢者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進など）について、住宅部門（居住支援協議会）と共に検討を進めます。（随時） 【介護保険課】 ・有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数や入居状況を把握します。（随時） 【住宅課】 ・高齢者等の住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住まいを確保できるように、関係機関と情報交換を図り、国の新たな住宅セーフティネット制度の活用等を推進していきます。 居住支援協議会の開催：3回 （本会1回／部会2回）
実行 (Do)	【高齢者支援課】 ・市居住支援協議会に参画し、関係機関の連携や必要な支援策について情報共有や協議を進めた。 【介護保険課】 市内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの入居状況を把握した。 【住宅課】 居住支援協議会開催（本会2回／部会1回）		【高齢者支援課】 ・市居住支援協議会に参画し、関係機関の連携や必要な支援策について情報共有や協議を進めた。 【介護保険課】 市内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの入居定員総数を把握した。 【住宅課】 居住支援協議会開催（本会1回／部会2回）		【高齢者支援課】 ・市居住支援協議会に参画し、関係機関の連携や必要な支援策について情報共有や協議を進めた。 【介護保険課】 市内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの入居定員総数を把握した。 【住宅課】 居住支援協議会開催（本会1回／部会1回）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【高齢者支援課】 ・引き続き市居住支援協議会に参画し、協議会の方針を踏まえた関連事業の在り方を検討していく。 【介護保険課】 引き続き、市内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの入居状況を把握する。 【住宅課】 不動産協力店を拡大する。		【高齢者支援課】 ・引き続き市居住支援協議会に参画し、協議会の方針を踏まえた関連事業の在り方を検討していく。 【介護保険課】 引き続き、市内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの入居定員総数を把握する。 【住宅課】 不動産協力店を拡大する。		【高齢者支援課】 ・引き続き市居住支援協議会に参画し、協議会の方針を踏まえた関連事業の在り方を検討していく。 【介護保険課】 引き続き、市内のサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの入居定員総数を把握する。 【住宅課】 不動産協力店を拡大する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

【おとり】					
事業番号	33	ページ	83	担当部署	高齢者支援課・介護保険課・住宅課
事業名	高齢者の住まい等の在り方の検討				
年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度	
計画 (Plan)	【高齢者支援課・介護保険課・住宅課】 ・有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数や設置届出件数を把握します。（随時） ・市民のニーズや社会情勢、国や東京都の動向を把握し、本市における高齢者の今後の住まいの在り方、高齢者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進などについて、居住支援協議会とともに検討を進めます。（随時）				

⑧ 在宅支援サービスの充実と生活支援体制の整備

事業番号	35	ページ	67	担当部署	高齢者支援課
事業名	自立支援ショートステイ				
事業内容	・要介護認定を受けていない方で、介護者の不在や、身体的・精神的な状況等により一時的に介護が必要な高齢者を対象にショートステイを実施し、健康管理や食事の提供を行います。				
令和元年度実績	・介護保険サービスの短期入所の対象にならない高齢者の中で、介護者の不在や、身体的・精神的な状況等により一時的に介護が必要な方を対象にショートステイを実施し、健康管理や食事の提供を行いました。 利用数：延べ205日				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・一時的に介護を必要とする高齢者の生活の安定等を図るため、ショートステイを実施します。（随時）		・一時的に介護を必要とする高齢者の生活の安定等を図るため、ショートステイを実施します。（随時）		・一時的に介護を必要とする高齢者の生活の安定等を図るため、ショートステイを実施します。（随時）
実行 (Do)	介護保険サービスの短期入所の対象にならない等の高齢者の中で、介護者の不在や、身体的・精神的な状況等により一時的に介護が必要な方を対象にショートステイを実施し、健康管理や食事の提供を行いました。 利用数：延べ174日		介護保険サービスの短期入所の対象にならない等の高齢者の中で、介護者の不在や、身体的・精神的な状況等により一時的に介護が必要な方を対象にショートステイを実施し、健康管理や食事の提供を行いました。 利用数：延べ111日		介護保険サービスの短期入所の対象にならない等の高齢者の中で、介護者の不在や、身体的・精神的な状況等により一時的に介護が必要な方を対象にショートステイを実施し、健康管理や食事の提供を行いました。 利用数：延べ235日
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	事業認知度の更なる向上。		利用料の徴収方法について検討。		利用料の徴収方法について検討。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	34	ページ	84	担当部署	高齢者支援課
事業名	自立支援ショートステイ				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・要介護認定を受けていない方で、一時的に養護を必要とする高齢者の生活の安定等を図るため、ショートステイを実施します。				

事業番号	36	ページ	67	担当部署	高齢者支援課・介護保険課
事業名	おむつ支給・訪問理髪・寝具乾燥・高齢者車いす福祉タクシー				
事業内容	・「要介護3」以上の高齢者に対し、訪問理髪・美容、おむつの支給、寝具乾燥、リフト付タクシーによる通院支援など、介護保険制度を補完したサービスを実施し、要介護者の在宅生活を支援します。また、適切な支給内容や支給要件については、必要に応じて見直しを検討します。				
令和元年度実績	【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業 利用延べ人数（理容）：1,644人 利用延べ人数（美容）：712人 計：2,356人 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業 支給対象者数：1,593人 ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業 利用延べ人員：694人 ・高齢者車いす福祉タクシー事業 利用延べ件数：5,677件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業（随時） 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業（随時） ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業（随時） ・高齢者車いす福祉タクシー事業（随時）		【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業（随時） 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業（随時） ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業（随時） ・高齢者車いす福祉タクシー事業（随時）		【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業（随時） 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業（随時） ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業（随時） ・高齢者車いす福祉タクシー事業（随時）
実行 (Do)	【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業 利用延べ人数（理容）：1,425人 利用延べ人数（美容）：838人 計：2,263人 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業 支給対象者数：1,635人 ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業 利用延べ人員：542人 ・高齢者車いす福祉タクシー事業 利用延べ件数：6,028件		【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業 利用延べ人数（理容）：1,420人 利用延べ人数（美容）：969人 計：2,389人 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業 支給対象者数：1,617人 ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業 利用延べ人員：611人 ・高齢者車いす福祉タクシー事業 利用延べ件数：5,449件		【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業 利用延べ人数（理容）：1,464人 利用延べ人数（美容）：1,094人 計：2,558人 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業 支給対象者数：1,561人 ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業 利用延べ人員：735人 ・高齢者車いす福祉タクシー事業 利用延べ件数：5,321件
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【高齢者支援課】 在宅で生活する世帯の負担は大きく、市からの継続的な支援がその負担軽減につながるものであり、事業を継続実施する。 【介護保険課】 継続実施		【高齢者支援課】 在宅で生活する世帯の負担は大きく、市からの継続的な支援がその負担軽減につながるものであり、事業を継続実施する。 【介護保険課】 継続実施		【高齢者支援課】 在宅で生活する世帯の負担は大きく、市からの継続的な支援がその負担軽減につながるものであり、事業を継続実施する。 【介護保険課】 継続実施
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	35	ページ	84	担当部署	高齢者支援課・介護保険課
事業名	おむつ支給・訪問理髪・寝具乾燥・高齢者車いす福祉タクシー				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・ねたきり高齢者理容・美容事業（随時） 【介護保険課】 ・ねたきり高齢者おむつ助成事業（随時） ・ねたきり高齢者寝具乾燥事業（随時） ・高齢者車いす福祉タクシー事業（随時）				

事業番号	37	ページ	67	担当部署	介護保険課
事業名	生活支援ヘルパー派遣・日常生活用具の貸与等				
事業内容	・在宅高齢者が介護保険のサービスを開始できるようになるまで等の一時的な期間に、生活支援ヘルパーの派遣や、日常生活用具の貸与等を行い、日常生活の支援を行います。				
令和元年度実績	・生活支援ヘルパー事業 利用延べ人数：28人 ・日常生活用具給付等事業 利用延べ件数：730件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・生活支援ヘルパー事業（随時） ・日常生活用具給付等事業（随時）		・生活支援ヘルパー事業（随時） ・日常生活用具給付等事業（随時）		・生活支援ヘルパー事業（随時） ・日常生活用具給付等事業（随時）
実行 (Do)	・生活支援ヘルパー事業 利用延べ人数：16人 ・日常生活用具給付等事業 利用延べ件数：508件		・生活支援ヘルパー事業 利用延べ人数：44人 ・日常生活用具給付等事業 利用延べ件数：422件		・生活支援ヘルパー事業 利用延べ人数：30人 ・日常生活用具給付等事業 利用延べ件数：355件
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続実施		継続実施		継続実施
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	36	ページ	84	担当部署	介護保険課
事業名	生活支援ヘルパー派遣・日常生活用具の貸与等				
年度	令和6年度			令和7年度	令和8年度
計画 (Plan)	・生活支援ヘルパー事業（随時） ・日常生活用具給付等事業（随時）				

事業番号	38	ページ	68	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者救急通報システム事業				
事業内容	・高齢者の生活の安全を確保するため、心臓病、脳血管疾患等を有し、日常生活を営む上で常時注意を要する方を対象に、救急通報機器（身体の異常等の緊急事態を救急通報するための機器）を貸与します。当該救急通報機器からの通報があった場合に、消防署等への連絡、現場への人員の派遣、その他救助活動を行うことにより、在宅生活を支援します。 ・オプションとして、住宅用火災警報器、生活リズムセンサーについても希望者へ貸与します。				
令和元年度実績	・利用件数：592件（延べ利用月数）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	利用件数：約600件		利用件数：約640件		利用件数：約680件
実行 (Do)	利用件数：約616件		利用件数：約610件		利用件数：約601件
評価 (Check)	◎		△		△
評価の内容	計画以上に進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)			地域包括支援センターを介して周知を徹底する。		地域包括支援センターを介して周知を徹底する。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	37	ページ	85	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者救急通報システム事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	利用件数：約620件		利用件数：約650件		利用件数：約680件

事業番号	39	ページ	68	担当部署	高齢者支援課
事業名	生活支援体制整備事業の推進				
事業内容	- 生活支援コーディネーターが中心となり、既存の地域資源や、今後新たに創出された生活支援・介護予防サービスを活用し、安全・安心な在宅生活を継続できるよう生活支援体制を整備します。 - 生活支援コーディネーターは、地域共生社会の実現に向けて取り組む地域福祉コーディネーター（※）の役割も兼ねており、高齢者、障害者、子どもを含めた全ての方が暮らしやすい地域づくりに取り組めます。				
令和元年度実績	- 生活支援コーディネーター配置人数 第1層：1人／第2層：6人 - わがまちタウンミーティング 第1回 8月10日：参加者111人 第2回 3月14日（中止） - わがまち支えあい協議会（※） 「押立・車返ささえあい協議会」 ①会議：39回／延べ263人 ②定期活動：173回／延べ288人（来場者・利用者：延べ387人） ③PR活動：11回／延べ94人（参加者6人） 「ささえあい四谷」 ①会議：25回／延べ162人 ②定期活動：160回／延べ333人（来場者・利用者：延べ375人） ③PR活動：5回／延べ39人（来場者：延べ125人） 「住吉・分梅・南町ささえあい協議会」 ①会議：14回／延べ185人 ②定期活動：55回／延べ397人（来場者・利用者：延べ315人） ③PR活動：6回／延べ47人（来場者：延べ24人） - 準備委員会の開催回数と参加人数 中 央：26回244人、白糸台：12回138人、西 府：16回193人、武蔵台：12回153人、新 町：12回151人、 是 政：14回200人、紅葉丘：15回139人、片 町：12回125人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	- 生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の把握及び解決に向けた取組を行います。（随時） - わがまち支えあい協議会の開催 11か所×12回＝132回 - 生活支援コーディネーター配置人数 第1層：1人／第2層：11人		- 生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の把握及び解決に向けた取組を行います。（随時） - わがまち支えあい協議会の開催 11か所×12回＝132回 - 生活支援コーディネーター配置人数 第1層：1人／第2層：11人		- 生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の把握及び解決に向けた取組を行います。（随時） - わがまち支えあい協議会の開催 11か所×12回＝132回 - 生活支援コーディネーター配置人数 第1層：1人／第2層：11人
実行（Do）	生活支援コーディネーター配置人数 第1層（市全域） 1名 第2層（日常生活圏域） 11名 ・わがまちタウンミーティング 第1回 令和3年8月28日 参加者58名 第2回 令和4年2月23日 参加者54名 ・わがまち支えあい協議会 『押立・車返ささえあい協議会』活動者延933名 ①会議 延28回 195名 ②地域活動 延296回 延738名 『ささえあい四谷』活動者延802名 ①会議 52回 延351名 ②地域活動 241回 延469名 『住吉・分梅・南町ささえあい協議会』活動者延673名 ①会議 35回 延300名 ②地域活動 89回 延373名 『中央ささえあいの会』活動者延462名 ①会議 28回 延292名 ②地域活動 72回 延170名 『わがまち支えあいの会～小柳・是政・清水が丘エリア～』活動者延1,471名 ①会議 41回 延472名 ②地域活動 366回 延999名 『わがまち ありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～』活動者延599名 ①会議 26回 延219名 ②地域活動 138回 380名 『ささえあいの会～白糸台・若松町・清水が丘・小柳～』活動者延316名 ①会議 15回 延126名 ②地域活動 80回 延189名 『新町ささえあいの会』活動者延684名 ①会議 31回 延297名 ②地域活動 113回 延387名 『かたまち支えあいの会』活動者延401名 ①会議 18回 延205名 ②地域活動 81回 延196名 『武蔵台・北山・西原ささえあいの会』活動者延478名 ①会議 25回 延298名 ②地域活動 63回 延180名 『にしんエリアささえ愛の会』活動者延926名 ①会議 28回 延283名 ②地域活動 257回 延643名 その他各会でイベント、住民アンケート等を実施。 わがまち支えあい協議会において、地域の実情に応じて、高齢者を支える生活支援の仕組みづくりやサロン等について話し合い、運営している。		生活支援コーディネーター配置人数 第1層（市全域） 1名 第2層（日常生活圏域） 11名 ・わがまちタウンミーティング 第1回 令和4年8月20日 参加者59名 第2回 令和5年2月25日 参加者72名 ・わがまち支えあい協議会 『押立・車返ささえあい協議会』活動者延1,095名 ①会議 延36回 326名 ②地域活動 延242回 延769名 『ささえあい四谷』活動者延1,057名 ①会議 27回 延268名 ②地域活動 380回 延789名 『住吉・分梅・南町ささえあい協議会』活動者延1,124名 ①会議 26回 延352名 ②地域活動 156回 延772名 『中央ささえあいの会』活動者延615名 ①会議 30回 延339名 ②地域活動 113回 延276名 『わがまち支えあいの会～小柳・是政・清水が丘エリア～』活動者延1,523名 ①会議 32回 延414名 ②地域活動 423回 延1,109名 『わがまち ありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～』活動者延1,000名 ①会議 24回 延232名 ②地域活動 280回 768名 『ささえあいの会～白糸台・若松町・清水が丘・小柳～』活動者延550名 ①会議 16回 延184名 ②地域活動 186回 延366名 『新町ささえあいの会』活動者延1,126名 ①会議 25回 延255名 ②地域活動 186回 延871名 『かたまち支えあいの会』活動者延499名 ①会議 14回 延186名 ②地域活動 85回 延313名 『武蔵台・北山・西原ささえあいの会』活動者延509名 ①会議 24回 延307名 ②地域活動 56回 延202名 『にしんエリアささえ愛の会』活動者延885名 ①会議 18回 延174名 ②地域活動 267回 延711名 その他各会でイベント、住民アンケート等を実施。 わがまち支えあい協議会において、地域の実情に応じて、高齢者を支える生活支援の仕組みづくりやサロン等について話し合い、運営している。		生活支援コーディネーター配置人数 第1層（市全域） 1名 第2層（日常生活圏域） 11名 ・わがまちタウンミーティング 第1回 令和5年9月10日 参加者92名 第2回 令和6年2月23日 参加者64名 ・わがまち支えあい協議会 『押立・車返ささえあい協議会』活動者延1,497名 ①会議 延39回 365名 ②地域活動 延260回 延1,132名 『ささえあい四谷』活動者延1,348名 ①会議 30回 延333名 ②地域活動 427回 延1,015名 『住吉・分梅・南町ささえあい協議会』活動者延1,352名 ①会議 38回 延404名 ②地域活動 136回 延948名 『中央ささえあいの会』活動者延520名 ①会議 16回 延230名 ②地域活動 103回 延290名 『わがまち支えあいの会～小柳・是政・清水が丘エリア～』活動者延2,037名 ①会議 28回 延398名 ②地域活動 811回 延1,639名 『わがまち ありすの会～朝日・多磨・紅葉・若松～』活動者延1,346名 ①会議 27回 延229名 ②地域活動 440回 1,117名 『ささえあいの会～白糸台・若松町・清水が丘・小柳～』活動者延842名 ①会議 27回 延242名 ②地域活動 269回 延600名 『新町ささえあいの会』活動者延1,152名 ①会議 16回 延224名 ②地域活動 171回 延928名 『かたまち支えあいの会』活動者延454名 ①会議 12回 延201名 ②地域活動 67回 延253名 『武蔵台・北山・西原ささえあいの会』活動者延617名 ①会議 29回 延350名 ②地域活動 66回 延267名 『にしんエリアささえ愛の会』活動者延1,904名 ①会議 31回 延200名 ②地域活動 546回 延1,704名 その他各会でイベント、住民アンケート等を実施。 わがまち支えあい協議会において、地域の実情に応じて、高齢者を支える生活支援の仕組みづくりやサロン等について話し合い、運営している。

評価 (Check)	○	○	○
評価の内容	計画どおり進行できている	計画どおり進行できている	計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	地域の支え合い活動は更に充実させる必要があることから、生活支援コーディネーターを中心に仕組みづくりを地域の方とともに検討していく必要がある。	地域の支え合い活動は更に充実させる必要があることから、生活支援コーディネーターを中心に仕組みづくりを地域の方とともに検討していく必要がある。	地域の支え合い活動は更に充実させる必要があることから、生活支援コーディネーターを中心に仕組みづくりを地域の方とともに検討していく必要がある。
備考			
総評	○		
	計画どおり進行できた		



【第9期】

事業番号	38	ページ	85	担当部署	高齢者支援課
事業名	生活支援体制整備事業の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の把握及び解決に向けた取組を行います。				

(4) 医療と介護の連携強化
 ⑨ 医療と介護の連携の推進

事業番号	40	ページ	69	担当部署	高齢者支援課
事業名	医療・介護・福祉関係機関の連携構築				
事業内容	・住み慣れた地域において、医療と介護の必要な在宅高齢者を支えるため、介護従事者と、在宅医療を担う医療関係者間の「顔の見える関係づくり」を推進します。 ・地域の医療関係者と介護事業者が参画する会議体を開催し、在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出を行うとともに、高齢者の地域での生活を支え、生活の質を高めるための連携や協働に向けて、関係者への働き掛けを行い、ネットワークの構築を推進します。 ・府中市医療機関・介護事業所検索サイト内の連絡ツールを用い、関係機関が情報交換や情報発信できる機会を拡大します。				
令和元年度実績	・多職種研修会の開催（全体）：4回／263人 ・超高齢社会の街づくりフェスタ：1回 参加者：約800人 多職種スタッフ：約150人 ・在宅療養を支える100人の集い：94人 ・地域包括支援センターと他機関との情報交換会：2回 ・在宅医療・介護連携会議における各部会の開催：12回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・多職種研修会の開催（全体）：4回／300人 ・NPO等外部機関との協働による多職種ネットワークの構築（随時） ・在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議する会議体の開催：12回		・多職種研修会の開催（全体）：4回／300人 ・NPO等外部機関との協働による多職種ネットワークの構築（随時） ・在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議する会議体の開催：12回		・多職種研修会の開催（全体）：4回／300人 ・NPO等外部機関との協働による多職種ネットワークの構築（随時） ・在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議する会議体の開催：12回
実行 (Do)	多職種研修会：1回/80人（WEB開催） 地域包括支援センターと訪問看護ステーション連絡会との情報交換会：1回 在宅医療・介護連携会議：8回 部会長打ち合わせ：2回		多職種研修会：2回/214人（会場とWEB開催） 地域包括支援センターと他機関との情報交換会：2回 在宅医療・介護連携会議：8回 部会長打ち合わせ：2回		・多職種研修会の開催：2回／211人 ・在宅医療・介護連携会議：9回 ・地域包括支援センターと他機関との情報交換会：3回
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナにより研修会や情報交換会の機会は減少しているが、WEB開催等工夫して実施していく。		コロナにより研修会や情報交換会の機会は減少しているが、WEB開催等工夫して実施していく。		研修会、会議の内容方法回数は、目的をふまえて適切に実施していく。府中市医療機関・介護事業所検索サイトの活用される仕組みをつくる。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	39	ページ	86	担当部署	高齢者支援課
事業名	医療・介護・福祉関係機関の連携体制の整備				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、解決策等を協議する会議体の開催：11回（部会を含みます。） ・NPO等外部機関との協働による多職種ネットワークの構築（随時）				

事業番号	41	ページ	69	担当部署	高齢者支援課
事業名	在宅療養に関わる専門職の相互理解				
事業内容	・地域で在宅療養を支援する介護関係者への医療知識習得の機会の提供や、医療関係者に介護保険制度に関する研修等を行います。また、医療関係者・介護関係者の相互理解のために、グループワークを用いた多職種研修会を開催します。 ・在宅療養や在宅での看取り、認知症対応、感染症や災害時対応などについて、地域で在宅療養を支援する医師、歯科医師、薬剤師や看護師、歯科衛生士、ケアマネジャーなどの専門職の理解及び対応力を深める取組を進めます。				
令和元年度実績	・グループワークを用いた研修会：3回／204人 ・医療関係者向け研修：中止 ・介護関係者向け研修：1回／59人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・多職種研修会開催：2回／150人 ・医療関係者向け研修：1回／190人 ・介護関係者向け研修：1回／160人		・多職種研修会開催：2回／150人 ・医療関係者向け研修：1回／190人 ・介護関係者向け研修：1回／160人		・多職種研修会開催：2回／150人 ・医療関係者向け研修：1回／190人 ・介護関係者向け研修：1回／160人
実行 (Do)	多職種研修会：1回/80人 他団体で実施の研修会の周知協力 「連携推進に向けたアンケート」の実施		・多職種研修会開催：1回／111人 ・介護関係者向け研修：1回／103人		・多職種研修会開催：2回／211人
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	コロナにより研修会や情報交換会の機会は減少しているが、WEB開催等工夫して実施していく。		コロナにより研修会や情報交換会の機会は減少しているが、WEB開催等工夫して実施していく。		在宅療養に関わる専門職の相互理解が深まる方法として、多職種研修を中心に実施していく。必要時、医療職介護職分けて研修を実施していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	40	ページ	86	担当部署	高齢者支援課
事業名	在宅療養に関わる専門職の相互理解				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・多職種研修会開催：1回 ・介護関係者向け研修：1回 ・医療関係者向け研修：1回				

⑩ 在宅療養環境の整備・充実

事業番号	42	ページ	70	担当部署	高齢者支援課
事業名	市民への普及啓発				
事業内容	・病院から在宅療養へ円滑に移行できるよう、在宅療養支援診療所（※）や訪問医などの医療機関の情報や、介護・福祉の情報を市民や関係機関に提供します。 ・医療と介護が必要な高齢者が自らの意思で療養の場を選択できるよう、在宅療養に関する講演会を開催し、在宅療養に関する情報や心構えなど知識を身に付けられる機会を提供します。 ・在宅療養における看取りまでの時間の過ごし方や考え方について講座等を開催し、ACPについて普及啓発を進めていきます。				
令和元年度実績	・在宅医療・介護連携会議における各部会の開催：12回 ・在宅療養の地域資源調査：719か所 ・府中市医療機関・介護事業所検索サイト運営 ・在宅療養市民講演会：2回開催／参加者117人 ・在宅療養ハンドブック作成、配布				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・在宅療養の地域資源調査：全数実施 ・在宅療養に関する市民講演会を開催します。 2回開催／参加者240人 ・市民、専門職から構成される会議体において、効果的な普及啓発方法を検討します。 (随時)		・在宅療養の地域資源調査：全数実施 ・在宅療養に関する市民講演会を開催します。 2回開催／参加者240人 ・市民、専門職から構成される会議体において、効果的な普及啓発方法を検討します。 (随時)		・在宅療養の地域資源調査：全数実施 ・在宅療養に関する市民講演会を開催します。 2回開催／参加者240人 ・市民、専門職から構成される会議体において、効果的な普及啓発方法を検討します。 (随時)
実行 (Do)	・在宅療養の地域資源調査：723か所 ・普及啓発動画の作成・公開 ・市民談話室での展示・動画上映 ・普及啓発部会（2回） ・在宅療養ハンドブックの改訂・配布		・在宅療養の地域資源調査：718か所 ・市民談話室での展示・動画上映 ・普及啓発部会（2回） ・在宅療養ハンドブックの配布 ・映画「ピア」オンライン上映		・在宅療養の地域資源調査：721か所 ・在宅療養に関する市民講演会：映画上映と多職種によるトークセッション、パネル展示、福祉用具展示 1回開催／参加者61人 ・普及啓発部会（3回） ・在宅療養ハンドブックの増刷・配布
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	新型コロナウイルスの影響を受け、市民講演会の代替として、普及啓発動画を作成した。コロナ禍での普及啓発の方法を検討していく。		新型コロナウイルスの影響を受け、市民講演会の代替として、映画上映を実施した。コロナ禍での普及啓発の方法を検討していく。		様々な取り組みをとoshi、市民への普及啓発を検討し、実施する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	41	ページ	87	担当部署	高齢者支援課
事業名	市民への普及啓発				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・在宅療養の地域資源調査：全数実施 ・在宅療養に関する市民講演会：1回／参加者100人				

事業番号	43	ページ	70	担当部署	健康推進課
事業名	かかりつけ医等の普及				
事業内容	・本人の心身の状況、生活習慣や家庭環境を良く理解した上で、治療や健康に関する指導を行えるよう、関係団体と連携しながら、かかりつけ医、かかりつけ歯科医及びかかりつけ薬局（※）の普及を促進します。				
令和元年度実績	・市内医療機関の情報についてホームページ等で情報提供を実施しました。 ・かかりつけ歯科医紹介 新規：15人／訪問稼働数：529人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・市のホームページや「わたしの便利帳」、「おとしよりのふくし」等に最新の医療機関情報を掲載し、広く周知します。（随時）		・市のホームページや「わたしの便利帳」、「おとしよりのふくし」等に最新の医療機関情報を掲載し、広く周知します。（随時）		・市のホームページや「わたしの便利帳」、「おとしよりのふくし」等に最新の医療機関情報を掲載し、広く周知します。（随時）
実行 (Do)	・市ホームページ等各種媒体を活用し、医療機関情報等を周知。 ・「健康応援ガイド」に、かかりつけ医等のコラムを掲載。 ・かかりつけ歯科医紹介：新規20人		・市ホームページ等各種媒体を活用し、医療機関情報等を周知。 ・「健康応援ガイド」に、かかりつけ医等のコラムを掲載。 ・かかりつけ歯科医紹介：新規31人(再掲)		・市ホームページ等各種媒体を活用し、医療機関情報等を周知。 ・「健康応援ガイド」に、かかりつけ医等のコラムを掲載。 ・かかりつけ歯科医紹介：新規23人（再掲）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続実施		継続実施		継続実施
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	42	ページ	87	担当部署	健康推進課
事業名	かかりつけ医等の普及				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・市のホームページや「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」等に最新の医療機関情報を掲載し、広く周知します。（随時）				

事業番号	44	ページ	70	担当部署	高齢者支援課
事業名	在宅療養相談窓口の充実				
事業内容	・高齢者の身近な相談窓口である地域包括支援センターに、在宅療養相談窓口を設置し、在宅療養に関する相談に対応します。 ・市民及び市内の介護・医療関係者からの在宅療養に関する相談に対して、適切な対応ができるよう在宅療養に関する地域資源を把握し、相談窓口を充実させます。				
令和元年度実績	・地域包括支援センターにおいて在宅療養に関する相談対応をしました。 相談実績：5,435件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・高齢者やその家族、関係機関からの在宅療養の相談に対応します。（随時） ・在宅療養相談窓口を市民周知します。（随時）		・高齢者やその家族、関係機関からの在宅療養の相談に対応します。（随時） ・在宅療養相談窓口を市民周知します。（随時）		・高齢者やその家族、関係機関からの在宅療養の相談に対応します。（随時） ・在宅療養相談窓口を市民周知します。（随時）
実行 (Do)	在宅療養相談実績 7,478件 在宅療養ハンドブック、リーフレット等の配架、各種相談での窓口の案内		在宅療養相談実績 6,620件 在宅療養ハンドブック、リーフレット等の配架、各種相談での窓口の案内		在宅療養相談実績 5,477件 在宅療養ハンドブック、リーフレット等の配架、各種相談での窓口の案内
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	相談窓口についての周知を市民及び病院等医療機関へ継続的に実施する。		相談窓口についての周知を市民及び病院等医療機関へ継続的に実施する。		相談窓口についての周知を市民及び病院等医療機関へ継続的に実施する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	43	ページ	87	担当部署	高齢者支援課
事業名	在宅療養相談窓口の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者やその家族、関係機関からの在宅療養の相談に対応します。（随時） ・在宅療養相談窓口を市民に周知します。（随時）				

事業番号	45	ページ	71	担当部署	高齢者支援課
事業名	在宅療養を24時間支える体制づくり（新規）				
事業内容	・府中市医師会が取り組む、在宅療養に関する体制整備を支援します。 ・在宅医とバックアップ登録医が、24時間体制を有する訪問看護ステーション等多職種と連携しながら、在宅療養患者の病状変化時に24時間連絡できる体制を整備します。 ・在宅療養を支える関係者の連携ツールとして、クラウド型ＩＴネットワークシステムの活用を推進します。				
令和元年度実績	・「24時間の診療体制の確保」を実施（9月～）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	・在宅療養を24時間支える体制を構築します。 （随時）		・在宅療養を24時間支える体制を構築します。 （随時）		・在宅療養を24時間支える体制を構築します。 （随時）
実行（Do）	府中市医師会24時間診療体制の確保事業への補助 連携ツール（MCS）の活用に向け、医師会・居宅介護支援事業所との調整		府中市医師会24時間診療体制の確保事業への補助 連携ツール（MCS）の活用に向け、医師会・居宅介護支援事業所との調整		府中市医師会24時間診療体制の確保事業への補助 連携ツール（MCS）の活用に向け、医師会・居宅介護支援事業所との調整
評価（Check）	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性など（Act）	医師会への補助の継続実施。 医師会への事業外でもICT（MCS）を活用した連携ができるよう、取組を進める。		医師会への補助の継続実施。 医師会への事業外でもICT（MCS）を活用した連携ができるよう、取組を進める。		医師会への補助の継続実施。 医師会への事業外でもICT（MCS等）を活用した連携ができるよう、取組を進める。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	44	ページ	88	担当部署	高齢者支援課
事業名	在宅療養を24時間支える体制づくり				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・在宅療養を24時間支える体制構築の推進				

事業番号	46	ページ	71	担当部署	高齢者支援課
事業名	バックベッドの整備				
事業内容	・在宅療養患者の病状変化時や介護者のレスパイト等の際、安心して過ごせる場所を確保します。				
令和元年度実績	・後方支援病床利用調整事業の周知 ・他自治体（三鷹市）の実施方法等ヒアリング ・高齢者医療ショートステイ 延べ日数：31日／実人数：4人／延べ人数：6人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・新体制を構築して、引き続き、バックベッドとして利用できる体制を整備します。 利用件数：12件		・新体制を構築して、引き続き、バックベッドとして利用できる体制を整備します。 利用件数：12件		・新体制を構築して、引き続き、バックベッドとして利用できる体制を整備します。 利用件数：12件
実行 (Do)	事業利用件数：4件 府中市入院時情報提供書の改訂。		事業利用件数：6件		事業利用件数：2件
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	かかりつけ医等に事業の周知を図る。		かかりつけ医等に事業の周知を図る。		必要な方が利用できるよう、かかりつけ医等に事業の周知を図る。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

【おしり】					
事業番号	45	ページ	88	担当部署	高齢者支援課
事業名	バックベッドの整備				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・在宅療養患者の緊急時の連携体制整備の推進				

(5) 介護者への支援の充実

⑪ 介護者の交流機会の充実

介護者の交流協会の充実

事業番号	47	ページ	71	担当部署	高齢者支援課
事業名	家族介護者教室				
事業内容	・高齢者を介護している家族等が、介護に関する知識や技術、介護者の健康管理等について学ぶための介護者教室を開催し、介護者の介護負担の軽減を図ります。 ・参加者ニーズに適した教室の開催や、介護者同士の交流を図るための懇談会等を開催します。 ・介護者のメンタル面のフォローを更に充実させます。				
令和元年度実績	・実施回数：49回 ・延べ人数：579人／実人数：422人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画(Plan)	・延べ人数：600人／実人数：440人		・延べ人数：600人／実人数：440人		・延べ人数：600人／実人数：440人
実行(Do)	・延べ人数：100人／実人数：61人		・延べ人数：338人／実人数：283人		・延べ人数：699人／実人数：599人
評価(Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性など(Act)	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での実施方法等の検討を行う。		新型コロナウイルス感染症以降参加者が減っているため、参加者を集める周知を検討する。		新型コロナウイルス感染症以降参加者が減っているため、参加者を集める周知を検討する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	47	ページ	89	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護者への交流支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・家族介護者教室：延べ400人／年				

事業番号	48	ページ	72	担当部署	高齢者支援課
事業名	家族介護者の交流支援				
事業内容	・家族介護者の負担軽減を図るため、家族介護者のネットワークづくりや活動を支えるボランティアの育成を支援します。				
令和元年度実績	・介護者の会：4か所／37回開催				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
計画 (Plan)	・介護者の会運営支援：4か所／40回開催	・介護者の会運営支援：4か所／40回開催	・介護者の会運営支援：4か所／40回開催		
実行 (Do)	・介護者の会運営支援：4か所／41回開催	・介護者の会運営支援：4か所／45回開催	・介護者の会運営支援：4か所／47回開催		
評価 (Check)	◎	◎	◎		
評価の内容	計画以上に進行できている	計画以上に進行できている	計画以上に進行できている		
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続する。	継続する。	継続する。		
備考					
総評	◎				
	計画以上に進行できた				



【第9期】

事業番号	47	ページ	89	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護者への交流支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護者の会：延べ300人／年				

⑫ 介護者への情報提供とサービスの推進

事業番号	49	ページ	72	担当部署	多様性社会推進課（地域コミュニティ課から移行）
事業名	ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進				
事業内容	・介護者に現役世代が増加し、また、男性介護者等も増加していることを受けて、仕事と介護の両立を図ることに伴って啓発活動や情報提供を推進します。				
令和元年度実績	・介護に関する悩みを話し合うグループ相談事業を実施しました。 1回／参加者0人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・意識啓発事業：1回以上		・意識啓発事業：1回以上		・意識啓発事業：1回以上
実行 (Do)	在宅介護の基礎に関する講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講座が中止となり、計画どおり実施できなかった。		意識啓発事業：1回 在宅介護をしていく上で必要となる、口腔ケアのポイントについてリハビリテーション職員による説明		在宅介護の基礎に関する講座の開催を予定していたが、講師の調整がつかず講座の開催が計画どおり実施できなかった。
評価 (Check)	△		○		×
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている		計画に遅れが生じている
改善点・今後の方向性 など (Act)	今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講座が中止となってしまったが、来年度は計画通り意識啓発事業を年間1回以上実施する。		引き続き意識啓発事業を年間1回以上実施する。		在宅介護に関する講座を開催可能な団体が1団体しかおらず、団体都合で開催の可否が決まるため、他団体でも開催できるものを模索する必要がある。
備考	その他、高齢者向けの料理教室や介護・認知症予防などの講座を実施することで、生きがいづくりや健康支援に関する情報提供を行った。				
総評	×				
	計画に遅れが生じた				



【第9期】

事業番号	46	ページ	89	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護者への情報提供				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」作成部数：14,000部				

事業番号	50	ページ	72	担当部署	高齢者支援課
事業名	緊急時のショートステイの確保				
事業内容	・介護者の急病など緊急時に利用できるショートステイ用ベッドを確保します。				
令和元年度実績	・ショートステイ先として1か所を確保しました。 利用実績：延べ10人／延べ88泊				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・高齢者を緊急的に保護することができる ショートステイ先を確保します。 利用実績：延べ15人／延べ137泊		・高齢者を緊急的に保護することができる ショートステイ先を確保します。 利用実績：延べ15人／延べ137泊		・高齢者を緊急的に保護することができる ショートステイ先を確保します。 利用実績：延べ15人／延べ137泊
実行 (Do)	ショートステイ先を確保：4か所 利用実績：延べ26人／延べ220泊		ショートステイ先を確保：4か所 利用実績：延べ31人／延べ312泊		ショートステイ先を確保：7か所 利用実績：延べ21人／延べ190泊
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	対象者の増加傾向に伴い、受入れ先の更なる確保も含めて検討していく必要がある。		対象者の増加傾向に伴い、受入れ先の更なる確保も含めて検討していく必要がある。		対象者の増加傾向に伴い、受入れ先の更なる確保も含めて検討していく必要がある。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	48	ページ	90	担当部署	高齢者支援課
事業名	緊急時のショートステイの確保				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・ 確保施設数：7施設				

3 安心して暮らしている

(6) 安全・安心の確保に向けた施策の充実

⑬ 相談支援体制の強化

事業番号	51	ページ	73	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域での多様な相談体制の整備				
事業内容	・身近なところで福祉に関する様々な相談が受けられるよう、市や地域包括支援センターにおける相談体制を充実させます。				
令和元年度実績	・福祉総合相談受付延べ件数：2,678件 ・地域包括支援センター相談実績 実人数：10,537人／延べ件数：52,864件 ・外部研修に市や地域包括支援センター職員を派遣（高齢者虐待対応研修、地域包括支援センター職員研修等）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・市や地域包括支援センター職員の対応力向上を図るため、研修への派遣等を行います。（随時） ・関係機関との連携の強化を図るため、権利擁護担当者連絡会等を開催します。（随時）		・市や地域包括支援センター職員の対応力向上を図るため、研修への派遣等を行います。（随時） ・関係機関との連携の強化を図るため、権利擁護担当者連絡会等を開催します。（随時）		・市や地域包括支援センター職員の対応力向上を図るため、研修への派遣等を行います。（随時） ・関係機関との連携の強化を図るため、権利擁護担当者連絡会等を開催します。（随時）
実行 (Do)	・福祉総合相談受付延べ件数：4,255件 ・地域包括支援センター相談実績 実人数：9,938人／延べ件数：47,745件 ・外部研修に市や地域包括支援センター職員を派遣（高齢者虐待対応研修、地域包括支援センター職員研修等）		・福祉総合相談受付延べ件数：4,377件 ・地域包括支援センター相談実績 実人数：10,653人／延べ件数：45,800件 ・外部研修に市や地域包括支援センター職員を派遣（派遣人数等； 高齢者虐待対応研修：市職員5名、包括支援センター11名 地域包括支援センター職員研修：包括支援センター14名）		・福祉総合相談受付延べ件数：3,902件 ・地域包括支援センター相談実績 実人数：10,204人／延べ件数：41,502件 ・外部研修に市や地域包括支援センター職員を派遣（派遣人数等； 高齢者虐待対応研修：市職員8名、包括支援センター9名 地域包括支援センター職員研修：包括支援センター7名）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・相談内容が複雑・困難化しているため、職員の更なる能力向上を図る必要がある。		・相談内容が複雑・困難化しているため、職員の更なる能力向上を図る必要がある。		・相談内容が複雑・困難化しているため、職員の更なる能力向上を図る必要がある。
備考	・相談件数は増加傾向にあり、内容も複雑化している。相談に不足のない対応をするためには、体制の強化を進める必要がある。				
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	50	ページ	91	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域での多様な相談体制の整備				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	- 市役所と地域包括支援センターに高齢者の福祉に関する相談窓口を設置します。 （地域包括支援センター相談受付件数） 令和6年度：延べ50,000件 - 市や地域包括支援センター職員の対応力向上を図るため、研修への派遣を行います。（随時） - 職員の対応能力の向上、関係機関との連携の強化を図るため、職種別の連絡会等を開催します。 - ICTの活用による相談体制の強化の方策を検討します。		- 市役所と地域包括支援センターに高齢者の福祉に関する相談窓口を設置します。 （地域包括支援センター相談受付件数） 令和7年度：延べ51,000件 - 市や地域包括支援センター職員の対応力向上を図るため、研修への派遣を行います。（随時） - 職員の対応能力の向上、関係機関との連携の強化を図るため、職種別の連絡会等を開催します。 - ICTの活用による相談体制の強化の方策を検討します。		- 市役所と地域包括支援センターに高齢者の福祉に関する相談窓口を設置します。 （地域包括支援センター相談受付件数） 令和8年度：延べ52,000件 - 市や地域包括支援センター職員の対応力向上を図るため、研修への派遣を行います。（随時） - 職員の対応能力の向上、関係機関との連携の強化を図るため、職種別の連絡会等を開催します。 - ICTの活用による相談体制の強化の方策を検討します。

事業番号	52	ページ	73	担当部署	高齢者支援課
事業名	担当地区ケア会議の開催				
事業内容	・支援困難事例の支援方法を検討するため、担当地区ケア会議を開催します。また、会議の開催を通じて地域課題の把握に努めます。				
令和元年度実績	・担当地区ケア会議実施：90回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・担当地区ケア会議を開催し、個別事例の課題解決及び個別事例の課題分析等を行うことによる地域課題の把握を行います。（随時）		・担当地区ケア会議を開催し、個別事例の課題解決及び個別事例の課題分析等を行うことによる地域課題の把握を行います。（随時）		・担当地区ケア会議を開催し、個別事例の課題解決及び個別事例の課題分析等を行うことによる地域課題の把握を行います。（随時）
実行 (Do)	・担当地区ケア会議実施：127回		・担当地区ケア会議実施：142回 ・会議目的の達成割合：97%		・担当地区ケア会議実施：150回 ・会議目的の達成割合：88%
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・地域ケア個別会議で出た個別課題を地域課題として抽出するため、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動を図る。		・担当地区ケア会議で出た個別課題を地域課題として抽出するため、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動を図る。		・担当地区ケア会議で出た個別課題を地域課題として抽出するため、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動を図る。
備考	・担当地区ケア会議を地域ケア個別会議に位置付け、高齢者地域支援連絡会と府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会を地域ケア推進会議に位置付けている。				
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	51	ページ	92	担当部署	高齢者支援課
事業名	担当地区ケア会議の開催				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・担当地区ケア会議を開催し、個別事例の課題解決及び個別事例の課題分析等を行います。（随時） ・会議目的の達成割合：98%				

⑭ 高齢者の権利擁護体制の強化

事業番号	53	ページ	74	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者虐待対応と養護者支援				
事業内容	・地域包括支援センターの虐待相談窓口の周知に努め、市民や事業者等が虐待について相談しやすい環境を整えることで、早期発見を図るとともに、医療機関などの専門機関や警察など関係機関と連携して対応を図ります。 ・虐待を発見した時には、被虐待者の安全を確保するとともに、養護者の負担を軽減するために相談、助言などの支援を行います。				
令和元年度実績	・通報・相談受付件数：78件 （うち虐待があったと判断した件数：48件） ・「おとしよりのふくし」等を活用し、相談窓口の市民への周知を図りました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・地域包括支援センターの相談窓口を周知します。（随時） ・相談、通報を受けた場合は早期対応に努め、被虐待者の安全を確保するとともに、養護者を支援し、虐待の解消を図ります。（随時） ・関係機関との連携により支援体制を強化します。（随時）		・地域包括支援センターの相談窓口を周知します。（随時） ・相談、通報を受けた場合は早期対応に努め、被虐待者の安全を確保するとともに、養護者を支援し、虐待の解消を図ります。（随時） ・関係機関との連携により支援体制を強化します。（随時）		・地域包括支援センターの相談窓口を周知します。（随時） ・相談、通報を受けた場合は早期対応に努め、被虐待者の安全を確保するとともに、養護者を支援し、虐待の解消を図ります。（随時） ・関係機関との連携により支援体制を強化します。（随時）
実行 (Do)	・通報・相談受付件数：117件 （うち虐待があったと判断した件数：44件） ・「おとしよりのふくし」等を活用し、相談窓口の市民への周知を図りました。		・通報・相談受付件数：136件 （うち虐待があったと判断した件数：38件） ・「おとしよりのふくし」等を活用し、相談窓口の市民への周知を図りました。		・通報・相談受付件数：141件 （うち虐待があったと判断した件数：36件） ・「おとしよりのふくし」等を活用し、相談窓口の市民への周知を図りました。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・高齢者虐待の相談・通報件数は、全国的に年々増加している。また、事例が複雑・困難化しているため、職員の更なる能力向上を図ると共に、関係機関との連携強化をすすめて、支援体制の強化を図る必要がある。		・高齢者虐待の相談・通報件数は、全国的に年々増加している。また、事例が複雑・困難化しているため、職員の更なる能力向上を図ると共に、関係機関との連携強化をすすめて、支援体制の強化を図る必要がある。		・高齢者虐待の相談・通報件数は、全国的に年々増加している。また、事例が複雑・困難化しているため、職員の更なる能力向上を図ると共に、関係機関との連携強化をすすめて、支援体制の強化を図る必要がある。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	54	ページ	93	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者虐待対応と養護者支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者虐待の相談・通報窓口を周知します。（随時） ・相談、通報を受けた場合は早期対応に努め、被虐待者の安全を確保します。加えて、養護者を支援し、虐待の解消を図ること、養介護施設における虐待の再発防止のための改善がなされているかの確認をします。（随時） ・職員の対応能力の向上、関係機関との連携強化を図るため高齢者権利擁護担当者連絡会を開催します。 ・関係機関との連携により支援体制を強化します。（随時）				

事業番号	54	ページ	74	担当部署	高齢者支援課
事業名	養護老人ホームへの入所措置				
事業内容	・環境上の理由及び経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者に対して、市が養護老人ホームへの入所措置を行い、安全で安心な生活の場を提供します。				
令和元年度実績	・養護老人ホームへの入所措置者数 実人数31人／延べ人数377人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・養護老人ホームへの入所措置（随時）		・養護老人ホームへの入所措置（随時）		・養護老人ホームへの入所措置（随時）
実行 (Do)	・養護老人ホームへの入所措置者数 実人数30人／延べ人数307人		・養護老人ホームへの入所措置者数 実人数28人／延べ人数319人		・養護老人ホームへの入所措置者数 実人数28人／延べ人数291人
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	自らの力で、または親族等の支援を受けて施設に入所することができない高齢者の安全で安心な生活を支援するため、継続して必要な措置を行っていく。		自らの力で、または親族等の支援を受けて施設に入所することができない高齢者の安全で安心な生活を支援するため、継続して必要な措置を行っていく。		自らの力で、または親族等の支援を受けて施設に入所することができない高齢者の安全で安心な生活を支援するため、継続して必要な措置を行っていく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	55	ページ	93	担当部署	高齢者支援課
事業名	養護老人ホームへの入所措置				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・養護老人ホームへの入所措置（随時） ・やむを得ない事由による措置（随時）				

事業番号	55	ページ	74	担当部署	地域福祉推進課
事業名	権利擁護事業の充実				
事業内容	・「権利擁護センターふちゅう」が実施する福祉サービスの適切な利用を支援する福祉サービス利用者総合支援事業や、認知症高齢者等判断能力が不十分な高齢者に対して行う地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）及び成年後見制度の利用支援を行う権利擁護センター事業を充実させます。				
令和元年度実績	・福祉サービスや成年後見制度利用に関する相談：1,311件 ・成年後見制度等の利用者支援 ①地域福祉権利擁護事業 相談：4,734件／実利用人数：125人 ②運営委員会：2回 ③事例検討会：6回／検討事例：23件 市長による後見申立：9件 ④成年後見制度普及啓発 講演会：1回開催（65人参加） 入門講座：5回開催（112人参加） ⑤後見報酬助成：7件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・権利擁護センターふちゅうを運営し、判断能力が不十分な人が安心して地域生活を継続できるよう、福祉サービスの利用に関する相談や、成年後見制度利用支援の充実を図ります。（随時）		・権利擁護センターふちゅうを運営し、判断能力が不十分な人が安心して地域生活を継続できるよう、福祉サービスの利用に関する相談や、成年後見制度利用支援の充実を図ります。（随時）		・権利擁護センターふちゅうを運営し、判断能力が不十分な人が安心して地域生活を継続できるよう、福祉サービスの利用に関する相談や、成年後見制度利用支援の充実を図ります。（随時）
実行 (Do)	・福祉サービスや成年後見制度利用に関する相談：2,420件 ・成年後見制度等の利用者支援 ①地域福祉権利擁護事業 相談：4,587件／実利用人数：110人 ②運営委員会開催：2回 ③事例検討会開催：6回／検討事例：30件 市長による後見申立：22件 ④成年後見制度普及啓発 講演会：1回開催（32人参加） 入門講座：5回開催（78人参加） ⑤後見報酬助成：5件		・福祉サービスや成年後見制度利用に関する相談：2,628件 ・成年後見制度等の利用者支援 ①地域福祉権利擁護事業 相談：4,353件／実利用人数：114人 ②運営委員会開催：2回 ③事例検討会開催：6回／検討事例：41件 市長による後見申立：25件 ④成年後見制度普及啓発 講演会：1回開催（47人参加） 入門講座：5回開催（69人参加） ⑤後見報酬助成：8件		・福祉サービスや成年後見制度利用に関する相談：2,509件 ・成年後見制度等の利用者支援 ①地域福祉権利擁護事業 相談：4,012件／実利用人数：109人 ②運営委員会開催：2回 ③事例検討会開催：6回／検討事例：37件 市長による後見申立：27件 ④成年後見制度普及啓発 講演会：1回開催（99人参加） 入門講座：6回開催（102人参加） ⑤後見報酬助成：15件
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	福祉サービスや成年後見制度の利用相談対応や普及啓発活動を充実させ、成年後見制度等の利用支援を継続していく。		福祉サービスや成年後見制度の利用相談対応や普及啓発活動を充実させ、成年後見制度等の利用支援を継続していく。		福祉サービスや成年後見制度の利用相談対応や普及啓発活動を充実させ、成年後見制度等の利用支援を継続していく。
備考	社会福祉協議会委託事業		社会福祉協議会委託事業		社会福祉協議会委託事業
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

【第3期】

事業番号	56	ページ	94	担当部署	地域福祉推進課
事業名	権利擁護事業の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・権利擁護センターふちゅうを運営し、判断能力が不十分な人が安心して地域生活を継続できるよう、福祉サービスの利用に関する相談や、成年後見制度の利用支援の充実を図ります。 ・権利擁護センターふちゅうは、中核機関として、成年後見制度等に関する周知・広報活動を行います。（随時）				

事業番号	56	ページ	75	担当部署	地域福祉推進課
事業名	市民後見人の発掘・育成				
事業内容	・市民が成年後見人として活動する「市民後見人（※）」となる人材を発掘し、養成します。				
令和元年度実績	・市民後見人の養成 入門講習4人修了／基礎講習3人修了 後見活動メンバー（後見人候補者）：登録36人 ・市民後見人推薦委員会：3回開催 受任中市民後見人：9人 ・後見活動メンバー等研修会：1回／14人参加				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・権利擁護センター事業の一環として、市民後見人の養成と支援を実施します。 ＜令和3年度＞後見活動メンバー：登録42人		・権利擁護センター事業の一環として、市民後見人の養成と支援を実施します。 ＜令和4年度＞後見活動メンバー：登録45人		・権利擁護センター事業の一環として、市民後見人の養成と支援を実施します。 ＜令和5年度＞後見活動メンバー：登録48人
実行 (Do)	・市民後見人の養成 入門講習10人修了／基礎講習7人修了 後見活動メンバー（後見人候補者）：登録39人 ・市民後見人推薦委員会：2回開催 受任中市民後見人：10人 ・後見活動メンバー等研修会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		・市民後見人の養成 入門講習4人修了／基礎講習1人修了 後見活動メンバー（後見人候補者）：登録35人 ・市民後見人推薦委員会：2回開催 受任中市民後見人：10人 ・後見活動メンバー等研修会：1回／21人参加		・市民後見人の養成 入門講習16人修了／基礎講習9人修了 後見活動メンバー（後見人候補者）：登録42人 ・市民後見人推薦委員会：5回開催 受任中市民後見人：12人 ・後見活動メンバー等研修会：1回／16人参加
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	市民後見人の養成を行い、受任につなげることで地域における支え合いを促進する。		市民後見人の養成を行い、受任につなげることで地域における支え合いを促進する。		市民後見人の養成を行い、受任につなげることで地域における支え合いを促進する。
備考	社会福祉協議会委託事業		社会福祉協議会委託事業		社会福祉協議会委託事業
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	57	ページ	94	担当部署	地域福祉推進課
事業名	市民後見人の発掘・育成				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・権利擁護センター事業の一環として、市民後見人の養成と支援を実施します。後見活動メンバーの登録数35人を維持することを目指します。				

事業番号	57	ページ	75	担当部署	高齢者支援課
事業名	老い支度事業				
事業内容	・これまでの人生を振り返ることで、今後の生き方を考えるきっかけづくりを提供します。 ・認知症や突然の病気などで介護が必要になったときのために、介護や医療、財産などについて自分の意思を伝える手段として、「未来ノート」の活用を推進します。				
令和元年度実績	・未来ノート頒布数：259冊 ・老い支度カレッジ公開講座：1回 ・老い支度カレッジ連続講座：4回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・未来ノート頒布数：300冊 ・老い支度カレッジ公開講座：1回 ・老い支度カレッジ連続講座：4回		・未来ノート頒布数：300冊 ・老い支度カレッジ公開講座：1回 ・老い支度カレッジ連続講座：4回		・未来ノート頒布数：300冊 ・老い支度カレッジ公開講座：1回 ・老い支度カレッジ連続講座：4回
実行 (Do)	・未来ノート頒布数：132冊 ・老い支度カレッジ：4回		・未来ノート頒布数：563冊 ・老い支度カレッジ公開講座：1回 ・老い支度カレッジ連続講座：4回		・未来ノート頒布数：288冊 ・老い支度カレッジ公開講座：1回 ・老い支度カレッジ連続講座：4回
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	ACPの普及と合わせ、周知の機会を増やす。		ACPの普及と合わせ、周知の機会を増やす。		ACPの普及と合わせ、周知の機会を増やす。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	58	ページ	95	担当部署	高齢者支援課
事業名	最期まで自分らしく暮らすプランづくりの推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・市民啓発講演会等でのACPの普及啓発 ・未来ノート頒布数：300冊 ・未来ノート書き方講座：1回／40人 ・老い支度カレッジ：4回／延べ80人				

⑮ 災害、消費者被害への対策の充実

事業番号	58	ページ	75	担当部署	高齢者支援課・防災危機管理課
事業名	避難行動要支援者支援体制の整備				
事業内容	・一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害のある人等、災害時に支援の必要な高齢者を把握するため、「災害時要援護者名簿」への登録・更新を促進し、災害時に活用できるように整備します。 ・日常から高齢者と接している地域包括支援センター、民生委員・児童委員、ケアマネジャー、介護サービス事業者等の福祉関係者や医療機関とも連携を図り、「避難行動要支援者名簿」登録者の安否確認・避難誘導の方法や支援体制を整備します。				
令和元年度実績	【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿登録者数：9,299人 ・名簿の提供に関する協定を締結した自治会：213／385団体 ・救急医療情報キット配付者数：13,739人 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会や防災訓練、防災講話等において災害時要援護者制度の周知を図りました。 ・安否確認の重要性を認識してもらい、その積極的な活動について支援しました。 ・防災訓練出向件数：80件 ・防災講話実施件数：15件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿への登録の推進（随時） ・自治会との協力体制の推進（随時） ・災害時要援護者名簿を作成し、市と協定を締結した自治会等の地域の支援機関に配付します。（随時） ・救急医療情報キットの配付（随時） 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会などの会議において、避難行動要支援者に対する支援の必要性の周知を図ります。また、自治会等における安否確認や避難誘導の仕組みづくりを支援します。（随時）		【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿への登録の推進（随時） ・自治会との協力体制の推進（随時） ・災害時要援護者名簿を作成し、市と協定を締結した自治会等の地域の支援機関に配付します。（随時） ・救急医療情報キットの配付（随時） 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会などの会議において、避難行動要支援者に対する支援の必要性の周知を図ります。また、自治会等における安否確認や避難誘導の仕組みづくりを支援します。（随時）		【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿への登録の推進（随時） ・自治会との協力体制の推進（随時） ・災害時要援護者名簿を作成し、市と協定を締結した自治会等の地域の支援機関に配付します。（随時） ・救急医療情報キットの配付（随時） 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会などの会議において、避難行動要支援者に対する支援の必要性の周知を図ります。また、自治会等における安否確認や避難誘導の仕組みづくりを支援します。（随時）
実行 (Do)	【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿登録者数：9,096人 ・名簿の提供に関する協定を締結した自治会：214／390団体 ・救急医療情報キット配付者数：13,782人 【防災危機管理課】 新型コロナウイルスの影響で自主防災連絡会等の会議の開催ができなかった。回数は少なかったが、防災出前講座や防災訓練の際に、地域の共助の取組の重要性について啓発した。		【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿登録者数：9,223人 ・名簿の提供に関する協定を締結した自治会：212／386団体 ・救急医療情報キット配付者数：13,975人 【防災危機管理課】 新型コロナウイルスの影響で休止状態となっていた自主防災連絡会等の会議の一部圏域で再開し、地域防災について協議した。また、要支援者への支援の考え方をまとめた避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）を作成した。		【高齢者支援課】 ・災害時要援護者名簿登録者数：9,294人 ・名簿の提供に関する協定を締結した自治会：212／386団体 ・救急医療情報キット配付者数：14,197人 【防災危機管理課】 地域防災に関して、組織化できた圏域の自主防災連絡会等の会議において協議するとともに、防災出前講座や地域の防災訓練では、地域の共助の取組の重要性について啓発を行った。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【高齢者支援課】 ・名簿登録者数及び協力自治会（市と協定を締結した自治会）の増加を図る必要がある。 【防災危機管理課】 避難行動要支援者避難支援プランを策定し、要支援者の支援について実効性を高める。また、令和4年度から自主防災連絡会の活動を再開していく中で、要支援者に対する支援などについて地域と一体となって取り組んでいく。		【高齢者支援課】 ・名簿登録者数及び協力自治会（市と協定を締結した自治会）の増加を図る必要がある。 【防災危機管理課】 自主防災連絡会の活動の中で、要支援者に対する支援などについて地域と一体となって取り組んでいく。		【高齢者支援課】 ・名簿登録者数及び協力自治会（市と協定を締結した自治会）の増加を図る必要がある。 ・今後個別避難計画の策定も視野に入れ事業を進めていく。 【防災危機管理課】 地域防災に関して、組織化できた圏域の自主防災連絡会等の会議において協議するとともに、防災出前講座や地域の防災訓練では、地域の共助の取組の重要性について啓発を行った。
備考					
総評	○ 計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	60	ページ	96	担当部署	高齢者支援課・防災危機管理課
事業名	避難行動要支援者支援体制の整備				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・自治会との協力体制の推進（随時） ・避難行動要支援者名簿を作成し、市と協定を締結した自治会等の地域の支援機関に配付します。（随時） ・救急医療情報キットの配付（随時） 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会や防災知識講座、防災訓練などの機会に、避難行動要支援者に対する支援の必要性の周知を図ります。また、自治会等における安否確認や避難誘導の仕組みづくりを支援します。	【高齢者支援課】 ・自治会との協力体制の推進（随時） ・避難行動要支援者名簿を作成し、市と協定を締結した自治会等の地域の支援機関に配付します。（随時） ・救急医療情報キットの配付（随時） 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会や防災知識講座、防災訓練などの機会に、避難行動要支援者に対する支援の必要性の周知を図ります。また、自治会等における安否確認や避難誘導の仕組みづくりを支援します。	【高齢者支援課】 ・避難行動要支援者名簿への登録の推進：9,350人（令和8年度） ・自治会との協力体制の推進（随時） ・避難行動要支援者名簿を作成し、市と協定を締結した自治会等の地域の支援機関に配付します。（随時） ・救急医療情報キットの配付（随時） 【防災危機管理課】 ・文化センター・圏域自主防災連絡会や防災知識講座、防災訓練などの機会に、避難行動要支援者に対する支援の必要性の周知を図ります。また、自治会等における安否確認や避難誘導の仕組みづくりを支援します。		

事業番号	59	ページ	76	担当部署	高齢者支援課・介護保険課・防災危機管理課
事業名	福祉サービス事業者等との災害時の連携				
事業内容	・介護サービス等を必要とする高齢者のための福祉避難所を確保するため、福祉サービス事業者との災害時における施設利用に関する協定の締結を推進するとともに、協定を締結した事業者と災害時に連携を図ることができるよう協議を行います。 ・市立小中学校などの一次避難所における避難生活に支障がある高齢者について、被災生活の質の向上を図るため、二次避難所への福祉サービスを展開する仕組みを整備します。				
令和元年度実績	【介護保険課（旧：高齢者支援課）】 ・高齢者を対象とした福祉避難所の開設について検討会を開催し、高齢者支援課、防災危機管理課、協定締結施設全12施設及び令和元年度に新設された特別養護老人ホーム1施設で検討しました。 ・福祉避難所の運営について、高齢者支援課、介護保険課、防災危機管理課で協議しました。 【防災危機管理課】 ・「災害時における老人福祉施設等の使用に関する協定」を締結している高齢者福祉施設及び関係課と、福祉避難所の使用に関する認識の共有化や防災備蓄等の支援について協議しました。 ・福祉避難所となる福祉施設と共に、避難所開設、避難者受入れ等の訓練を実施しました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・避難所（一次、二次）における高齢者の避難・被災生活状況を確認し、介護が必要な方をトリアージする補助役として、地域包括支援センターとの連携について協議します。 （随時） 【介護保険課】 ・介護保険部門、防災部門、協定締結施設で連携し、施設利用の方法や高齢者を対象とした福祉避難所の開設運営について、共通認識のもとで課題を明確にし、課題解決に向けて協議します。（随時） 【防災危機管理課】 ・関係課と調整し、福祉避難所の開設・運営についての仕組みづくりを検討します。（随時）		【高齢者支援課】 ・避難所（一次、二次）における高齢者の避難・被災生活状況を確認し、介護が必要な方をトリアージする補助役として、地域包括支援センターとの連携について協議します。 （随時） 【介護保険課】 ・介護保険部門、防災部門、協定締結施設で連携し、施設利用の方法や高齢者を対象とした福祉避難所の開設運営について、共通認識のもとで課題を明確にし、課題解決に向けて協議します。（随時） 【防災危機管理課】 ・関係課と調整し、福祉避難所の開設・運営についての仕組みづくりを検討します。（随時）		【高齢者支援課】 ・避難所（一次、二次）における高齢者の避難・被災生活状況を確認し、介護が必要な方をトリアージする補助役として、地域包括支援センターとの連携について協議します。 （随時） 【介護保険課】 ・介護保険部門、防災部門、協定締結施設で連携し、施設利用の方法や高齢者を対象とした福祉避難所の開設運営について、共通認識のもとで課題を明確にし、課題解決に向けて協議します。（随時） 【防災危機管理課】 ・関係課と調整し、福祉避難所の開設・運営についての仕組みづくりを検討します。（随時）
実行 (Do)	【高齢者支援課】 ・避難所（一次、二次）における高齢者の避難・被災生活状況を確認し、介護が必要な方をトリアージする補助役としての連携について検討している。 【介護保険課】 令和3年7月に新たに介護付有料老人ホーム1施設と災害時における老人福祉施設等の使用に関する協定を締結した。 【防災危機管理課】 新型コロナウイルスの影響で、福祉避難所の開設訓練等を実施できなかった。		【高齢者支援課】 ・避難所（一次、二次）における高齢者の避難・被災生活状況を確認し、介護が必要な方をトリアージする補助役としての連携について検討している。 【介護保険課】 ・令和4年9月に開設した特別養護老人ホーム1施設と災害時における老人福祉施設等の使用に関する協定を締結した。 ・府中市介護サービス事業者連絡協議会と風水害時における要支援高齢者の安否確認を実施するための支援シートについて検討しました。 【防災危機管理課】 けやきの森学園で避難所の開設訓練を行うなど、福祉避難所の取組を進めた。		【高齢者支援課】 ・避難所（一次、二次）における高齢者の避難・被災生活状況を確認し、介護が必要な方をトリアージする補助役としての連携について検討している。 【介護保険課】 ・福祉避難所としての災害時におけるトイレ等の設備について確認を行った。 ・府中市介護サービス事業者連絡協議会の会員を対象に、風水害時の避難行動についての講演を行い、要支援高齢者の安否確認について改めて必要性を共有した。 【防災危機管理課】 けやきの森学園で避難所の開設訓練を行うなど、福祉避難所の取組を進めた。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【介護保険課】 今後新設される特別養護老人ホーム等に対して協定の締結を検討していく。 【防災危機管理課】 関係課及び福祉避難所と連携し、福祉避難所の開設・仕組みづくりを検討していくとともに、福祉施設と連携し、避難所訓練を実施していく。		【介護保険課】 ・介護保険部門、防災部門、協定締結施設で連携し、施設利用の方法や高齢者を対象とした福祉避難所の開設運営について、共通認識のもとで課題を明確にし、課題解決に向けて検討していく。 ・風水害時の要支援高齢者の安否確認について、府中市介護サービス事業者連絡協議会と連携し、避難誘導における課題整理を行っていく。 【防災危機管理課】 関係課及び福祉避難所と連携し、福祉避難所の開設・仕組みづくりを検討していくとともに、福祉施設と連携し、避難所訓練を実施していく。		
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

【第3期】	事業番号	61	ページ	97	担当部署	介護保険課・防災危機管理課
	事業名	福祉サービス事業者等との災害時の連携				
	年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度	
計画 (Plan)		【介護保険課】				
		・介護保険部門、防災部門、協定締結施設で連携し、施設利用の方法や高齢者を対象とした福祉避難所の開設運営について、共通認識の下で課題を明確にし、課題解決に向けて協議します。（随時） ・風水害時の要支援高齢者の安否確認について、府中市介護サービス事業者連絡協議会と連携し、避難誘導における課題を整理した上で安否確認の体制を確立します。（随時）				
		【防災危機管理課】				
		・関係課と調整し、福祉避難所の開設・運営についての仕組みづくりを検討します。				

事業番号	60	ページ	76	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者への事業継続計画（BCP）策定の促進				
事業内容	・被災した要支援者に対し、居宅・避難所・仮設住宅などにおいて、福祉サービスに関する情報を提供しながら福祉サービスの継続的な提供や福祉施設が早期に再開できるよう、また、感染症が発生した場合にも適切な対応を行いながら事業継続ができるよう、本市の地域防災計画を踏まえ、介護サービス事業者における事業継続計画（BCP）の策定を促進します。				
令和元年度実績	・運営推進会議に市職員が出席する際に、BCPの必要性を説明し、作成の推進を図りました。 ・介護保険サービス提供事業所を対象とした、BCPの作成に関する研修会を実施しました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 （Plan）	・従前からの介護保険サービス提供事業所に対する集団指導等での事業継続計画の説明をすることで策定の促進を図るとともに、運営推進会議等において策定状況を確認します。 （随時） ①運営推進会議時の説明／②集団指導時の説明		・従前からの介護保険サービス提供事業所に対する集団指導等での事業継続計画の説明をすることで策定の促進を図るとともに、運営推進会議等において策定状況を確認します。 （随時） ①運営推進会議時の説明／②集団指導時の説明		・従前からの介護保険サービス提供事業所に対する集団指導等での事業継続計画の説明をすることで策定の促進を図るとともに、運営推進会議等において策定状況を確認します。 （随時） ①運営推進会議時の説明／②集団指導時の説明
実行 （Do）	・集団指導において、事業所に対して、BCP作成に関する促しを行った。 ・事業所向けのBCP作成研修を実施し、作成方法などの案内周知を行った。 ・運営推進会議において、BCP作成の必要性を案内した。		・集団指導において、事業所に対して、BCP作成に関する促しを行った。 ・運営推進会議において、BCP作成の必要性を案内した。		・集団指導において、事業所に対して、BCP作成に関する促しを行った。 ・事業所向けのBCP作成研修を実施し、作成方法などの案内や個別の作成支援の周知を行った。 ・運営推進会議において、BCP作成の必要性を案内した。
評価 （Check）	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など （Act）	令和6年3月末までにBCP作成は必要な取組であることから、今後も引き続き集団指導、運営推進会議等を活用し、定期的に作成の周知をしていく。		令和6年3月末までにBCP作成は必要な取組であることから、今後も引き続き集団指導、運営推進会議等を活用し、定期的に作成の周知をしていく。また研修実施等により、事業所の積極的な取組みを推進する		引き続き、介護保険サービス提供事業所に対して、集団指導等でBCPの説明を行い、策定の支援を図る。また、運営推進会議等において策定状況を確認する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	62	ページ	97	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者の事業継続計画（BCP）の策定支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・介護保険サービス提供事業所に対する集団指導等で事業継続計画（BCP）の説明を行い、策定の支援を図ります。また、運営推進会議等において策定状況を確認します。（随時） （運営推進会議時の説明／集団指導時の説明／新規事業所指定時の説明）				

事業番号	61	ページ	76	担当部署	産業振興課
事業名	消費者被害の防止				
事業内容	・消費生活センターと地域包括支援センターや高齢者見守りネットワーク連絡会が情報を共有し、高齢者の悪質商法等（振り込め詐欺の被害）の防止及び啓発に取り組みます。				
令和元年度実績	・地域包括支援センターにおいて出前講座を開催したほか、啓発リーフレットやグッズの配布により、高齢者の被害防止に努めました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座の拡充を図るとともに、高齢者見守り関係機関との連携を進めます。 （随時）		・地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座の拡充を図るとともに、高齢者見守り関係機関との連携を進めます。 （随時）		・地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座の拡充を図るとともに、高齢者見守り関係機関との連携を進めます。 （随時）
実行 (Do)	・出前講座やシニア向けの消費生活講座を実施したほか啓発リーフレットやグッズの配布により、高齢者の被害防止に努めた。		・出前講座やシニア向けの消費生活講座を実施したほか啓発リーフレットやグッズの配布により、高齢者の被害防止に努めた。		・出前講座やシニア向けの消費生活講座を実施したほか啓発リーフレットやグッズの配布により、高齢者の被害防止に努めた。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座を実施するとともに、高齢者見守り関係機関との更なる連携を図る。		地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座を実施するとともに、消費者安全確保地域協議会の設置を含め、高齢者見守り関係機関との更なる連携を図る。		地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座を実施するとともに、消費者安全確保地域協議会の設置を含め、高齢者見守り関係機関との更なる連携を図る。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	59	ページ	95	担当部署	産業振興課
事業名	消費者被害の防止				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・地域包括支援センター等で高齢者被害防止のための出前講座の拡充を図るとともに、消費者安全確保地域協議会の設置を含め高齢者見守り関係機関との連携を進めながら、高齢者の消費者トラブル（悪質商法等の被害）の防止及び啓発に取り組みます。				

⑯ 感染症対策の推進

事業番号	62	ページ	77	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者への感染症対策の普及啓発（新規）				
事業内容	・高齢者に対し、新型コロナウイルス感染症や新型インフルエンザなどの感染症対策について、関係機関と連携して普及啓発を図ります。				
令和元年度実績					
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・感染症予防に資する資料等の配布や、相談・訪問事業と併せた啓発を行います。		・感染症予防に資する資料等の配布や、相談・訪問事業と併せた啓発を行います。		・感染症予防に資する資料等の配布や、相談・訪問事業と併せた啓発を行います。
実行 (Do)	・関係課及び地域包括支援センターに対して、市内事業所の感染者情報を共有した。 ・高齢者を対象とした、新型コロナウイルスワクチン接種のWeb予約支援を窓口で実施した。		・関係課及び地域包括支援センターに対して、市内事業所の感染者情報を共有した。 ・高齢者を対象とした、新型コロナウイルスワクチン接種のWeb予約支援を窓口で実施した。		・高齢者を対象とした、新型コロナウイルスワクチン接種のWeb予約支援体制を継続した。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから国や関係機関との情報共有体制を継続した。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続する。		継続する。		継続する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	63	ページ	98	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者への感染症対策の普及啓発				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・感染症の拡大時に、国や都の行動計画等に基づいた対策を講じるとともに、高齢者への周知を図ります。 ・高齢者が健康や衛生面で必要な対策を受けることができるようにサポートを行います。				

事業番号	63	ページ	77	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者の感染症対策の推進（新規）				
事業内容	・介護サービス事業所で感染症が発生した場合、国や東京都から示されている留意すべき対策などについて情報提供します。 ・感染症対策に関する事業者からの相談に応じるとともに、本市の新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえながら、保健所や関係課と連携して感染拡大防止について助言します。				
令和元年度実績					
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・国や東京都からの通知を遺漏なく情報提供するなど、連携して対応します。 ・事業者からの相談を受け助言します。		・国や東京都からの通知を遺漏なく情報提供するなど、連携して対応します。 ・事業者からの相談を受け助言します。		・国や東京都からの通知を遺漏なく情報提供するなど、連携して対応します。 ・事業者からの相談を受け助言します。
実行 (Do)	新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した介護保険サービス事業所8カ所の職員及び利用者273人にPCR検査等費用を助成した。 国や東京都からの感染に関する通知・支援策を速やかに事業所へ周知した。		・新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した介護保険サービス事業所4カ所の職員及び利用者310人にPCR検査等費用を助成した。 ・国や東京都からの感染に関する通知・支援策を速やかに事業所へ周知した。		・新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した介護保険サービス事業所2カ所の職員2人にPCR検査等費用を助成した。 ・国や東京都からの感染に関する通知・支援策を速やかに事業所へ周知した。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	引き続き、国や東京都からの情報を注視しながら、遺漏なく情報提供等を行っていく。		引き続き、国や東京都からの情報を注視しながら、遺漏なく情報提供等を行っていく。		・新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した介護保険サービス事業所2カ所の職員2人にPCR検査等費用を助成した。 ・国や東京都からの感染に関する通知・支援策を速やかに事業所へ周知した。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	64	ページ	98	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者の感染症対策の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・国や東京都からの通知を遺漏なく情報提供するなど、連携して対応します。 ・事業者からの相談を受け助言するとともに、保健所との連携を図ります。				

(7) 認知症施策の推進

⑰ 普及啓発・本人発信支援

事業番号	64	ページ	78	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施				
事業内容	・認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族に対して温かい目で見守る市民（認知症サポーター）を増やすため、認知症サポーター「ささえ隊」養成講座を実施します。 ・認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症サポーターステップアップ研修を実施し、近隣チームによる支援体制（チームオレンジ）の構築について検討していきます。				
令和元年度実績	・認知症サポーター「ささえ隊」養成講座 70講座／2,327人養成（累計23,799人） 小・中学校における講座開催（計16校） ・ステップアップ講座の開催：3回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施小中学校に加え、スーパー、コンビニエンスストア、薬局、理美容など、高齢者が日常生活で利用する商店に対する出前講座を充実させます。 開催数：90回 ・ステップアップ講座の開催：3回		・認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施小中学校に加え、スーパー、コンビニエンスストア、薬局、理美容など、高齢者が日常生活で利用する商店に対する出前講座を充実させます。 開催数：90回 ・ステップアップ講座の開催：3回		・認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施小中学校に加え、スーパー、コンビニエンスストア、薬局、理美容など、高齢者が日常生活で利用する商店に対する出前講座を充実させます。 開催数：90回 ・ステップアップ講座の開催：3回
実行 (Do)	開催数：16回 ・ステップアップ講座の開催：0回		開催数：48回 ・ステップアップ講座の開催：3回		開催数：52回 ・ステップアップ講座の開催：4回
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での実施方法等の検討を行う。		市内の小・中学校に対して、講座の開催を促すように説明を行った。		市内の小・中学校に対して、講座の開催を促すように説明を行った。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	65	ページ	99	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・ 認知症サポーター養成講座を実施します。特にスーパーマーケット、コンビニエンスストア、薬局など高齢者が日常生活で利用する店舗を対象とした講座を充実させます。 開催数：60講座／3,000人 ・ ステップアップ講座の開催：3回				

事業番号	65	ページ	78	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症ケアの普及啓発				
事業内容	・認知症の正しい理解と認識及び介護方法などについての普及・啓発事業を積極的に推進します。 ・認知症になっても、本人とその家族が可能な限り安心して地域で在宅生活を継続できるよう、地域で認知症の人を支える医療体制を充実させるため、東京都の認知症疾患医療センターなどの関係機関との連携を進めます。				
令和元年度実績	・認知症ケアパス（※）の配布 ・若年性認知症ガイドの配布 ・認知症ケアパス普及啓発パンフレットの配布 ・認知症に関わる講演会（中止） ・若年性認知症関係者学習会開催（169人参加） ・認知症部会：3回実施				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症ケアパスの配布（随時） ・若年性認知症ガイドの配布（随時） ・認知症ケアパス普及啓発パンフレットの配布（随時） ・認知症に関わる講演会：1回／300人 ・若年性認知症関係者学習会：1回／150人 ・関係機関との連携（認知症部会の開催）：3回 ・認知症月間（9月）における普及啓発の更なる充実に向けた検討（随時）		・認知症ケアパスの配布（随時） ・若年性認知症ガイドの配布（随時） ・認知症ケアパス普及啓発パンフレットの配布（随時） ・認知症に関わる講演会：1回／300人 ・若年性認知症関係者学習会：1回／150人 ・関係機関との連携（認知症部会の開催）：3回 ・認知症月間（9月）における普及啓発の更なる充実に向けた検討（随時）		・認知症ケアパスの配布（随時） ・若年性認知症ガイドの配布（随時） ・認知症ケアパス普及啓発パンフレットの配布（随時） ・認知症に関わる講演会：1回／300人 ・若年性認知症関係者学習会：1回／150人 ・関係機関との連携（認知症部会の開催）：3回 ・認知症月間（9月）における普及啓発の更なる充実に向けた検討（随時）
実行 (Do)	・認知症ケアパスの配布 ・上映会：1回／65人・講演会：1回／69人 ・関係機関との連携（認知症部会の開催）：3回 ・認知症月間の庁内及び図書館で特別展示実施		・認知症ケアパスの配布 ・講演会：1回／68人 ・関係機関との連携（認知症部会の開催）：3回 ・認知症月間の庁内及び図書館で特別展示実施		・認知症ケアパス、若年性認知症ガイドの配布 ・講演会：1回／143人 ・関係機関との連携（認知症部会の開催）：3回 ・認知症月間の庁内及び図書館で特別展示実施
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)			認知症ケアパスの配布や講演会を通じて普及啓発を推進していく。		認知症ケアパスの配布や講演会を通じて普及啓発を推進していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	66	ページ	100	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症ケアの普及啓発				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・認知症あんしんガイド、若年性認知症ガイドの配布（随時） ・認知症に関わる講演会の開催 ・認知症家族介護者教室の開催 ・認知症当事者が発信する冊子等の配布や展示による啓発 ・若年層への普及啓発に向けた検討（随時）				

⑱ 予防に向けた取組

事業番号	66	ページ	78	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防推進センターにおける認知症予防教室の実施				
事業内容	・介護予防推進センターにおいて各種実施する教室のうち、認知症予防に関する教室を開催します。				
令和元年度実績	・認知症予防ウォーキング：延べ393人 ・認知症予防教室：延べ814人 ・閉じこもり予防教室：延べ244人 ・健康維持教室（コグニサイズ）：延べ1,395人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症予防ウォーキング：延べ395人 ・認知症予防教室：延べ815人 ・閉じこもり予防教室：延べ245人 ・健康維持教室（コグニサイズ）：延べ1,395人		・認知症予防ウォーキング：延べ395人 ・認知症予防教室：延べ815人 ・閉じこもり予防教室：延べ245人 ・健康維持教室（コグニサイズ）：延べ1,395人		・認知症予防ウォーキング：延べ395人 ・認知症予防教室：延べ815人 ・閉じこもり予防教室：延べ245人 ・健康維持教室（コグニサイズ）：延べ1,395人
実行 (Do)	・ウォーキング・認知症予防（散歩）延195人 ・認知症予防教室 延565人 ・閉じこもり予防 延440人 ・健康維持教室（コグニサイズ）延6,582人		・認知症予防ウォーキング：延369人 ・認知症予防教室：延1,194人 ・閉じこもり予防教室：延490人 ・健康維持教室（コグニサイズ）：延8,478人		・認知症予防ウォーキング：延348人 ・認知症予防教室：延880人 ・閉じこもり予防教室：延495人 ・健康維持教室（コグニサイズ）：延9,586人
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	既存の講座を継続し充実を図る。認知症予防における最新の動向に注目し、医学的根拠等に基づいた講座の企画を行っていく。		既存の講座を継続し充実を図る。認知症予防における最新の動向に注目し、医学的根拠等に基づいた講座の企画を行っていく。		既存の講座を継続し充実を図る。認知症予防における最新の動向に注目し、医学的根拠等に基づいた講座の企画を行っていく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	67	ページ	100	担当部署	高齢者支援課
事業名	介護予防推進センターにおける認知症予防教室の実施				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・認知症予防の事業展開を継続して実施します。				

事業番号	67	ページ	79	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症予防の意識向上のための普及啓発（新規）				
事業内容	・運動不足の改善、糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防、社会参加による社会的孤立の解消などの取組が認知症予防に資する可能性があるといわれており、いずれも一個人の意識を向上させることで取組につながりやすくなるため、認知症予防の意識向上に向けて講演会を実施し、参加者に対し、自分たちでできることについて考える機会を創出します。 ・認知症の早期発見・対応につながる「認知症検診」の実施を検討するに当たり、その前段として検診の受診動機を高めていく機会とします。				
令和元年度実績					
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症予防に関する講演会の開催：1回／300人		・認知症予防に関する講演会の開催：1回／300人		・認知症予防に関する講演会の開催：1回／300人
実行 (Do)	・認知症予防に関する研修会を介護支援専門員向けにオンライン実施：1回／95人 ・地域包括支援センターで認知症予防に係る講座を実施。		・認知症予防講座を市民対象に実施：1回／18人 ・地域包括支援センターで認知症予防に係る講座を実施。		・認知症予防講座を市民対象に実施：1回／86人 ・地域包括支援センターで認知症予防に係る講座を実施。
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	感染症流行で講演会が開催できず、高齢者に関わる介護支援専門員向けに認知症予防に係る研修を実施し、高齢者支援の充実を図る。認知症地域支援推進員を包括に配置し、認知症予防に係る講座を開催し、身近な場で認知症予防を学ぶ機会を提供。		新型コロナウイルス感染症対策を講じ、小規模での認知症予防講座を実施。		認知症予防について、講演会の他個別の相談等様々な機会でも普及啓発していく。
備考			感染予防のため、人数制限をした。		
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	68	ページ	100	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症予防の意識向上のための普及啓発				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・地域の身近な相談窓口である地域包括支援センターでの介護予防及び認知症予防に関する講座の実施 ・認知症予防に資する講座又は講演会の開催				

⑭ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

事業番号	68	ページ	79	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症の早期診断・早期対応の推進				
事業内容	・認知症地域支援推進員と認知症疾患医療センターや認知症サポート医を始めとする医療機関等と連携し、認知症の方を早期に医療・介護サービスにつなげます。 ・各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、身近な窓口で認知症の相談が受けられる体制を整備します。 ・認知症の方の容態に応じて、適切な医療・介護サービスへつなぐため、認知症初期集中支援チームによる支援を行います。				
令和元年度実績	・認知症初期集中支援チームの実施：3件 ・チーム員である地域包括支援センターと認知症疾患医療センターとの連携を図るため、情報交換会を実施しました。 ・認知症部会にて認知症初期集中支援チームの検証を実施しました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症初期集中支援チームの実施：11件 ・チーム員である地域包括支援センターと認知症疾患医療センターとの連携を図ります。 (随時) ・認知症初期集中支援チームの運営の検証 (随時) ・各地域包括支援センターへ認知症地域支援推進員を配置します。(随時)		・認知症初期集中支援チームの実施：11件 ・チーム員である地域包括支援センターと認知症疾患医療センターとの連携を図ります。 (随時) ・認知症初期集中支援チームの運営の検証 (随時) ・各地域包括支援センターへ認知症地域支援推進員を配置します。(随時)		・認知症初期集中支援チームの実施：11件 ・チーム員である地域包括支援センターと認知症疾患医療センターとの連携を図ります。 (随時) ・認知症初期集中支援チームの運営の検証 (随時) ・各地域包括支援センターへ認知症地域支援推進員を配置します。(随時)
実行 (Do)	・認知症初期集中支援チーム対応件数：3件 ・認知症部会にて初期集中支援チームの運営検証。 ・認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置。		・認知症初期集中支援チーム対応件数：1件 ・介護従事者等の認知症対応力向上のため認知症ケアプログラム推進事業を開始、20名のアドミニストレーターを養成。		・認知症初期集中支援チーム対応件数：2件 ・介護従事者等の認知症対応力向上のため認知症ケアプログラム推進事業を継続、20名のアドミニストレーターを養成。 ・各地域包括支援センターへ認知症地域支援推進員を配置
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	初期集中支援チームの拡充について調整していく。		認知症サポート医の協力を得たチーム運営を検討していく。		必要な方が相談を受け適切な対応を受けられるように推進する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	69	ページ	101	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症の早期診断・早期対応の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・認知症初期集中支援チームの実施（随時） ・認知症初期集中支援チーム員研修の受講の推進 ・認知症地域支援推進員の配置 ・地域包括支援センターと認知症疾患医療センターの連携を推進 ・認知症初期集中支援チームの拡充による運営の検証（随時）				

事業番号	69	ページ	79	担当部署	高齢者支援課
事業名	多職種連携によるネットワークの構築				
事業内容	・ケアマネジャーとかかりつけ医との連携として、もの忘れ相談シート、ケアマネタイムなど、既存の仕組みが活用されるよう、情報提供等を行います。 ・認知症介護の関係者・専門職が参集して会議を開催し、課題や情報の共有及びケース検討をし、日頃からの信頼関係を構築します。				
令和元年度実績	・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用 ・認知症に関わる講演会（中止） ・若年性認知症に関する講演会：1回／169人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回 出席：市民、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護、訪問介護、居宅支援事業所、社会福祉協議会、認知症疾患医療センター、特別養護老人ホーム、地域包括支援センター				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 （Plan）	・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用（随時） ・認知症に関わる講演会：1回／300人 ・若年性認知症に関する講演会：1回／150人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回		・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用（随時） ・認知症に関わる講演会：1回／300人 ・若年性認知症に関する講演会：1回／150人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回		・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用（随時） ・認知症に関わる講演会：1回／300人 ・若年性認知症に関する講演会：1回／150人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回
実行 （Do）	・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用 ・上映会：1回／65人講演会：1回／69人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回		・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用 ・講演会：1回／68人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回		・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用 ・講演会：1回／143人 ・在宅医療・介護連携会議認知症部会：3回
評価 （Check）	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など （Act）			継続して会議や講演会を実施し、連携を強化していく。		継続して会議や講演会を実施し、連携を強化していく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	70	ページ	101	担当部署	高齢者支援課
事業名	多職種連携によるネットワークの構築				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・府中市医療機関・介護事業所検索サイトの運用（随時） ・多職種研修会の実施：1回／100人 ・在宅医療・介護連携会議 認知症部会：3回 連携推進部会：2回				

事業番号	70	ページ	80	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症カフェ・認知症緊急ショートステイ				
事業内容	・認知症の方、介護者、地域住民及び専門職が誰でも参加できるような認知症カフェの立上げ及び運営を支援します。 ・認知症高齢者に対して、保健・福祉・医療の専門的観点から適切な評価を行い、家族に対して必要とされるサービスを継続的に提供できるよう、支援に必要な事業の一層の周知と、ケアマネジャーや地域包括支援センターへの効果的な事業活用を促進します。				
令和元年度実績	・認知症カフェ 設置数：3か所／回数：15回開催 ・認知症緊急ショートステイ事業の実施 実利用者数0人／延べ0日				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症カフェ設置数：4か所 ・認知症緊急ショートステイ事業（随時）		・認知症カフェ設置数：6か所 ・認知症緊急ショートステイ事業（随時）		・認知症カフェ設置数：6か所 ・認知症緊急ショートステイ事業（随時）
実行 (Do)	・認知症カフェ設置数：3か所 ・認知症緊急ショートステイ事業：実利用者数0人／延べ0日		・認知症カフェ設置数：2か所 ・認知症緊急ショートステイ事業：実利用者数0人／延べ0日		・認知症カフェ設置数：4か所 ・認知症緊急ショートステイ事業：実利用者数0人／延べ0日
評価 (Check)	○		×		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画に遅れが生じている		計画に遅れが生じている
改善点・今後の方向性 など (Act)			ステップアップ講座の参加者にカフェ設置の案内をしている。		ステップアップ講座の参加者にカフェ設置の案内をしている。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				



【第9期】

事業番号	73	ページ	102	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症カフェ・チームオレンジの推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画(Plan)	認知症カフェ設置数：4か所		認知症カフェ設置数：6か所 チームオレンジ設置数：1か所		認知症カフェ設置数：6か所 チームオレンジ設置数：1か所

② 認知症バリアフリーの推進・社会参加支援

事業番号	71	ページ	80	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症見守り等支援事業				
事業内容	・認知症の人の在宅生活の安定及び向上を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図るため、市民ボランティアによる買い物の付き添いや話し相手などの生活支援を行います。				
令和元年度実績	・認知症見守り等支援事業の実施 （社会福祉協議会の有償在宅福祉サービスの協力会員を活用） 延べ30人／延べ115.5時間				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・認知症見守り等支援事業の実施（随時）		・認知症見守り等支援事業の実施（随時）		・認知症見守り等支援事業の実施（随時）
実行 (Do)	延べ30人／延べ15時間		延べ0人／延べ0時間		延べ48人／延べ190時間
評価 (Check)	○		×		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画に遅れが生じている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)			チラシ等を作成し、事業の啓発を図る。		
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	71	ページ	102	担当部署	高齢者支援課
事業名	認知症見守り等支援事業				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・認知症見守り等支援事業の実施（随時）				

事業番号	72	ページ	80	担当部署	高齢者支援課
事業名	早期発見・保護に向けた搜索体制の構築（新規）				
事業内容	・認知症の人が安全に外出できる地域の見守り体制づくりとともに、行方不明者になった際に、早期発見・保護ができるよう、搜索ネットワークづくりやICTを活用した搜索システムの普及を図ります。また、家族介護者を支援し、負担軽減を図ることも目指します。 ・市内の家族介護者にGPS機器を貸与し、いざという時の搜索時に役立てていただきます。 ・今後は、幅広い地域の見守り体制について、他分野（児童の登下校時の見守り等）の取組との連携も含めて検討していきます。				
令和元年度実績	・徘徊高齢者探索サービス事業 利用者数：44人 搜索件数（電話）：50件 （HP）：767件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	・徘徊高齢者探索サービス事業（随時） ・新しい見守り体制の検討（随時）		・徘徊高齢者探索サービス事業（随時） ・新しい見守り体制の検討（随時）		・認知症高齢者等探索サービス事業（随時） ・新しい見守り体制の検討（随時）
実行（Do）	利用者数：36人 搜索件数（電話）：7件 （HP）：153件		利用者数：34人 搜索件数（電話）：11件 （HP）：839件		利用者数：47人 搜索件数（電話）：2件 （HP）：1344件
評価（Check）	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性など（Act）	継続する。		継続する。		継続する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	72	ページ	102	担当部署	高齢者支援課
事業名	早期発見・保護に向けた搜索体制の構築				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・認知症高齢者等探索サービス事業（随時） ・新しい見守り体制の検討（随時）				

(8) 地域支援体制の充実

②1 地域包括ケアシステムの構築を進める地域づくりと地域ケア会議の推進

事業番号	73	ページ	81	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域包括支援センター機能の充実				
事業内容	・地域包括支援センターを中心とした高齢者に分かりやすい相談支援体制の充実を図るとともに、高齢者や家族が適切なサービスを選択・利用できるよう、地域包括支援センター間の情報共有の機会を充実させます。また、地域包括支援センター間の現状・課題の共有化を図るほか、解決に向けて協力し合う関係づくり、質の向上に向けた取組を強化します。 ・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」を定め、「高齢者への支援」と「高齢者及びセンター職員の感染リスク」のバランスを配慮したセンター運営に努めるとともに、感染症の流行状況に応じて適宜改定をすることとします。 ・医療的ケアの必要な高齢者や認知症高齢者への支援など、地域における高齢者の生活を支えるため、地域包括支援センターが中心となって、地域の医療機関と協力しながら、高齢者の地域での生活を支え、生活の質を高めるための連携や協働に向けて、保健・医療・福祉関係者への働き掛けを行い、ネットワークを構築します。				
令和元年度実績	・包括的支援事業等を実施するため、地域包括支援センター11か所の運営業務を委託 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会：4回 ・介護予防事業担当者連絡会（旧：介護予防コーディネーター連絡会）：12回 ・在宅療養担当者連絡会：11回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」の運用と必要に応じた見直し ・包括的支援事業等を実施するため、地域包括支援センター11か所の運営業務を委託 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会（随時） ・介護予防事業担当者連絡会：12回 ・在宅療養担当者連絡会：12回		・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」の運用と必要に応じた見直し ・包括的支援事業等を実施するため、地域包括支援センター11か所の運営業務を委託 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会（随時） ・介護予防事業担当者連絡会：12回 ・在宅療養担当者連絡会：12回		・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」の運用と必要に応じた見直し ・包括的支援事業等を実施するため、地域包括支援センター11か所の運営業務を委託 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会（随時） ・介護予防事業担当者連絡会：12回 ・在宅療養担当者連絡会：12回
実行 (Do)	・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」を国の方針に基づき見直しした。 ・地域包括支援センター11か所の運営業務を委託した。 ・地域包括支援センター長会議：10回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会（随時）：3回 ・介護予防事業担当者連絡会：12回 ・在宅療養担当者連絡会：3回		・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」を国の方針に基づき運用した。 ・地域包括支援センター11か所の運営業務を委託した。 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会（随時）：4回 ・介護予防事業担当者連絡会：12回 ・在宅療養担当者連絡会：6回 ・高齢者権利擁護担当者連絡会：8回（毎年度実施しているが今年度より記載）		・「新型コロナウイルスに対応した府中市地域包括支援センター業務運営方針」を国の方針に基づき運用した。 ・地域包括支援センター11か所の運営業務を委託した。 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援ネットワーク担当者連絡会（随時）：4回 ・介護予防事業担当者連絡会：6回 ・在宅療養担当者連絡会：6回 ・高齢者権利擁護担当者連絡会：6回
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)			開催手法及び回数の見直しを検討する。		
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	74	ページ	103	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域包括支援センター機能の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・継続して包括的支援事業等を実施するため、地域包括支援センターを11か所設置 ・地域包括支援センター長会議：12回 ・地域包括支援センター職種別連絡会：14回 ・地域支援ネットワーク担当者連絡会（随時） ・介護予防事業担当者連絡会：6回 ・在宅療養担当者連絡会：6回				

事業番号	74	ページ	82	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域ケア会議の開催				
事業内容	・地域における高齢者問題の把握と情報共有、問題解決を図る場として、地域包括支援センターや自治会、民生委員等による地域ケア会議を開催します。また、全市的な視点から施策を検討する地域ケア会議を開催します。				
令和元年度実績	・地域ケア推進会議開催：55回 (内訳) 高齢者地域支援連絡会：54回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・個別課題から地域課題を発見し、その検討・解決に取り組むことで、効果的で効率的な個別支援につなげるとともに、関係者との規範的統合を進め、より実効的な地域ケア会議の構築を図ります。 高齢者地域支援連絡会：70回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回 ・総合事業サービスCの実施に合わせ、自立支援ケア会議を開催し、地域課題の発見につなげます。 (随時)		・個別課題から地域課題を発見し、その検討・解決に取り組むことで、効果的で効率的な個別支援につなげるとともに、関係者との規範的統合を進め、より実効的な地域ケア会議の構築を図ります。 高齢者地域支援連絡会：70回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回 ・総合事業サービスCの実施に合わせ、自立支援ケア会議を開催し、地域課題の発見につなげます。 (随時)		・個別課題から地域課題を発見し、その検討・解決に取り組むことで、効果的で効率的な個別支援につなげるとともに、関係者との規範的統合を進め、より実効的な地域ケア会議の構築を図ります。 高齢者地域支援連絡会：70回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回 ・総合事業サービスCの実施に合わせ、自立支援ケア会議を開催し、地域課題の発見につなげます。 (随時)
実行 (Do)	実効的な地域ケア会議の構築を図りました。 高齢者地域支援連絡会：11回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：2回 ・総合事業サービスCの実施に合わせ、自立支援ケア会議を41回開催しました。		実効的な地域ケア会議の構築を図りました。 高齢者地域支援連絡会：41回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回 ・総合事業サービスCの実施に合わせ、自立支援ケア会議を3回開催しました。		実効的な地域ケア会議の構築を図りました。 高齢者地域支援連絡会：48回 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回 ・総合事業サービスCの実施に合わせ、自立支援ケア会議を6回開催しました。
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・地域ケア個別会議で出た個別課題を地域課題として抽出するため、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動を図る。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での実施方法等の検討を行う。		・地域ケア個別会議で出た個別課題を地域課題として抽出するため、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動を図る。		・地域ケア個別会議で出た個別課題を地域課題として抽出するため、地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動を図る。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				



【第9期】

事業番号	75	ページ	104	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域ケア会議の開催				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回／年 ・個別ケースの蓄積から地域の課題が、また、地域の課題から全市的に共通する課題が効率的に把握できるよう、地域ケア会議の体制の見直しを検討します。		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回／年 ・個別ケースの蓄積から地域の課題が、また、地域の課題から全市的に共通する課題が効率的に把握できるよう、地域ケア会議の体制の見直しを検討します。		・高齢者地域支援連絡会：55回（令和8年度） 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会：1回／年 ・個別ケースの蓄積から地域の課題が、また、地域の課題から全市的に共通する課題が効率的に把握できるよう、地域ケア会議の体制の見直しを検討します。

② 住民主体の地域支え合い活動の推進

事業番号	75	ページ	82	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者見守りネットワークの推進				
事業内容	・見守りの必要な高齢者を支援するため、地域住民や自治会・町会等、民生委員・児童委員、シニアクラブ、地域包括支援センター、商店会などに加えて、社会福祉協議会、ボランティア・NPOなど、広く福祉関係団体とも連携を図り、見守りネットワークによる地域連携を強化します。 ・高齢者見守りネットワークの周知啓発を強化して支援の必要な高齢者を地域で見守り、保護し、連絡する体制を充実させます。 ・近所の人たちが日頃からお互いに少し気を配ることにより、何かあったときにためらわずに地域包括支援センターに連絡を入れられるよう、自治会・町会等を始めとした地域住民に対し、地域のつながりを深める意識啓発を推進します。				
令和元年度実績	・普及啓発のためのチラシを作成・配布 ・全地域包括支援センターで、高齢者地域支援連絡会を実施 泉苑：9回／よつや苑：2回／あさひ苑：8回／安立園：5回／しみずがおか：7回／かたまち：3回／しんまち：3回 緑苑：6回／にしふ：1回／これまさ：6回／みなみ町：4回 合計54回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・地域課題の解決に取り組み、見守り意識を高め顔の見える関係づくりのため、自治会、シニアクラブ、民生委員等地域関係者が参加する各地域包括支援センターで高齢者地域支援連絡会を開催：70回 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者見守りネットワークの普及啓発と、地域と地域包括支援センターとの関係強化を図ります。（随時）		・地域課題の解決に取り組み、見守り意識を高め顔の見える関係づくりのため、自治会、シニアクラブ、民生委員等地域関係者が参加する各地域包括支援センターで高齢者地域支援連絡会を開催：70回 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者見守りネットワークの普及啓発と、地域と地域包括支援センターとの関係強化を図ります。（随時）		・地域課題の解決に取り組み、見守り意識を高め顔の見える関係づくりのため、自治会、シニアクラブ、民生委員等地域関係者が参加する各地域包括支援センターで高齢者地域支援連絡会を開催：70回 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者見守りネットワークの普及啓発と、地域と地域包括支援センターとの関係強化を図ります。（随時）
実行 (Do)	・普及啓発のためのチラシを作成・配布 ・全地域包括支援センターで、高齢者地域支援連絡会を実施：11回		・普及啓発のためのチラシを作成・配布 ・全地域包括支援センターで、高齢者地域支援連絡会を実施：41回		・普及啓発のためのチラシを作成・配布 ・全地域包括支援センターで、高齢者地域支援連絡会を実施：48回
評価 (Check)	○		△		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	・チラシは、内容を随時見直すとともに、配布の機会も充実していく。 ・地域支援連絡会は、地域のネットワーク構築に向けて、引き続き地域住民同士、地域住民と地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりに努めていく。		・チラシは、内容を随時見直すとともに、配布の機会も充実していく。 ・地域支援連絡会は、地域のネットワーク構築に向けて、引き続き地域住民同士、地域住民と地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりに努めていく。		・チラシは、内容を随時見直すとともに、配布の機会も充実していく。 ・地域支援連絡会は、地域のネットワーク構築に向けて、引き続き地域住民同士、地域住民と地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりに努めていく。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	76	ページ	104	担当部署	高齢者支援課
事業名	高齢者見守りネットワークの推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・高齢者見守りネットワークの普及啓発を行います。（随時）		・高齢者見守りネットワークの普及啓発を行います。（随時）		・高齢者見守りネットワークの普及啓発を行います。（随時） ・地域の関係機関と地域包括支援センターとの連携を深めるため、自治会、シニアクラブ、民生委員等が参加する高齢者地域支援連絡会を開催：55回（令和8年度）

事業番号	76	ページ	83	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域による熱中症予防のための見守り活動の推進				
事業内容	・地域包括支援センターが民生委員・児童委員や自治会・町会等々の活動と連携して、行政では行き届かない日常生活に近いところに目を向けた地域づくりを進めます。				
令和元年度実績	・熱中症が増加する6月から9月までの期間、民生委員・児童委員、自治会・町会員による高齢者宅へ熱中症予防の啓発活動（声掛け訪問）を実施しました。 自治会数：120団体／民生委員数：145人 ・上記の活動が円滑に行えるよう、熱中症予防グッズや啓発チラシを作成しました。 チラシ：13,500枚／うちわ：12,000枚				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	・高齢者熱中症予防対策事業により、民生委員・児童委員、自治会・町会等の緩やかな見守り活動を支援します。 自治会数：130団体／民生委員数：150人 ・熱中症予防に資するグッズの検討（随時）		・高齢者熱中症予防対策事業により、民生委員・児童委員、自治会・町会等の緩やかな見守り活動を支援します。 自治会数：130団体／民生委員数：150人 ・熱中症予防に資するグッズの検討（随時）		・高齢者熱中症予防対策事業により、民生委員・児童委員、自治会・町会等の緩やかな見守り活動を支援します。 自治会数：130団体／民生委員数：150人 ・熱中症予防に資するグッズの検討（随時）
実行（Do）	・熱中症が増加する6月から9月までの期間、民生委員・児童委員、自治会・町会員による高齢者宅へ熱中症予防の啓発活動（声掛け訪問）を実施しました。 自治会数：113団体／民生委員数：129人 ・上記の活動が円滑に行えるよう、熱中症予防グッズや啓発チラシを作成しました。 チラシ：12,000枚 クーリングシート：11,000個		・熱中症が増加する5月下旬から9月までの期間、民生委員・児童委員、自治会・町会員による高齢者宅へ熱中症予防の啓発活動（声掛け訪問）を実施しました。 自治会数：99団体／民生委員数：124人 ・上記の活動が円滑に行えるよう、熱中症予防グッズや啓発チラシを作成しました。 チラシ：12,000枚 クーリングシート：12,000個		・熱中症が増加する5月下旬から9月までの期間、民生委員・児童委員、自治会・町会員による高齢者宅へ熱中症予防の啓発活動（声掛け訪問）を実施しました。 自治会数：106団体／民生委員数：114人 ・上記の活動が円滑に行えるよう、熱中症予防グッズや啓発チラシを作成しました。 チラシ：18,000枚 クーリングシート：18,000個
評価（Check）	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性など（Act）	・本事業を活用しない自治会が過半数となっているため、本事業への理解が得られるよう動いていく必要がある。 ・配布グッズが重複し続けないよう、内容の見直しを適宜実施していく必要がある。 ・地域と地域包括支援センターとが今後も顔の見える関係づくり継続して実施していく必要がある。		・本事業を活用しない自治会が過半数となっているため、本事業への理解が得られるよう動いていく必要がある。 ・配布グッズが重複し続けないよう、内容の見直しを適宜実施していく必要がある。 ・地域と地域包括支援センターとが今後も顔の見える関係づくり継続して実施していく必要がある。		・本事業を活用しない自治会が過半数となっているため、本事業への理解が得られるよう動いていく必要がある。 ・配布グッズが重複し続けないよう、内容の見直しを適宜実施していく必要がある。 ・地域と地域包括支援センターとが今後も顔の見える関係づくり継続して実施していく必要がある。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	77	ページ	105	担当部署	高齢者支援課
事業名	地域による熱中症予防のための見守り活動の推進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画（Plan）	・熱中症予防の普及啓発をきっかけとした民生委員、自治会等との連携による見守り活動を行います。		・熱中症予防の普及啓発をきっかけとした民生委員、自治会等との連携による見守り活動を行います。		・熱中症予防の普及啓発をきっかけとした民生委員、自治会等との連携による見守り活動を行います。 （令和8年度） - 参加自治会数：130団体 - 参加民生委員：150人

事業番号	77	ページ	83	担当部署	地域福祉推進課・協働共創推進課
事業名	地域支え合いのための情報提供・人材育成及び居場所づくりの支援				
事業内容	・住民主体の支え合い活動を行いたい人や団体に向けて、活動の立上げ支援、組織づくり・拠点づくり支援、人材育成等を行います。 ・高齢者、地域住民及び専門職が誰でも参加できるコミュニティカフェやサロン等の開設及び運営を支援します。また、そのための事例などを共有するための情報提供を行います。				
令和元年度実績	【地域福祉推進課】 ・わがまち支えあい協議会 「押立・車返ささえあい協議会」 ①会議：39回／延べ263人 ②定期活動：173回／延べ288人（来場者・利用者：延べ387人） ③PR活動：11回／延べ94人（参加者6人） 「ささえあい四谷」 ①会議：25回／延べ162人 ②定期活動：160回／延べ333人（来場者・利用者：延べ375人） ③PR活動：5回／延べ39人（来場者：延べ125人） 「住吉・分梅・南町ささえあい協議会」 ①会議：14回／延べ185人 ②定期活動：55回／延べ397人（来場者・利用者：延べ315人） ③PR活動：6回／延べ47人（来場者：延べ24人） ・準備委員会の開催回数と参加人数 中央：26回244人、白糸台：12回138人、西 府：16回193人、武蔵台：12回153人 新 町：12回151人、是 政：14回200人、紅葉丘：15回139人、片 町：12回125人 【協働共創推進課】 ・活動団体の立上げや人材育成等の支援に努めました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・地域福祉コーディネーターを各福祉エリアに配置します。また、地域の多様な主体が連携して地域課題の解決に取り組むための調整を行う等、地域福祉コーディネーターの機能を強化します。 ・わがまち支えあい協議会等による地域の実情に応じた自主的な支え合い活動等を支援し、支え合いのまちづくりを推進します。（随時） 【協働共創推進課】 ・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する活動団体の立上げや人材育成等の支援を行います。（随時）		・地域福祉コーディネーターを各福祉エリアに配置します。また、地域の多様な主体が連携して地域課題の解決に取り組むための調整を行う等、地域福祉コーディネーターの機能を強化します。 ・わがまち支えあい協議会等による地域の実情に応じた自主的な支え合い活動等を支援し、支え合いのまちづくりを推進します。（随時） 【協働共創推進課】 ・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する活動団体の立上げや人材育成等の支援を行います。（随時）		・地域福祉コーディネーターを各福祉エリアに配置します。また、地域の多様な主体が連携して地域課題の解決に取り組むための調整を行う等、地域福祉コーディネーターの機能を強化します。 ・わがまち支えあい協議会等による地域の実情に応じた自主的な支え合い活動等を支援し、支え合いのまちづくりを推進します。（随時） 【協働共創推進課】 ・市民活動センターにおいて、市民活動を始めたい市民に対する活動団体の立上げや人材育成等の支援を行います。（随時）
実行 (Do)	【地域福祉推進課】 地域福祉コーディネーターにより、高齢者を含む要支援者等への生活支援（個別支援）を行うとともに、住民が主体となり福祉課題を解決する地域づくりを支援（地域支援）し、支え合う地域社会の形成に努めた。 個別支援相談件数 8,386件 地域支援相談件数 9,492件 【協働共創推進課】 ・活動団体の立ち上げや人材育成等の支援に努めた。		【地域福祉推進課】 地域福祉コーディネーターにより、高齢者を含む要支援者等への生活支援（個別支援）を行うとともに、住民が主体となり福祉課題を解決する地域づくりを支援（地域支援）し、支え合う地域社会の形成に努めた。 個別支援相談件数 8,274件 地域支援相談件数 11,632件 【協働共創推進課】 ・市民の居場所づくりを目的とした活動団体の立上げや運営支援、個別に活動へ参加したい市民への情報提供に努めました。		【地域福祉推進課】 地域福祉コーディネーターにより、高齢者を含む要支援者等への生活支援（個別支援）を行うとともに、住民が主体となり福祉課題を解決する地域づくりを支援（地域支援）し、支え合う地域社会の形成に努めた。 個別支援相談件数 7,939件 地域支援相談件数 10,676件 【協働共創推進課】 ・市民の居場所づくりを目的とした活動団体の立上げや運営支援、個別に活動へ参加したい市民への情報提供に努めました。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性など (Act)	【地域福祉推進課】 地域福祉コーディネーターによる支援を継続し、地域住民や団体が主体的に助け合いながら生活課題を解決する活動を推進する。 【協働共創推進課】 継続して事業実施に努める。		【地域福祉推進課】 地域福祉コーディネーターによる支援を継続し、地域住民や団体が主体的に助け合いながら生活課題を解決する活動を推進する。 【協働共創推進課】 ・高齢者を始めとした多世代が交流できる居場所づくりやコミュニティカフェの開設支援および運営ボランティアのコーディネートを推進します。（随時）		【地域福祉推進課】 地域福祉コーディネーターによる支援を継続し、地域住民や団体が主体的に助け合いながら生活課題を解決する活動を推進する。 【協働共創推進課】 ・引き続き市民や団体同士が交流できる企画を実施し居場所づくりを行うほか、団体の会員募集や団体同士を繋ぐコーディネートを通じて、団体の継続や新たな市民の参画に向けた支援を行います。（随時）
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	78	ページ	105	担当部署	地域福祉推進課・協働共創推進課
事業名	地域支え合いのための情報提供・人材育成及び居場所づくりの支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【地域福祉推進課】 ・地域福祉コーディネーターを各福祉エリアに配置します。また、地域の多様な主体が連携して地域課題の解決に取り組むための調整を行うなど、地域福祉コーディネーターの機能を強化します。 ・わがまち支えあい協議会等による地域の実情に応じた自主的な支え合い活動等を支援し、支え合いのまちづくりを推進します。（随時） 【協働共創推進課】 ・高齢者を始めとした多世代が交流できる居場所づくりやコミュニティカフェの開設支援および運営ボランティアのコーディネートを推進します。（随時）				

4 必要な介護保険サービスを適切に利用できている

(9) 介護保険事業の推進

㉓ 保険者機能の強化

事業番号	78	ページ	85	担当部署	介護保険課・地域福祉推進課
事業名	介護給付の適正化				
事業内容	・保険者として介護保険の円滑かつ安定的な運営を図るため、介護サービスを必要とする人（受給者）を適切に認定した上で、利用者が真に必要なとするサービスを、介護サービス事業者等が適正に提供できるよう介護給付の適正化に努めます。				
令和元年度実績	・委託先で実施した要介護認定調査票の点検の実施 ・ケアプラン点検の実施：2件 ・専門知識を持つ職員による住宅改修申請の審査：645件 ・住宅改修研修会の実施：2回 ・介護給付の請求情報について、縦覧点検や医療情報との突合点検の実施：1,692件 ・介護給付費通知の発送				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【介護保険課】 ・要介護認定の適正化（随時） 要介護認定の区分変更認定又は更新認定に係る認定調査の内容について、市職員等が訪問又は書面等の審査を通じて点検することにより、適切かつ公平な要介護認定の確保を図ります。 ・住宅改修等の点検（随時） 専門職等により住宅改修給付の申請内容の審査や、必要に応じた訪問調査を行い、適切な改修と給付につなげていきます。また、関係者への制度周知・啓発に努め、適切な制度利用を促進します。福祉用具の適切な利用についても普及・啓発に努めます。 ・介護給付費通知（随時） 受給者に対して、事業者からの介護報酬の請求状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービスの利用と提供について周知・啓発をしていきます。 【地域福祉推進課】 ・実地指導の実施（随時） 事業所の運営、人員、設備状況の確認		【介護保険課】 ・要介護認定の適正化（随時） 要介護認定の区分変更認定又は更新認定に係る認定調査の内容について、市職員等が訪問又は書面等の審査を通じて点検することにより、適切かつ公平な要介護認定の確保を図ります。 ・ケアプランの点検：3件（令和4年度目標） 居宅介護サービス計画、介護予防サービス計画等の記載内容について、市職員等の第三者がケアマネジャーと共に確認・検証を行うことにより、利用者が真に必要なとするサービスの確保と、その状態に適合していないサービスの提供内容を改善します。 ・住宅改修等の点検（随時） 専門職等により住宅改修給付の申請内容の審査や、必要に応じた訪問調査を行い、適切な改修と給付につなげていきます。また、関係者への制度周知・啓発に努め、適切な制度利用を促進します。福祉用具の適切な利用についても普及・啓発に努めます。 ・縦覧点検・医療情報との突合点検：1,860件（令和4年度目標） 介護報酬の請求内容を確認し、提供されたサービスの整合性等の点検を行い、サービス提供事業者の請求内容の誤り等を是正します。医療保険の入院情報と介護保険の給付情報を突合し、医療と介護の重複請求の誤り等を是正します。 ・介護給付費通知（随時） 受給者に対して、事業者からの介護報酬の請求状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービスの利用と提供について周知・啓発をしていきます。 【地域福祉推進課】 ・運営指導の実施（随時） 事業所の運営、人員、設備状況の確認		【介護保険課】 ・要介護認定の適正化（随時） 要介護認定の区分変更認定又は更新認定に係る認定調査の内容について、市職員等が訪問又は書面等の審査を通じて点検することにより、適切かつ公平な要介護認定の確保を図ります。 ・住宅改修等の点検（随時） 専門職等により住宅改修給付の申請内容の審査や、必要に応じた訪問調査を行い、適切な改修と給付につなげていきます。また、関係者への制度周知・啓発に努め、適切な制度利用を促進します。福祉用具の適切な利用についても普及・啓発に努めます。 ・介護給付費通知（随時） 受給者に対して、事業者からの介護報酬の請求状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービスの利用と提供について周知・啓発をしていきます。 【地域福祉推進課】 ・運営指導の実施（随時） 事業所の運営、人員、設備状況の確認
実行 (Do)	【介護保険課】 ・委託先で実施した要介護認定調査票の点検の実施：4,500件 ・専門知識を持つ職員による住宅改修申請の審査：553件 ・住宅改修研修会の実施：1回 ※新型コロナウイルスの感染拡大により書面開催 ・介護給付の請求情報について、縦覧点検や医療情報との突合点検の実施：2,631件 ・介護給付費通知の発送：8,567人 【地域福祉推進課】 ・国の指針等に基づき運営指導を実施した。		【介護保険課】 ・委託先で実施した要介護認定調査票の点検の実施：4,076件 ・専門知識を持つ職員による住宅改修申請の審査：505件 ・住宅改修研修会の実施：1回 ・介護給付の請求情報について、縦覧点検や医療情報との突合点検の実施：518件 ・介護給付費通知の発送：8,739人 ・ケアプラン点検実施：8件 【地域福祉推進課】 ・国の指針等に基づき運営指導を実施した。		【介護保険課】 ・委託先で実施した要介護認定調査票の点検の実施：3,134件 ・専門知識を持つ職員による住宅改修申請の審査：407件 ・住宅改修研修会の実施：1回 ・介護給付の請求情報について、縦覧点検や医療情報との突合点検の実施：5,940件 ・介護給付費通知の発送：8,964人 ・ケアプラン点検実施：8件 【地域福祉推進課】 ・国の指針等に基づき運営指導を実施した。

評価 (Check)	○	○	○
評価の内容	計画どおり進行できている	計画どおり進行できている	計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【介護保険課】 ・医療突合や縦覧点検等の点検に、より積極的に取り組む。 ・令和3年度にケアプラン点検の実施（2件）ができたことから、令和4年度以降について、計画的な実施を行うこととしたい。 【地域福祉推進課】 ・引き続き運営指導を実施していく。	【介護保険課】 ・医療突合や縦覧点検等の点検に、より計画的に且つ積極的に取り組む。 ・ケアプラン点検は計画以上の件数を実施できた。次年度は事業に協力していただける方点検の質の向上にも努めたい。 【地域福祉推進課】 ・引き続き運営指導を実施していく。	【介護保険課】 ・医療突合や縦覧点検等の点検では、令和5年度は、効果が高いと見込まれる帳票に絞り点検を行った。今後は費用対効果を分析しつつ、新たな帳票の点検について検討する。 【地域福祉推進課】 ・引き続き運営指導を実施していく。
備考			
総評	○		
	計画どおり進行できている		



【第9期】

事業番号	79	ページ	108	担当部署	介護保険課・地域福祉推進課
事業名	介護給付の適正化				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【介護保険課】 ・要介護認定の適正化（随時） 要介護認定の区分変更認定又は更新認定に係る認定調査の内容について、市職員等が訪問又は書面等の審査を通じて点検することにより、適切かつ公平な要介護認定の確保を図ります。 ・ケアプラン等の点検 居宅介護サービス計画、介護予防サービス計画等の記載内容について、市職員等の第三者がケアマネジャーと共に確認・検証を行うことにより、利用者が真に必要なサービスの確保と、その状態に適合していないサービスの提供内容を改善します。住宅改修等の点検については、専門職等により住宅改修給付の申請内容の審査や、必要に応じた訪問調査を行い、適切な改修と給付につなげていきます。また、福祉用具の適切な利用についても普及・啓発に努めます。 ・医療情報との突合・縦覧点検 介護報酬の請求内容を確認し、提供されたサービスの整合性等の点検を行い、サービス提供事業者の請求内容の誤り等を是正します。医療保険の入院情報と介護保険の給付情報を突合し、医療と介護の重複請求の誤り等を是正します。 【地域福祉推進課】 ・運営指導の実施（随時） 事業所の運営、人員、設備状況等の確認				

⑭ 介護基盤の整備

事業番号	79	ページ	86	担当部署	介護保険課
事業名	地域密着型サービスの基盤整備				
事業内容	・グループホームの整備は高齢者の推計人口から導かれる介護ニーズを中長期的に捉え、「共生」と「予防」の実現を目指し、計画的に進めていきます。 ・施設への「通い」を中心として、利用者の状態や希望に応じた「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供する小規模多機能型居宅介護の充実に努めます。 ・入所定員29人以下の特別養護老人ホームの整備を検討します。 ・24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護を提供する事業者を誘導します。 ・小規模多機能型居宅介護や、このサービスと訪問看護を組み合わせた看護小規模多機能型居宅介護の整備を計画的に進めます。				
令和元年度実績	・公募選定したグループホーム（小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護併設）の1事業者に対し建設費等の補助金を交付しました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)			・令和5年度末までに開設されることを目指し、公募によりグループホームの事業者を選定します。		
実行 (Do)	令和4年3月に認知症高齢者グループホーム事業者公募に係る募集要項等を公開した。		・公募を実施し、認知症高齢者グループホームの運営事業者を選定した。		・公募選定した認知症高齢者グループホーム1施設に対する建設費、開設準備経費等の補助金を交付した。 ・小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護については公募を行ったものの応募する事業者がなかった。
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	令和4年度中の事業者選定に向けて審査会等を計画的に行っていく。		・認知症高齢者グループホームについては、令和5年度の開設に向けて、補助金の交付等を行っていく。 ・小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護については、令和5年度中の事業者選定に向けて、公募を行う。		
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	80	ページ	109	担当部署	介護保険課
事業名	地域密着型サービスの基盤整備				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・公募等により、認知症高齢者グループホームを1か所、小規模多機能型居宅介護を1か所、看護小規模多機能型居宅介護を1か所整備します。				

事業番号	80	ページ	86	担当部署	介護保険課
事業名	施設サービスの基盤整備				
事業内容	・特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の整備は、高齢者の推計人口から導かれる介護ニーズを中長期的に見据えるとともに、待機者数や近隣市の整備状況を踏まえ、計画的に進めていきます。				
令和元年度実績	・特別養護老人ホーム事業者公募を行い、事業者を選定しました。 ・よつや苑の譲渡について、指定管理者と協議しました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・令和5年度末までに開設されることを目指し、公募により特別養護老人ホームの事業者を選定します。				
実行 (Do)	特別養護老人ホーム事業者公募を行ったものの、事業者からの提案が無く令和3年度中での事業者選定を行うことができなかった。		・引き続き特別養護老人ホームの事業者公募を行ったものの、事業者からの提案は無く、選定することができなかった。		・よつや苑の大規模修繕に係る基礎調査を実施した。 ・特別養護老人ホームの事業者公募については、令和4年度中に1施設が新規開設されたことなどを踏まえ、公募を行わなかった。
評価 (Check)	×		×		△
評価の内容	計画に遅れが生じている		計画に遅れが生じている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	令和4年度に改めて公募による事業者選定を実施し、令和6年度末までの開設を目指して計画を進めていく。		特別養護老人ホームの近隣市における整備状況や、待機者数の状況を踏まえ、公募の実施については慎重に検討していく。		特別養護老人ホームの近隣市における整備状況や、待機者数の状況を踏まえ、公募の実施については慎重に検討していく。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

【第2期】

事業番号	81	ページ	110	担当部署	介護保険課
事業名	施設サービスの基盤整備				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・特別養護老人ホームについては、東京都全体の入所申込者数が3年前の前回調査から18.6%減少していることや、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための在宅サービスの推進により施設需要の減少が見込まれること、市内や近隣市において新たに開設した施設があることなどから、本計画では整備を見込まないこととします。 ・介護老人保健施設については、実績値やサービス利用者の入所状況、近隣市の整備状況を踏まえ、本計画では整備を見込まないこととします。 ・介護医療院については、市内に施設がないことから、市外施設の利用状況を見て介護ニーズを把握するとともに、東京都の今後の方向性を踏まえながら検討します。				

事業番号	81	ページ	86	担当部署	介護保険課
事業名	居住系サービスの基盤整備				
事業内容	・住み慣れた地域において暮らし続けるための取組として、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の適切な設置について、東京都と情報連携していきます。 ・グループホームの整備は、高齢者の推計人口から導かれる介護ニーズを中長期的に捉え、「共生」と「予防」の実現を目指し、計画的に進めていきます。				
令和元年度実績	・東京都への特定施設入居者生活介護の「事前相談状況についての回答」及び「意見書」の件数 事前相談状況についての回答：3件 意見書：2件 ・公募選定したグループホーム（小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護併設）に対する建設費等の補助金の交付：1事業所				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・東京都有料老人ホーム設置運営指導指針に基づき、設置予定者から提出された特定施設の事前相談計画書に対し意見がある場合は、東京都へ事前相談状況についての回答を提出します。 ・介護保険法第70条第6項に基づく通知により、東京都から特定施設の指定に関する意見を求められたとき、意見書を提出します。 ・老人福祉法第29条第5項に基づき、届出がされていない疑いがある有料老人ホームを発見したときは東京都へ通知します。		・東京都有料老人ホーム設置運営指導指針に基づき、設置予定者から提出された特定施設の事前相談計画書に対し意見がある場合は、東京都へ事前相談状況についての回答を提出します。 ・介護保険法第70条第6項に基づく通知により、東京都から特定施設の指定に関する意見を求められたとき、意見書を提出します。 ・老人福祉法第29条第5項に基づき、届出がされていない疑いがある有料老人ホームを発見したときは東京都へ通知します。 <令和4年度> ・令和5年度末までに開設されることを目指し、公募によりグループホームの事業者を選定します。		・東京都有料老人ホーム設置運営指導指針に基づき、設置予定者から提出された特定施設の事前相談計画書に対し意見がある場合は、東京都へ事前相談状況についての回答を提出します。 ・介護保険法第70条第6項に基づく通知により、東京都から特定施設の指定に関する意見を求められたとき、意見書を提出します。 ・老人福祉法第29条第5項に基づき、届出がされていない疑いがある有料老人ホームを発見したときは東京都へ通知します。
実行 (Do)	令和2年度中に東京都から整備が認められた2施設に加えて、令和3年度に2事業者からの事前相談を受けて意見書を提出した。		・令和2年度に事前相談のあった有料老人ホーム1施設が8月に開設した。 ・公募により認知症高齢者グループホームの運営事業者を選定した。		・令和3年度に事前相談のあった有料老人ホーム2施設が10月と12月に開設した。 ・令和4年度に公募選定した認知症高齢者グループホーム1施設に対する建設費、開設準備経費等の補助金を交付した。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	市内の整備状況等を踏まえ、計画的な整備を検討する。		市内の整備状況等を踏まえ、計画的な整備を検討する。		市内の整備状況等を踏まえ、計画的な整備を検討する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				

【第9期】

事業番号	82	ページ	111	担当部署	介護保険課
事業名	居住系サービスの基盤整備				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・東京都有料老人ホーム設置運営指導指針に基づき、設置予定者から提出された特定施設の事前相談計画書に対して意見がある場合は、東京都へ「事前相談状況についての回答」を提出します。 ・介護保険法第70条第6項に基づく通知により、東京都から特定施設の指定に関する意見を求められたときは、意見書を提出します。 ・老人福祉法第29条第5項に基づき、届出がされていない疑いがある有料老人ホームを発見したときは、東京都に通知します。 ・公募等により、認知症高齢者グループホームを1か所整備します。				

㊤ 低所得者への配慮

事業番号	82	ページ	87	担当部署	介護保険課
事業名	介護保険サービス利用料等の軽減				
事業内容	・低所得者が利用する在宅介護サービスや、特別養護老人ホーム（社会福祉法人）の利用料の一部を市が助成することで、低所得者が介護サービスを利用しやすくなるように経済的な支援を行います。				
令和元年度実績	・介護サービス利用料軽減事業 軽減対象者数：2,899人 ・社会福祉法人等介護保険サービス利用者負担軽減事業 軽減対象者数：27人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・低所得者が利用する在宅介護サービスや、特別養護老人ホーム（社会福祉法人）の利用料の一部を市が助成することで、低所得者が介護サービスを利用しやすくなるように経済的な支援を行います。（随時）		・低所得者が利用する在宅介護サービスや、特別養護老人ホーム（社会福祉法人）の利用料の一部を市が助成することで、低所得者が介護サービスを利用しやすくなるように経済的な支援を行います。（随時）		・低所得者が利用する在宅介護サービスや、特別養護老人ホーム（社会福祉法人）の利用料の一部を市が助成することで、低所得者が介護サービスを利用しやすくなるように経済的な支援を行います。（随時）
実行 (Do)	・介護サービス利用料軽減事業 軽減対象者数：3,087人 ・社会福祉法人等介護保険サービス利用者負担軽減事業 軽減対象者数：34人		・介護サービス利用料軽減事業 軽減対象者数：3,165人 ・社会福祉法人等介護保険サービス利用者負担軽減事業 軽減対象者数：41人		・介護サービス利用料軽減事業 軽減対象者数：3,282人 ・社会福祉法人等介護保険サービス利用者負担軽減事業 軽減対象者数：52人
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続実施		継続実施		継続実施
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	83	ページ	111	担当部署	介護保険課
事業名	介護保険サービス利用料等の軽減				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・低所得者が利用する在宅介護サービスや、特別養護老人ホーム（社会福祉法人）の利用料の一部を市が助成することで、低所得者が介護サービスを利用しやすくなるように経済的な支援を行います。（随時）				

事業番号	83	ページ	87	担当部署	介護保険課
事業名	介護保険料の減免				
事業内容	・低所得者対策として継続して実施します。				
令和元年度実績	・20人に対して、総額363,400円分を減免しました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・申請に基づき、減免要件を満たす場合において実施します。（随時）		・申請に基づき、減免要件を満たす場合において実施します。（随時）		・申請に基づき、減免要件を満たす場合において実施します。（随時）
実行 (Do)	58人に対して、総額2,599,800円を減免した。		47人に対して、総額1,678,100円を減免した。		33人に対して、総額704,800円を減免した。
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	継続実施		継続実施		継続実施
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できている				



【第9期】

事業番号	84	ページ	111	担当部署	介護保険課
事業名	介護保険料の減免				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・申請に基づき、減免要件を満たす場合において実施します。（随時）				

②⑥ 情報の提供体制・介護保険サービス相談体制の充実

事業番号	84	ページ	87	担当部署	高齢者支援課・秘書広報課
事業名	多様な媒体を使った分かりやすい情報の提供				
事業内容	・市の広報やホームページの活用、高齢者に対する福祉サービスのパンフレットやガイドブックを発行するなど、分かりやすい情報の提供に心掛け、制度やサービスの内容の周知に努めます。 ・申請書などのダウンロードサービスの充実を図ります。 ・高齢者にも分かりやすいような、新しい情報提供手段の検討を行うなど、様々な媒体、方法による情報提供を進めます。 ・介護保険制度の理解を一層広げるため、説明会や相談会を継続して行います。				
令和元年度実績	【高齢者支援課】 ・「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」 作成部数：15,000部 【秘書広報課】 ・広報紙の発行部数 号平均：75,000部 ・テレビ広報（15分番組）の放映 1日3回／月3回更新 ・ホームページの閲覧数 月平均：197,000件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画（Plan）	【高齢者支援課】 ・高齢者福祉に関するサービス等をまとめた冊子「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」を作成、配布（14,000部）するとともに、ホームページに掲載します。 ・福祉サービス等の情報を適切な時期に、分かりやすい内容で広報紙・ホームページに掲載するよう努めます。（随時） 【秘書広報課】 ・誰もが利用しやすくユニバーサルデザインに配慮したホームページ運用に努めます。（随時）		【高齢者支援課】 ・高齢者福祉に関するサービス等をまとめた冊子「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」を作成、配布（14,000部）するとともに、ホームページに掲載します。 ・福祉サービス等の情報を適切な時期に、分かりやすい内容で広報紙・ホームページに掲載するよう努めます。（随時） 【秘書広報課】 ・誰もが利用しやすくユニバーサルデザインに配慮したホームページ運用に努めます。（随時）		【高齢者支援課】 ・高齢者福祉に関するサービス等をまとめた冊子「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」を作成、配布（14,000部）するとともに、ホームページに掲載します。 ・福祉サービス等の情報を適切な時期に、分かりやすい内容で広報紙・ホームページに掲載するよう努めます。（随時） 【秘書広報課】 ・誰もが利用しやすくユニバーサルデザインに配慮したホームページ運用に努めます。（随時）
実行（Do）	【高齢者支援課】 ・「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」 作成部数 14,000部 【秘書広報課】 ・広報紙の発行部数 号平均70,000部（5/21号～8/21号は71,000部） ・テレビ広報（15分番組）の放映 4月～9月：1日3回、月3回更新 10月～3月：1日2回、月2回更新 ・ホームページの閲覧数 月平均225,000件		【高齢者支援課】 ・「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」 作成部数 14,000部 【秘書広報課】 ・広報紙の発行部数 号平均69,000部 ・テレビ広報（15分番組）の放映 1日2回、月2回更新 ・ホームページの閲覧数 月平均152,000件		【高齢者支援課】 ・「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」 作成部数 14,000部 【秘書広報課】 ・広報紙の発行部数 号平均67,000部 ・市民が主役の広報番組「いっしょに、府中」 インターネットでの公開 ジェイコムチャンネルでの放送（毎月1～10日、1日1回5分間／月1回更新） ・ホームページの閲覧数 トップページアクセス数（4/1～5/8）324,530件 ホームページ アクセス数（5/9～3/31）5,312,067件
評価（Check）	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性など（Act）	【秘書広報課】 ・引き続き分かりやすい情報を提供するよう努める。 ・紙媒体やメールによる情報発信と並行し、SNSなどを活用した情報発信を行う。 ・市のホームページのリニューアルに向けて、視認性や利便性の向上を検討する。		【高齢者支援課】 ・関係課と連携のもと、引き続き分かりやすい情報を提供するよう努める。 【秘書広報課】 ・引き続き分かりやすい情報を提供するよう努める。 ・紙媒体やメールによる情報発信と並行し、SNSなどを活用した情報発信を行う。 ・令和5年5月に市のホームページのリニューアルを行った。		
備考					
総評	○ 計画どおりに進行できている				

【第9期】

【第2期】					
事業番号	85	ページ	112	担当部署	高齢者支援課・秘書広報課
事業名	多様な媒体を使った分かりやすい情報の提供				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・高齢者福祉に関するサービス等をまとめた冊子「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」を作成・配布するとともに、市ホームページに掲載します。				
	【秘書広報課】 ・複数の情報媒体を活用し、誰もが必要な情報を入手できるように取り組みます。（随時）				

事業番号	85	ページ	88	担当部署	介護保険課・地域福祉推進課
事業名	福祉サービス第三者評価制度の普及・促進				
事業内容	・評価機関が介護サービス事業者のサービス内容などを評価し公表する福祉サービス第三者評価制度の受審を奨励し、サービスの質の確保に努めるとともに、利用者がサービスの選択をする際に目安となるよう情報を提供します。				
令和元年度実績	【介護保険課（旧：高齢者支援課）】 ・受審実績（指定管理施設） 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：2件通所介護：3件 短期入所生活介護：2件 福祉サービス第三者評価の受審により、施設内部の意識向上、施設運営の透明性の確保、サービス水準の向上などを図られました。 【地域福祉推進課】 ・助成実績 高齢者サービス：7件 認知症対応型共同生活介護：7件				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【介護保険課】 ・公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター（各2施設）において、福祉サービス第三者評価を受審し、サービスの質の向上を図ります。 【地域福祉推進課】 ・東京都の福祉サービス第三者評価を受審する事業者に対し、受審費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・市民がサービスの選択に当たっての目安となる情報を提供します。（随時）		【介護保険課】 ・公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター（各2施設）において、福祉サービス第三者評価を受審し、サービスの質の向上を図ります。 【地域福祉推進課】 ・東京都の福祉サービス第三者評価を受審する事業者に対し、受審費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・市民がサービスの選択に当たっての目安となる情報を提供します。（随時）		【介護保険課】 ・公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター（各2施設）において、福祉サービス第三者評価を受審し、サービスの質の向上を図ります。 【地域福祉推進課】 ・東京都の福祉サービス第三者評価を受審する事業者に対し、受審費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・市民がサービスの選択に当たっての目安となる情報を提供します。（随時）
実行 (Do)	【介護保険課】 公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター各2施設で第三者評価を受審し、サービスの向上を図った。 【地域福祉推進課】 補助実績（民設民営） 高齢者サービス：7件 認知症対応型共同生活介護：9件		【介護保険課】 公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター各2施設で第三者評価を受審し、サービスの向上を図った。 【地域福祉推進課】 補助実績（民設民営） 高齢者サービス：8件 認知症対応型共同生活介護：9件		【介護保険課】 公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター各2施設で第三者評価を受審し、サービスの向上を図った。 【地域福祉推進課】 補助実績（民設民営） 高齢者サービス：10件 認知症対応型共同生活介護：6件
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【介護保険課】 今後も引き続き、サービスの質を向上させるために第三者評価の受審を継続する。 【地域福祉推進課】 引き続き、東京都の方針に準じて補助を実施することにより、制度の普及を促進しサービスの質の確保に努める。		【介護保険課】 今後も引き続き、サービスの質を向上させるために第三者評価の受審を継続する。 【地域福祉推進課】 引き続き、東京都の方針に準じて補助を実施することにより、制度の普及を促進しサービスの質の確保に努める。		【介護保険課】 今後も引き続き、サービスの質を向上させるために第三者評価の受審を継続する。 【地域福祉推進課】 引き続き、東京都の方針に準じて補助を実施することにより、制度の普及を促進しサービスの質の確保に努める。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できた				



【第9期】

事業番号	86	ページ	112	担当部署	介護保険課・地域福祉推進課
事業名	福祉サービス第三者評価制度の普及・促進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【介護保険課】 ・公設の特別養護老人ホーム及び高齢者在宅サービスセンター（各2施設）において、福祉サービス第三者評価を受審し、サービスの質の向上を図ります。 【地域福祉推進課】 ・東京都の福祉サービス第三者評価を受審する事業者に対し、受審費用の全部又は一部を助成します。 ・市民がサービスの選択に当たっての目安となる事業所の評価結果を市のホームページ等を通して公表します。				

事業番号	86	ページ	88	担当部署	高齢者支援課・介護保険課
事業名	介護保険サービス相談体制の充実				
事業内容	・円滑なサービス提供のために、介護サービス事業者を対象とした相談・助言を行う体制を強化します。 ・東京都の介護保険部局や国民健康保険団体連合会などとも連携して対応します。 ・利用者からの相談や要望に対応する介護相談員の体制の推進を始めとし、介護サービス事業者と利用者間の調整を図ります。				
令和元年度実績	【高齢者支援課】 ・介護相談員：15人 派遣施設数：25か所 派遣回数：788回（市内活動：775回／市外研修：13回） 【介護保険課】 ・介護サービス事業者相談など 相談調整件数：1,492件（事業者相談・調整：1,341件／市民相談：108件／苦情相談件数：43件）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・市内の特別養護老人ホームなどの施設への介護相談員の派遣のほか、新たに有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に対する派遣の検討も踏まえ、利用者の福祉の増進及び尊厳の維持並びに事業者の介護サービスの質の向上の促進を図ります。 派遣回数：1,100回 【介護保険課】 ・利用者の権利擁護やサービスの質の向上につながるよう、相談体制などを強化することにより、国の社会保障制度である介護保険における一定の水準が保たれるよう、内容に応じた適切な助言を行います。（随時）		【高齢者支援課】 ・市内の特別養護老人ホームなどの施設への介護相談員の派遣のほか、新たに有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に対する派遣の検討も踏まえ、利用者の福祉の増進及び尊厳の維持並びに事業者の介護サービスの質の向上の促進を図ります。 派遣回数：1,100回 【介護保険課】 ・利用者の権利擁護やサービスの質の向上につながるよう、相談体制などを強化することにより、国の社会保障制度である介護保険における一定の水準が保たれるよう、内容に応じた適切な助言を行います。（随時）		【高齢者支援課】 ・市内の特別養護老人ホームなどの施設への介護相談員の派遣のほか、新たに有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅に対する派遣の検討も踏まえ、利用者の福祉の増進及び尊厳の維持並びに事業者の介護サービスの質の向上の促進を図ります。 派遣回数：1,100回 【介護保険課】 ・利用者の権利擁護やサービスの質の向上につながるよう、相談体制などを強化することにより、国の社会保障制度である介護保険における一定の水準が保たれるよう、内容に応じた適切な助言を行います。（随時）
実行 (Do)	【高齢者支援課】 派遣回数：なし 【介護保険課】 ＜介護相談窓口利用状況＞ 相談件数：1,810件 内訳：事業者相談・調整 1,621件 利用者相談 189件 （利用者苦情相談92件含む）		【高齢者支援課】 派遣回数：なし 【介護保険課】 ＜介護相談窓口利用状況＞ 相談件数：2,030件 内訳：事業者相談・調整 1,887件 利用者相談 143件 （利用者苦情相談86件含む）		【高齢者支援課】 派遣回数：なし 【介護保険課】 ＜介護相談窓口利用状況＞ 相談件数：1,577件 内訳：事業者相談・調整 1,354件 利用者相談 223件 （利用者苦情相談84件含む）
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	【高齢者支援課】 ・施設に介護相談員の訪問意向調査を実施のうえ、今後の対応を検討する。 【介護保険課】 引き続き、介護サービス事業者からの相談に適切に対応し、助言等を行う。		【高齢者支援課】 ・施設に介護相談員の訪問意向調査を実施のうえ、今後の対応を検討する 【介護保険課】 引き続き、介護サービス事業者からの相談に適切に対応し、助言等を行う。		【高齢者支援課】 ・施設に介護相談員の訪問意向調査実施しR6年度からの施設への訪問再開を目指す。 【介護保険課】 引き続き、介護サービス事業者からの相談に適切に対応し、助言等を行う。
備考	【高齢者支援課】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動休止		【高齢者支援課】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動休止		【高齢者支援課】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動休止
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている				

【第9期】

事業番号	87	ページ	113	担当部署	高齢者支援課・介護保険課
事業名	介護保険サービス相談体制の充実				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【高齢者支援課】 ・市内の特別養護老人ホームなどの施設に介護相談員を派遣し、利用者の福祉の増進及び尊厳の維持並びに事業者の介護サービスの質の向上の促進を図ります。 【介護保険課】 ・利用者の権利擁護やサービスの質の向上につながるよう、相談体制などを強化することにより、国の社会保障制度である介護保険における一定の水準が保たれるよう、内容に応じた適切な助言を行います。（随時）				

(10) 介護人材の確保と資質の向上

⑦ 介護人材の確保

事業番号	87	ページ	89	担当部署	介護保険課
事業名	働く環境の改善				
事業内容	・介護労働現場の業務改善として、介護ロボット、ＩＣＴ導入による労働負担の軽減やキャリアアップ、メンタルヘルス対策、福利厚生、職場環境の改善に関する普及啓発に関する情報を提供します。 ・従事者や管理者等へ、認知症ケアなど専門的知識や技術の向上を目的とした研修を実施し、人材の育成を促進するとともに、指定更新時などにおける提出書類を削減することで、従事者の負担を軽減し、人材の定着を図ります。				
令和元年度実績	・国、都、市それぞれの役割分担の中で、事業者による介護人材確保に向けた取組が可能となるよう周知を行いました。				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・人材確保に向けて、国や東京都が実施する「人材参入の促進」、「キャリアパスの確立」、「職場環境の整備・改善」、「処遇改善」の各施策に基づき支援を行います。（随時） ・指定更新などに必要な文書を削減することで、事業所の負担を軽減します。 取組数：3件		・人材確保に向けて、国や東京都が実施する「人材参入の促進」、「キャリアパスの確立」、「職場環境の整備・改善」、「処遇改善」の各施策に基づき支援を行います。（随時） ・指定更新などに必要な文書を削減することで、事業所の負担を軽減します。 取組数：3件		・人材確保に向けて、国や東京都が実施する「人材参入の促進」、「キャリアパスの確立」、「職場環境の整備・改善」、「処遇改善」の各施策に基づき支援を行います。（随時） ・指定更新などに必要な文書を削減することで、事業所の負担を軽減します。 取組数：3件
実行 (Do)	・国、都、市それぞれの役割分担の中で、事業者による介護人材確保に向けた取組が可能となるよう周知を行った。 ・指定更新等手続きにおいて、メール提出を可能、押印省略を行った（2項目）。		・国、都、市それぞれの役割分担の中で、事業者による介護人材確保に向けた取組が可能となるよう周知を行った。 ・指定更新等手続きにおいて、必要な文書を削減し、事業所の負担を軽減した（4項目）		・国、都、市それぞれの役割分担の中で、事業者による介護人材確保に向けた取組が可能となるよう周知を行った。 ・指定更新等手続きにおいて、必要な文書を削減し、事業所の負担を軽減した（5項目）
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	単身高齢者などが増加する中、必要性が高まる生活支援の担い手を増やすための取組への検討が必要と考える。 事業所における事務手続き負担については、引き続き、軽減できる項目を検討する必要がある。		単身高齢者などが増加する中、必要性が高まる生活支援の担い手を増やすための取組への検討が必要と考える。 事業所における事務手続き負担については、引き続き、軽減できる項目を検討する必要がある。また、同手続の電子申請について検討する。		単身高齢者などが増加する中、必要性が高まる生活支援の担い手を増やすための取組への検討が必要と考える。 事業所における事務手続き負担については、引き続き、軽減できる項目を検討する必要がある。また、同手続の電子申請について検討する。
備考					
総評	○				
	計画どおり進行できている				

【第9期】

【第3期】

事業番号	88	ページ	115	担当部署	介護保険課
事業名	介護現場の業務改善に向けた普及・促進				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・人材確保に向けて、国や東京都が実施する人材の参入促進、キャリアパスの確立、職場環境の整備・改善、処遇改善の各施策に基づき支援を行います。（随時） ・介護サービス事業者における、指定更新などに必要な文書の削減及び電子申請届出システムを活用した指定更新を促進することで、事業者の負担を軽減します。				

事業番号	88	ページ	90	担当部署	地域福祉推進課
事業名	多様な人材の確保				
事業内容	・地域住民や離職者・求職者など、新たな福祉人材の確保に努めます。 ・ボランティア登録制度等を活用し、多様な世代・活動者への持続的な活動支援を行う仕組みづくりを推進します。 ・福祉施設で働くために必要な資格の取得を支援します。				
令和元年度実績	・社会福祉士資格取得者、介護職員初任者研修修了者のうち市内の事業所に一定期間就労した者について、資格の取得や研修受講に係る費用の全部又は一部を助成しました。 ・社会福祉士資格取得費用助成事業費：1件 ・介護職員初任者研修費用助成事業費：6件 ・府中ボランティアセンターにおいて、ボランティア活動に関する相談や情報提供・紹介等を行い、労力・技術や趣味など様々な力をいかした幅広い年齢層の活動を支援しました。 ・ボランティア活動相談支援：1,883件 ・登録ボランティア活動状況：延べ4,157人（うち趣味・特技をいかした活動：延べ631人）				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・社会福祉士資格取得者、介護職員初任者研修修了者のうち、市内の事業所に一定期間就労した者について、資格の取得や研修受講に係る費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・府中市社会福祉協議会が運営するボランティアセンター等を活用し、幅広い年齢層の地域福祉への参加促進に努め、多様な人材の確保・育成を図ります。（随時）		・社会福祉士資格取得者、介護職員初任者研修修了者のうち、市内の事業所に一定期間就労した者について、資格の取得や研修受講に係る費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・府中市社会福祉協議会が運営するボランティアセンター等を活用し、幅広い年齢層の地域福祉への参加促進に努め、多様な人材の確保・育成を図ります。（随時）		・社会福祉士資格取得者、介護職員初任者研修修了者のうち、市内の事業所に一定期間就労した者について、資格の取得や研修受講に係る費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・府中市社会福祉協議会が運営するボランティアセンター等を活用し、幅広い年齢層の地域福祉への参加促進に努め、多様な人材の確保・育成を図ります。（随時）
実行 (Do)	①社会福祉士資格取得費用助成事業費：2件 介護職員初任者研修費用助成事業費：12件 ②ボランティア活動相談支援：572件 登録ボランティア活動状況：延べ839人 うち趣味・特技を活かしての個人活動：延べ56人		①社会福祉士資格取得費用助成事業費：4件 介護職員初任者研修費用助成事業費：11件 ②ボランティア活動相談支援：590件 登録ボランティア活動状況：延べ1,484人 うち趣味・特技を活かしての個人活動：延べ106人		①社会福祉士資格取得費用助成事業費：2件 介護職員初任者研修費用助成事業費：18件 ②ボランティア活動相談支援：1,429件 登録ボランティア活動状況：延べ2,201人 うち趣味・特技を活かしての個人活動：延べ649人
評価 (Check)	○		○		○
評価の内容	計画どおり進行できている		計画どおり進行できている		計画どおり進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	①社会福祉士資格取得費用助成事業及び介護職員初任者研修費用助成事業の案内の配架について、公共職業安定所などの他機関に働きかけを行う。 ②府中市社会福祉協議会への補助を継続し、多様な世代・活動者への持続的な活動支援を行う仕組みづくりを推進する。		①社会福祉士資格取得費用助成事業及び介護職員初任者研修費用助成事業の案内の配架について、公共職業安定所などの他機関に働きかけを行う。 ②府中市社会福祉協議会への補助を継続し、多様な世代・活動者への持続的な活動支援を行う仕組みづくりを推進する。		①社会福祉士資格取得費用助成事業及び介護職員初任者研修費用助成事業の案内の配架について、公共職業安定所などの他機関に働きかけを行う。②府中市社会福祉協議会への補助を継続し、多様な世代・活動者への持続的な活動支援を行う仕組みづくりを推進する。
備考					
総評	○				
	計画通り進行できている				

【第9期】

【第3期】

事業番号	89	ページ	115	担当部署	介護保険課・地域福祉推進課
事業名	多様な人材確保の支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	【介護保険課】 ・国や都が実施する「人材確保」の各施策の周知を行います。 【地域福祉推進課】 ・社会福祉士資格取得者、介護職員初任者研修修了者のうち、市内の事業所に一定期間就労した者について、資格の取得や研修受講に係る費用の全部又は一部を助成します。（随時） ・府中市社会福祉協議会が運営するボランティアセンター等を活用し、幅広い年齢層の地域福祉への参加促進に努め、多様な人材の確保・育成を図ります。（随時）				

⑳ 介護人材の資質の向上

事業番号	89	ページ	90	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者等との連携とその支援				
事業内容	・円滑なサービスの提供が行われ、利用者が安心してサービスを受けることができるよう、事業者の自主的な運営組織である居宅介護支援事業者連絡会を始めとした、介護サービス事業者との連携を強化します。 ・新たな連携体制の構築などについて支援します。 ・ケアマネジャーへ情報をきめ細かく提供し、利用者の希望等を的確にケアプランに反映できるようにします。 ・介護サービス事業者が質の向上を目指し、自主的に行う研修・連携等の活動に対して助言・支援します。				
令和元年度実績	・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：8回／例会：6回 ・通所リハビリテーション連絡会：0回 ・通所サービス合同連絡会：3回 ・訪問介護研究会 世話人会：0回／全体会：0回 ・グループホーム連絡会：0回 ・訪問看護連絡会：1回				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：10回／例会：7回 ・通所リハビリテーション連絡会：1回 ・通所サービス合同連絡会：1回 ・訪問介護研究会 世話人会：1回／全体会：1回 ・グループホーム連絡会：1回 ・訪問看護連絡会：1回		・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：10回／例会：7回 ・通所リハビリテーション連絡会：1回 ・通所サービス合同連絡会：1回 ・訪問介護研究会 世話人会：1回／全体会：1回 ・グループホーム連絡会：1回 ・訪問看護連絡会：1回		・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：10回／例会：7回 ・通所リハビリテーション連絡会：1回 ・通所サービス合同連絡会：1回 ・訪問介護研究会 世話人会：1回／全体会：1回 ・グループホーム連絡会：1回 ・訪問看護連絡会：1回
実行 (Do)	<参加（出席）状況> ・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：9回／例会：7回 ・通所リハビリテーション連絡会：0回 ・通所サービス合同連絡会：0回 ・訪問介護研究会 世話人会：0回／全体会：0回 ・グループホーム連絡会：0回 ・訪問看護連絡会：0回 令和3年度については、新型コロナウイルスのため開催数が例年より減少している。		<参加（出席）状況> ・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：9回／例会：6回 ・通所リハビリテーション連絡会：0回 ・通所サービス合同連絡会：0回 ・訪問介護研究会 世話人会：0回／全体会：0回 ・グループホーム連絡会：0回 ・訪問看護連絡会：0回 令和4年度については、新型コロナウイルスのため開催数が例年より減少している。		<参加（出席）状況> ・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：9回／例会：3回 ・通所リハビリテーション連絡会：0回 ・通所サービス合同連絡会：0回 ・訪問介護研究会 世話人会：0回／全体会：0回 ・グループホーム連絡会：1回 ・訪問看護連絡会：0回
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	引き続き、介護サービス事業者への支援等を行い円滑な介護保険制度の運営に努める。		コロナ禍において、サービス種別によっては、連絡会の開催が見送られてきたものもあるが、今後の開催については事業所に働きかけていく。		令和4年度に比べ、サービス種別によっては、連絡会を再開しているので、今後も積極的に出席することで、介護サービス事業者との連携の強化に努める。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている				



【第9期】

事業番号	90	ページ	116	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者等との連携とその支援				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・居宅介護支援事業者連絡会 役員会：10回／例会：7回 ・訪問介護研究会 世話人会：1回／全体会：1回 ・グループホーム連絡会：1回 ・訪問看護連絡会：1回 ・府中市介護サービス事業所連絡協議会：2回				

事業番号	90	ページ	91	担当部署	高齢者支援課
事業名	ケアマネジャーの資質の向上に向けた研修会等の実施				
事業内容	・包括的・継続的ケアマネジメントの実践に必要な、具体的な情報の共有、実践に関する相互振り返り、やりがいの共有、精神的サポート等を可能にするため、地域包括支援センターを中心としたケアマネジャー同士のネットワークの構築を支援します。 ・居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと地域包括支援センターが効果的に協働するため、主任ケアマネジャー同士のネットワークの構築を支援します。				
令和元年度実績	・ケアプラン演習：4回／参加者178人 ・予防プラン演習：1回／参加者47人 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 ※地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの協働 ①東部地区（あさひ苑、しみずがおか、緑苑、これまさ） 精神事例：20人／一般事例：中止 ②中部地区（安立園、かたまち、しんまち、みなみ町） 精神事例：28人／一般事例：14人 ③西部地区（泉苑、よつや苑、にしふ） 精神事例：32人／一般事例：24人 ・ケアマネサロン（包括ケア会議）の開催：56回 各センター：3～10回／年				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・ケアプラン演習：4回 ・予防プラン演習：1回 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区 精神事例／一般事例：各1回 中部地区 精神事例／一般事例：各1回 西部地区 精神事例／一般事例：各1回 ・ケアマネサロン（随時）		・ケアプラン演習：4回 ・予防プラン演習：1回 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区 精神事例／一般事例：各1回 中部地区 精神事例／一般事例：各1回 西部地区 精神事例／一般事例：各1回 ・ケアマネサロン（随時）		・ケアプラン演習：4回 ・予防プラン演習：1回 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区 精神事例／一般事例：各1回 中部地区 精神事例／一般事例：各1回 西部地区 精神事例／一般事例：各1回 ・ケアマネサロン（随時）
実行 (Do)	・ケアプラン演習：0回 ・予防プラン演習：0回 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区 精神事例／一般事例：各0回 中部地区 精神事例／一般事例：各0回 西部地区 精神事例／一般事例：各0回 ・ケアマネサロン（随時）		・ケアプラン演習：0回 ・予防プラン演習：0回 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区 精神事例／一般事例：各0回 中部地区 精神事例／一般事例：各0回 西部地区 精神事例／一般事例：各0回 ・ケアマネサロン（随時）		・ケアプラン演習：0回 ・予防プラン演習：0回 ・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区 精神事例／一般事例：1回 中部地区 精神事例／一般事例：1回 西部地区 精神事例／一般事例：1回 ・ケアマネサロン（随時）
評価 (Check)	○		△		△
評価の内容	計画どおり進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)			市の主任ケアマネジャーが主体となって開催するように調整を検討する。・		市の主任ケアマネジャーが主体となって開催するように調整を検討する。・
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できた				

【第9期】

事業番号	91	ページ	116	担当部署	高齢者支援課
事業名	ケアマネジャーの資質の向上に向けた研修会等の実施				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・新任居宅介護支援専門員研修：1回 ・合同事例検討会 東部地区：1回 中部地区：1回 西部地区：1回 ・ケアマネサロン（随時）				

事業番号	91	ページ	91	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者の適切な業務運営に資するための研修会の実施				
事業内容	・ケアマネジャーの全体の質の向上と、ケアプランに基づいた介護サービスの質的向上及び適切な実施を図るため、ケアプランに関する研修を充実させます。 ・介護の質の向上に直接資するような、介護に関する事故や虐待防止などに関する研修を充実させます。				
令和元年度実績	・事故対応研修：73事業所／84人 ・特定処遇改善加算セミナー：53事業所／58人 ・BCP作成研修：56事業所／56人 ・ケアプラン作成研修：62事業所／84人				
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度
計画 (Plan)	・事故対応研修（随時） ・特定処遇改善加算セミナー（随時） ・BCP作成研修（随時） ・ケアプラン作成研修（随時） 各種研修の参加者数の合計：延べ300人		・事故対応研修（随時） ・特定処遇改善加算セミナー（随時） ・BCP作成研修（随時） ・ケアプラン作成研修（随時） 各種研修の参加者数の合計：延べ300人		・事故対応研修（随時） ・特定処遇改善加算セミナー（随時） ・BCP作成研修（随時） ・ケアプラン作成研修（随時） 各種研修の参加者数の合計：延べ300人
実行 (Do)	・リスクマネジメント研修 64人 ・身体拘束に関する研修 82人 ・BCP策定研修 104人 ※人数はオンライン・会場出席者の合計		・ハラスメント研修 74人 ※人数はオンライン・会場出席者の合計		・ケアプラン点検研修会（7月） 48人 ・BCP作成研修 94人 ・ケアプラン点検研修会（9月） 40人 ・ケアプラン点検研修会（11月） 40人 ・リスクマネジメント研修 33人 ※人数はオンライン・会場出席者の合計
評価 (Check)	△		△		△
評価の内容	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている		計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている
改善点・今後の方向性 など (Act)	新型コロナウイルス感染拡大のため、会場開催の実施ができないこともあったが、オンラインにて開催することで、円滑な実施に繋がった。今後も研修実施については、オンライン開催については、オンライン開催について、計画的に検討する必要がある。		新型コロナウイルス感染拡大のため、会場開催とオンライン開催で実施することで、参加者を集めることができた。今後も研修実施については、オンラインと会場の同時開催については、オンラインと会場の同時開催について、計画的に検討する必要がある。		新型コロナウイルス感染拡大のため、会場開催とオンライン開催で実施することで、参加者を集めることができた。今後も研修実施については、オンラインと会場の同時開催とし、研修テーマについては、現状の介護サービス事業者の課題を解決するための内容について検討する。
備考					
総評	△				
	計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている				



【第9期】

事業番号	92	ページ	117	担当部署	介護保険課
事業名	介護サービス事業者の適切な業務運営に資するための研修会の実施				
年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度
計画 (Plan)	・事故対応研修（随時） ・ケアプラン作成等研修（随時） ・ハラスメント等研修（随時）				

第8期計画事業評価一覧

※本計画策定時の課名はカッコ内に記載しています

第8期計画体系					評価			総評
基本目標	対応方針	施策	事業	担当課	R3	R4	R5	
1 心と体がいきいきとしている	(1) 高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりの推進	① 高齢者の社会参加の促進	1 地域貢献活動・地域参加の促進	協働共創推進課	○	○	○	○
			2 シニアクラブへの支援	高齢者支援課	○	△	○	○
			3 高齢者の居場所づくり（新規）	高齢者支援課	○	△	△	△
			4 高齢者の外出手段の確保	計画課	○	○	○	○
			5 関係機関との連携による就業機会の拡大	高齢者支援課・産業振興課	○	△	△	△
		② 高齢者の生きがいづくりへの支援	6 生涯学習の機会の充実	文化生涯学習課	○	○	○	○
			7 高齢者等保養事業の推進	高齢者支援課	○	△	○	○
			8 敬老事業の充実	高齢者支援課	△	○	○	○
	(2) 健康づくりと介護予防の一体的な推進	③ 健康づくりの推進	9 健康相談	健康推進課	○	○	○	○
			10 健康教育	健康推進課	△	○	○	○
			11 健康応援事業	健康推進課	△	○	○	○
			12 食育推進事業	健康推進課	△	○	○	○
			13 歯科医療連携推進事業	健康推進課	○	△	○	○
			14 特定健康診査・特定保健指導	保険年金課	○	△	△	△
			15 後期高齢者医療健康診査	保険年金課	○	△	△	△
		④ 介護予防の推進	16 介護予防事業のPR	高齢者支援課	○	○	○	○
			17 介護予防推進センターにおける介護予防事業やセンター機能の強化	高齢者支援課	○	△	○	○
			18 地域デイサービス事業（ほっとサロン）	高齢者支援課	○	○	○	○
			19 総合事業における訪問型サービスと通所型サービス	高齢者支援課	○	○	○	○
			20 介護予防・生活支援サービス事業の推進	高齢者支援課	○	◎	○	○
			21 介護予防推進事業	高齢者支援課	○	△	△	△
			22 介護予防コーディネート事業	高齢者支援課	○	△	○	○
		⑤ 健康づくりと介護予防に取り組む地域への支援と担い手の育成	23 スポーツ健康増進活動の機会の充実	スポーツタウン推進課	△	△	△	△
			24 自主的な健康づくりへの支援	健康推進課	△	△	○	○
			25 介護予防サポーターの人材育成と活用	高齢者支援課	○	△	○	○
			26 地域の自主グループへの支援・育成	高齢者支援課	△	○	○	○
		⑥ 高齢者の保健事業と一般介護予防事業等との一体的な実施	27 フレイル予防の推進（新規）	高齢者支援課・健康推進課・保険年金課	○	△	○	○
			28 一体的な実施に向けた体制の整備（新規）	高齢者支援課・健康推進課・保険年金課	○	○	○	○
			29 地域リハビリテーション活動の推進（新規）	高齢者支援課	○	△	○	○
2 住み慣れた地域で暮らしている	(3) 住まいと生活支援の一体的な推進	⑦ 高齢者の住まいの安定的な確保	30 高齢者住宅の運営	高齢者支援課	○	○	○	○
			31 公営住宅の高齢者入居枠の確保	高齢者支援課・住宅課	○	○	○	○
			32 高齢者住替支援事業	高齢者支援課	○	○	○	○
			33 高齢者自立支援住宅改修給付	介護保険課	○	○	○	○
			34 高齢者の住まい等のあり方の検討	高齢者支援課・介護保険課・住宅課	○	○	○	○
		⑧ 在宅支援サービスの充実と生活支援体制の整備	35 自立支援ショートステイ	高齢者支援課	○	○	○	○
			36 おむつ支給・訪問理髪・寝具乾燥・高齢者車いす福祉タクシー	高齢者支援課・介護保険課	○	○	○	○
			37 生活支援ヘルパー派遣・日常生活用具の貸与等	介護保険課	○	○	○	○
			38 高齢者救急通報システム事業	高齢者支援課	◎	△	△	△
			39 生活支援体制整備事業の推進	高齢者支援課	○	○	○	○
	(4) 医療と介護の連携強化	⑨ 医療と介護の連携の推進	40 医療・介護・福祉関係機関の連携構築	高齢者支援課	○	△	○	○
			41 在宅療養に関わる専門職の相互理解	高齢者支援課	○	△	○	○
		⑩ 在宅療養環境の整備・充実	42 市民への普及啓発	高齢者支援課	○	○	○	○
			43 かかりつけ医等の普及	健康推進課	○	○	○	○
			44 在宅療養相談窓口の充実	高齢者支援課	○	○	○	○
			45 在宅療養を24時間支える体制づくり（新規）	高齢者支援課	○	○	○	○
			46 バックベッドの整備	高齢者支援課	○	△	○	○
	(5) 介護者への支援の充実	⑪ 介護者の交流機会の充実	47 家族介護者教室	高齢者支援課	○	△	○	○
			48 家族介護者の交流支援	高齢者支援課	◎	◎	◎	◎
		⑫ 介護者への情報提供とサービスの推進	49 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進	多様性社会推進課	△	○	×	×
			50 緊急時のショートステイの確保	高齢者支援課	○	○	○	○

3 安心して暮らしている	(6) 安全・安心の確保に向けた施策の充実	⑬ 相談支援体制の強化	51	地域での多様な相談体制の整備	高齢者支援課	○	○	○	○
			52	担当地区ケア会議の開催	高齢者支援課	○	○	○	○
			53	高齢者虐待対応と養護者支援	高齢者支援課	○	○	○	○
		⑭ 高齢者の権利擁護体制の強化	54	養護老人ホームへの入所措置	高齢者支援課	○	○	○	○
			55	権利擁護事業の充実	地域福祉推進課	○	○	○	○
			56	市民後見人の発掘・育成	地域福祉推進課	○	○	○	○
			57	古い支度事業	高齢者支援課	○	○	○	○
			58	避難行動要支援者支援体制の整備	高齢者支援課・防災危機管理課	○	○	○	○
		⑮ 災害、消費者被害への対策の充実	59	福祉サービス事業者等との災害時の連携	高齢者支援課・介護保険課・防災危機管理課	○	○	○	○
			60	介護サービス事業者への事業継続計画（BCP）策定の促進	介護保険課	○	○	○	○
			61	消費者被害の防止	産業振興課	○	○	○	○
			62	高齢者への感染症対策の普及啓発（新規）	高齢者支援課	○	○	○	○
			63	介護サービス事業者の感染症対策の推進（新規）	介護保険課	○	○	○	○
	(7) 認知症施策の推進	⑰ 普及啓発・本人発信支援	64	認知症サポーター「ささえ隊」養成講座の実施	高齢者支援課	○	△	△	△
			65	認知症ケアの普及啓発	高齢者支援課	○	△	○	○
		⑱ 予防に向けた取組	66	介護予防推進センターにおける認知症予防教室の実施	高齢者支援課	○	○	○	○
			67	認知症予防の意識向上のための普及啓発（新規）	高齢者支援課	○	△	○	○
		⑲ 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	68	認知症の早期診断・早期対応の推進	高齢者支援課	○	△	○	○
			69	多職種連携によるネットワークの構築	高齢者支援課	○	△	○	○
			70	認知症カフェ・認知症緊急ショートステイ	高齢者支援課	○	×	△	△
			71	認知症見守り等支援事業	高齢者支援課	○	×	○	○
		(8) 地域支援体制の充実	72	早期発見・保護に向けた捜索体制の構築（新規）	高齢者支援課	○	○	○	○
			73	地域包括支援センター機能の充実	高齢者支援課	○	△	○	○
			74	地域ケア会議の開催	高齢者支援課	○	△	△	△
			75	高齢者見守りネットワークの推進	高齢者支援課	○	△	○	○
		⑳ 住民主体の地域支え合い活動の推進	76	地域による熱中症予防のための見守り活動の推進	高齢者支援課	○	△	△	△
			77	地域支え合いのための情報提供・人材育成及び居場所づくりの支援	地域福祉推進課・協働共創推進課	○	○	○	○
			78	介護給付の適正化	介護保険課・地域福祉推進課	○	○	○	○
4 必要な介護保険サービスを適切に利用できている	(9) 介護保険事業の推進	㉓ 保険者機能の強化	79	地域密着型サービスの基盤整備	介護保険課	○	△	△	△
			80	施設サービスの基盤整備	介護保険課	×	×	△	△
			81	居住系サービスの基盤整備	介護保険課	○	○	○	○
		㉔ 低所得者への配慮	82	介護保険サービス利用料等の軽減	介護保険課	○	○	○	○
			83	介護保険料の減免	介護保険課	○	○	○	○
		㉕ 情報の提供体制・介護保険サービス相談体制の充実	84	多様な媒体を使った分かりやすい情報の提供	高齢者支援課・秘書広報課	○	○	○	○
			85	福祉サービス第三者評価制度の普及・促進	介護保険課・地域福祉推進課	○	○	○	○
			86	介護保険サービス相談体制の充実	高齢者支援課・介護保険課	○	△	△	△
	(10) 介護人材の確保と資質の向上	㉖ 介護人材の確保	87	働く環境の改善	介護保険課	○	○	○	○
			88	多様な人材の確保	地域福祉推進課	○	○	○	○
		㉗ 介護人材の資質の向上	89	介護サービス事業者等との連携とその支援	介護保険課	○	△	△	△
			90	ケアマネジャーの資質の向上に向けた研修会等の実施	高齢者支援課	○	△	△	△
			91	介護サービス事業者の適切な業務運営に資するための研修会の実施	介護保険課	△	△	△	△

評価	R3	R4	R5	総評
◎：計画以上に進行できている	2	2	1	1
○：計画通り進行できている	79	52	72	72
△：計画にやや遅れが生じているものの概ね進行できている	9	34	17	17
×：計画に遅れが生じている	1	3	1	1
合計	91	91	91	91